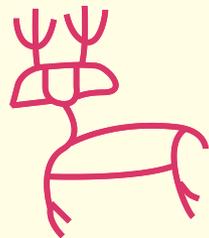


平成30年度岡山県 獣害対策のための集落アンケート

集計結果概要



エーマック
合同会社 AMAC

浅田正彦

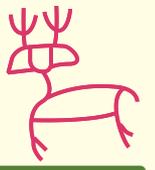
目的と方法



アンケートの目的



害獣の生息状況や被害状況などの
獣害対策に関する地域特性を明らか
かにして、今後の対策の基礎資料と
する



農林業センサス農業集落対象

1集落1枚アンケート用紙を配布・回収



アンケート用紙



岡山県 獣害対策のための集落アンケート調査（平成30(2018)年度）

記入者氏名	住所 岡山県	市・町・村
-------	--------	-------

記入例は別紙にあります

(住所などの情報は地図の作成のために記入して頂いています。お名前を含めて、目的外に使用することはありません)

集落の活動と対策について
(1) 集落の戸数 () 戸
(2) 寄り合いの参加率はどのくらいですか？ <input type="checkbox"/> 1～3割 <input type="checkbox"/> 4～5割 <input type="checkbox"/> 6～7割 <input type="checkbox"/> 8割以上
(3) 集落で行っている活動（複数選択可） <input type="checkbox"/> 道路の草刈り・集会所やお宮の草刈・掃除 <input type="checkbox"/> 多面的機能支払交付金事業・中山間地域等直接支払交付金 <input type="checkbox"/> 集落営農
(4) 集落ぐるみでの対策（捕獲や防護柵設置）など <input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> しておらず、する必要がない <input type="checkbox"/> しておらず、実施可能なのでしたい <input type="checkbox"/> しておらず、したいが、実施できない (→理由:人手不足・高齢化・狩猟者いない・その他)

対象動物	集落での目撃回数	動物の増減 (昨年との比較)
イノシシ <input type="checkbox"/> 1頭はいる <input type="checkbox"/> ウリボウ(子連れ)がいる <input type="checkbox"/> いない(→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 森にいるため、見かけない <input type="checkbox"/> 季節的にみかけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週2～3回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない
ニホンジカ <input type="checkbox"/> 角あり(オス)がいる <input type="checkbox"/> 子連れがいる <input type="checkbox"/> いない(→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 森にいるため、見かけない <input type="checkbox"/> 季節的にみかけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週2～3回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない
ニホンザル <input type="checkbox"/> 1～数頭の 離れザルがいる <input type="checkbox"/> 子を連れた群れがいる <input type="checkbox"/> いない(→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 森にいるため、見かけない <input type="checkbox"/> 季節的にみかけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週2～3回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない
ヌートリア <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない(→右は記入不要)	<input type="checkbox"/> 川にいるため、見かけない <input type="checkbox"/> 季節的にみかけるときがある <input type="checkbox"/> 通年、週1回程度 <input type="checkbox"/> 通年、週2～3回程度 <input type="checkbox"/> 通年、ほぼ毎日	<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った <input type="checkbox"/> わからない

裏面にも質問があります

アンケート用紙



対象動物	平成30年の 農林業被害	主な 被害作物名	被害の動向 (昨年との比較)	人的被害 生活被害	実施した被害対策と効果（平成30年） 防護柵についてはこれまでに設置したものを含みます
イノシシ 「いない」場合は →右の記入は不要	<input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい（生産量の30%未満） <input type="checkbox"/> 深刻（生産量の30%以上）		<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 内容： <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 何もしなかった <input type="checkbox"/> 捕獲（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 電気柵（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 （→効果があった・なかった・不明）
ニホンジカ 「いない」場合は →右の記入は不要	<input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい（生産量の30%未満） <input type="checkbox"/> 深刻（生産量の30%以上）		<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 内容： <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 何もしなかった <input type="checkbox"/> 捕獲（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 電気柵（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 （→効果があった・なかった・不明）
ニホンザル 「いない」場合は →右の記入は不要	<input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい（生産量の30%未満） <input type="checkbox"/> 深刻（生産量の30%以上）		<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 内容： <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 何もしなかった <input type="checkbox"/> 人による追い払い（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> モンキー犬（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 捕獲（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 電気柵（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 森林の伐採（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 誘引物除去（→効果があった・なかった・不明）
ヌートリア 「いない」場合は →右の記入は不要	<input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 大きい（生産量の30%未満） <input type="checkbox"/> 深刻（生産量の30%以上）		<input type="checkbox"/> 増えた <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 減った	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある 内容： <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 何もしなかった <input type="checkbox"/> 捕獲（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 電気柵（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があった・なかった・不明） <input type="checkbox"/> 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 （→効果があった・なかった・不明）

結果と考察



回収結果



農林業センサス

農業集落数 4,929集落

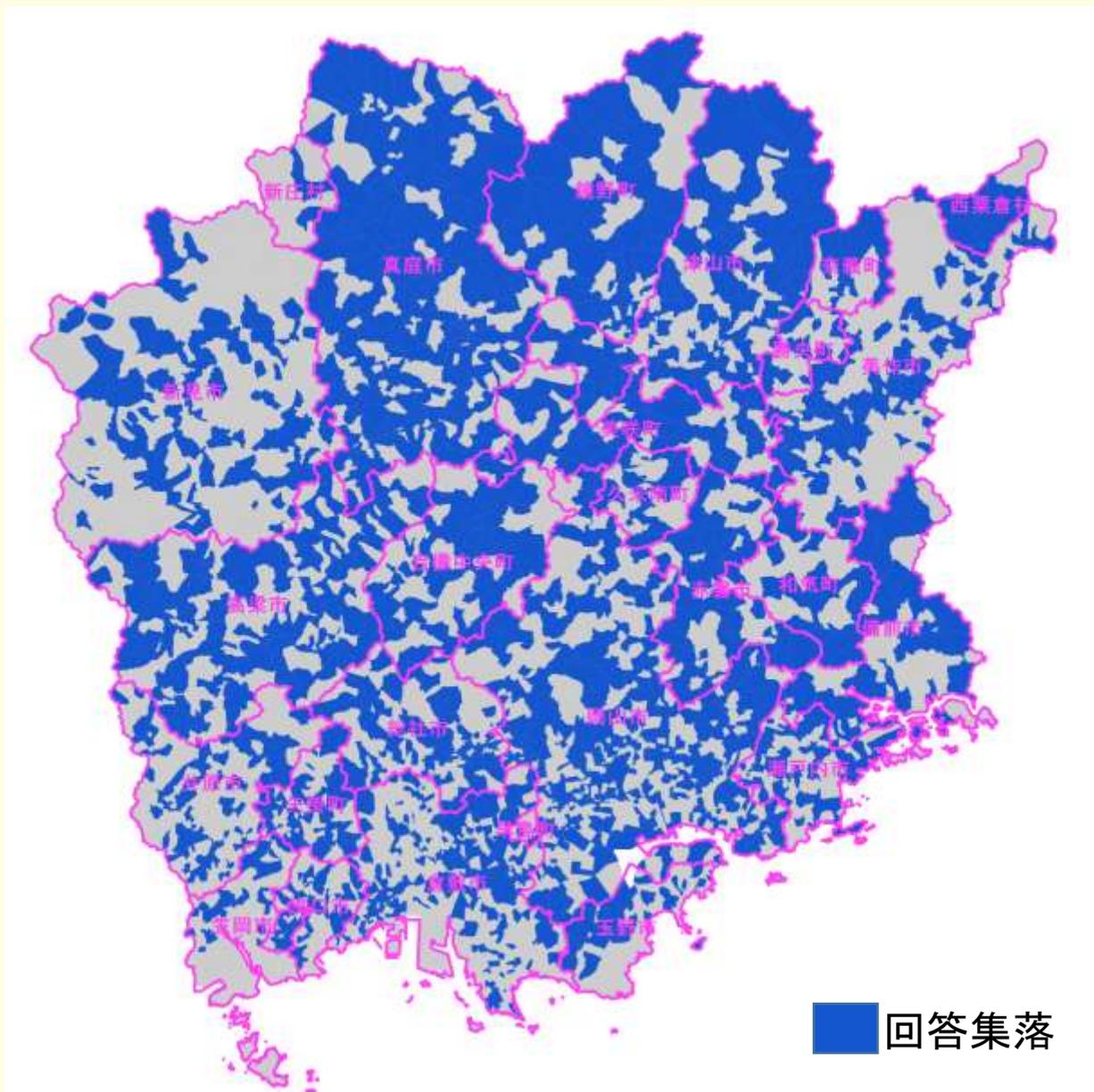
配布数 4,425集落(全市町村)

回答数 2,950集落

有効回収数 2,809集落

有効回収率 63.5%

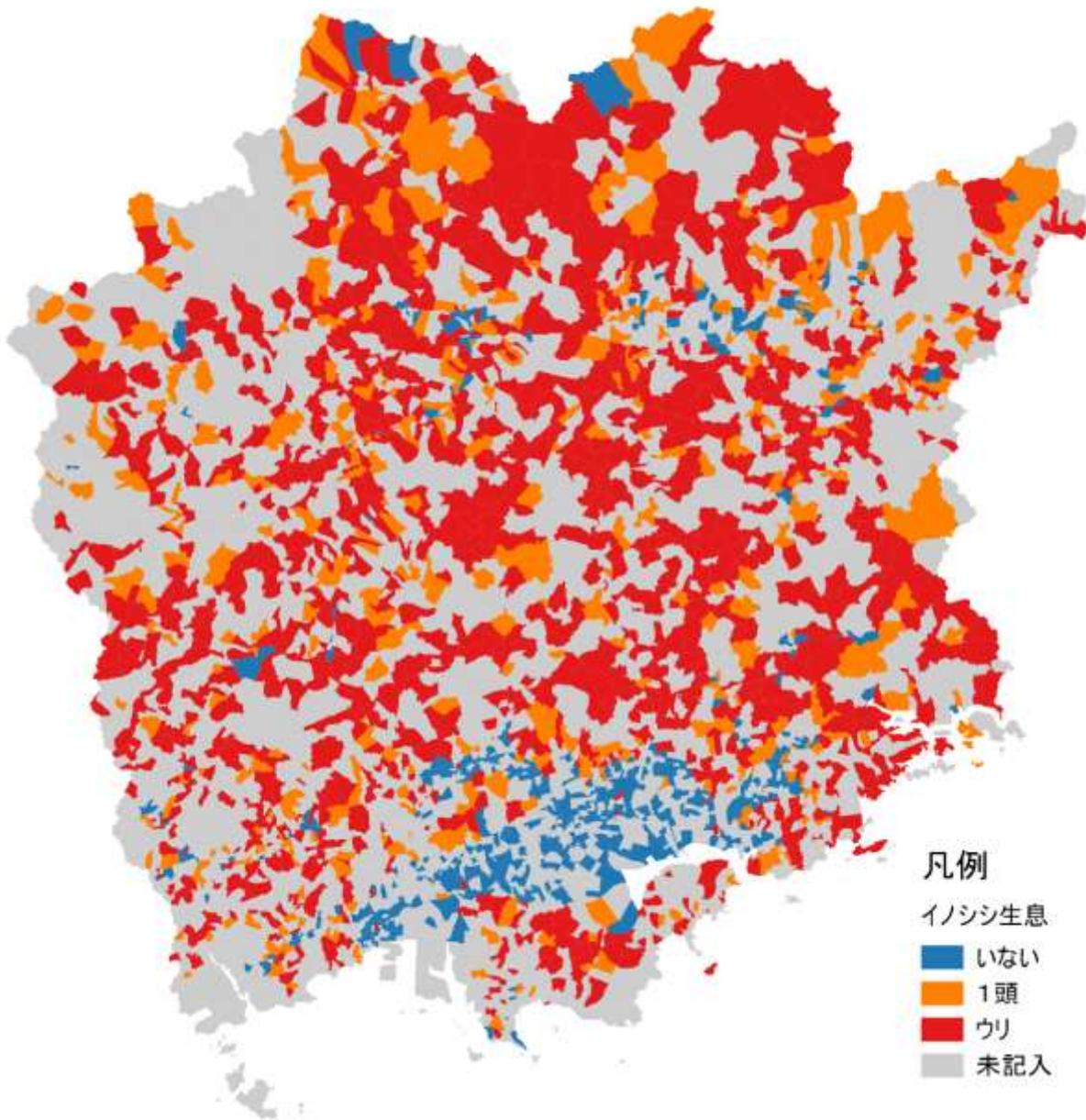
回收結果



イ ノ シ シ



イノシシの生息状況(30年度)



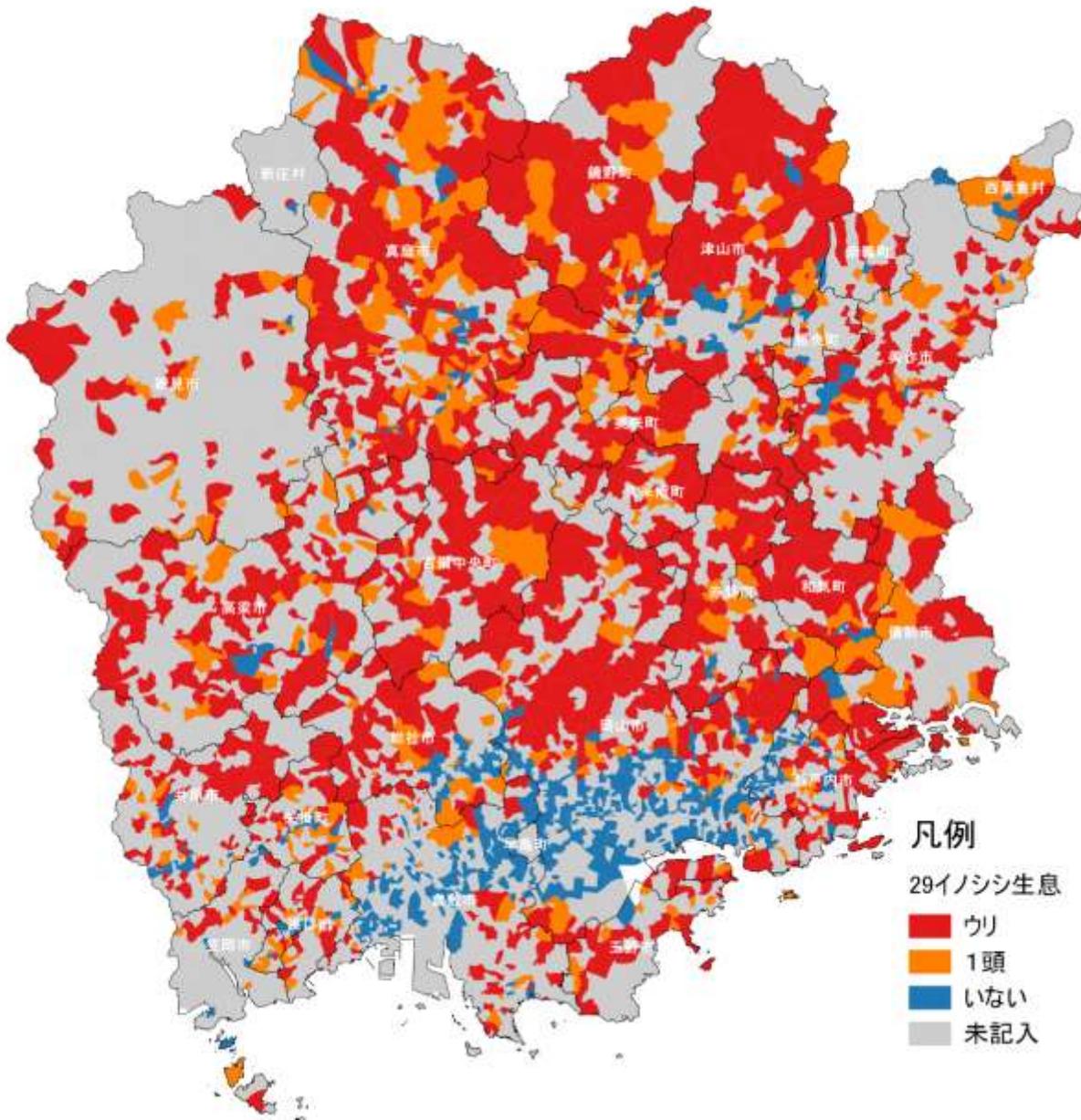
凡例

イノシシ生息

- いない
- 1頭
- ウリ
- 未記入

岡山平野、津山盆地の市街地を除く
ほぼ全県に生息

イノシシの生息状況(29年度)



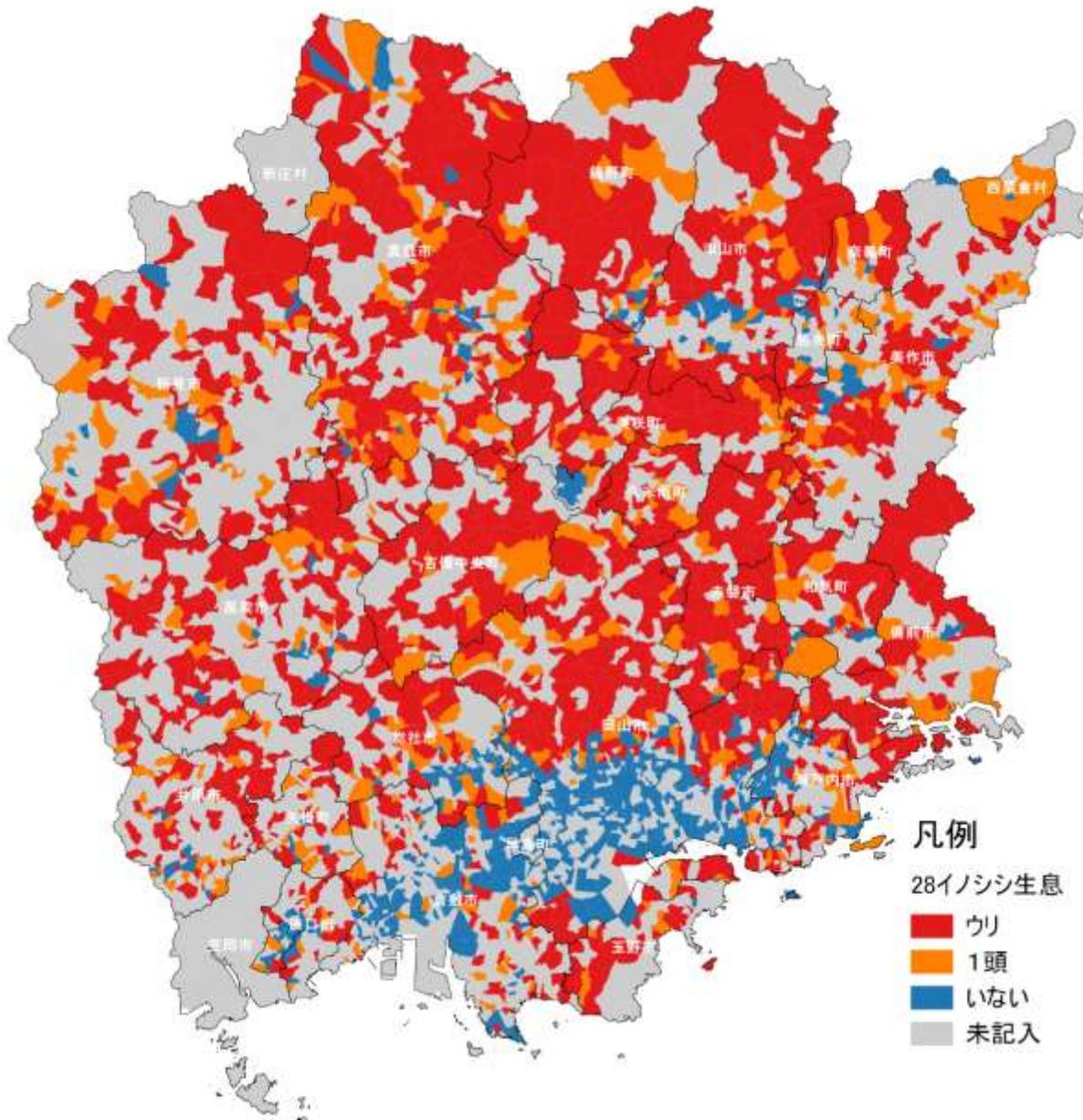
岡山平野、津山盆地の市街地を除く
ほぼ全県に生息

凡例

29イノシシ生息

- ウリ
- 1頭
- いない
- 未記入

イノシシの生息状況(28年度)



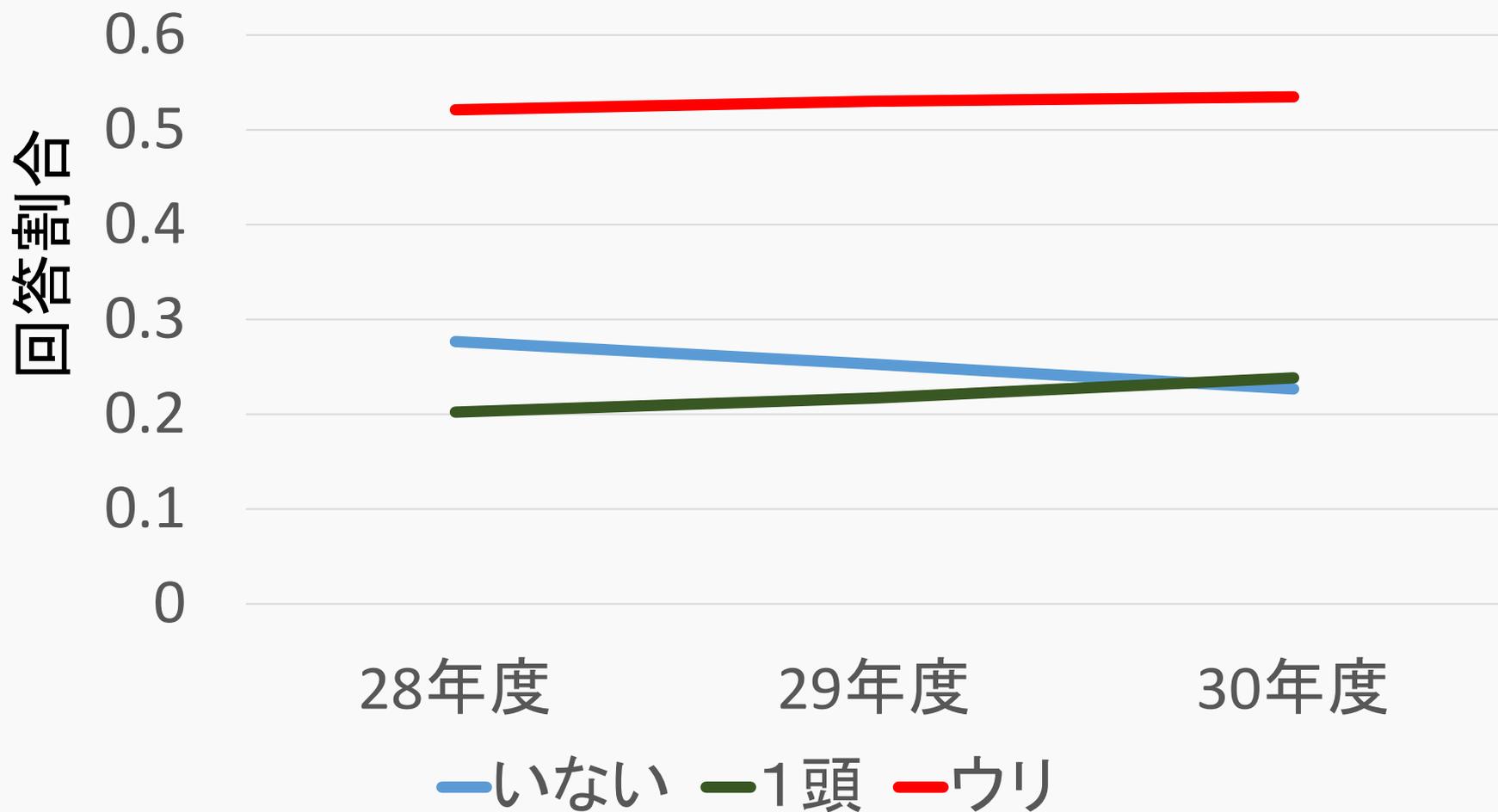
岡山平野、津山盆地の市街地を除く
ほぼ全県に生息

凡例

28イノシシ生息

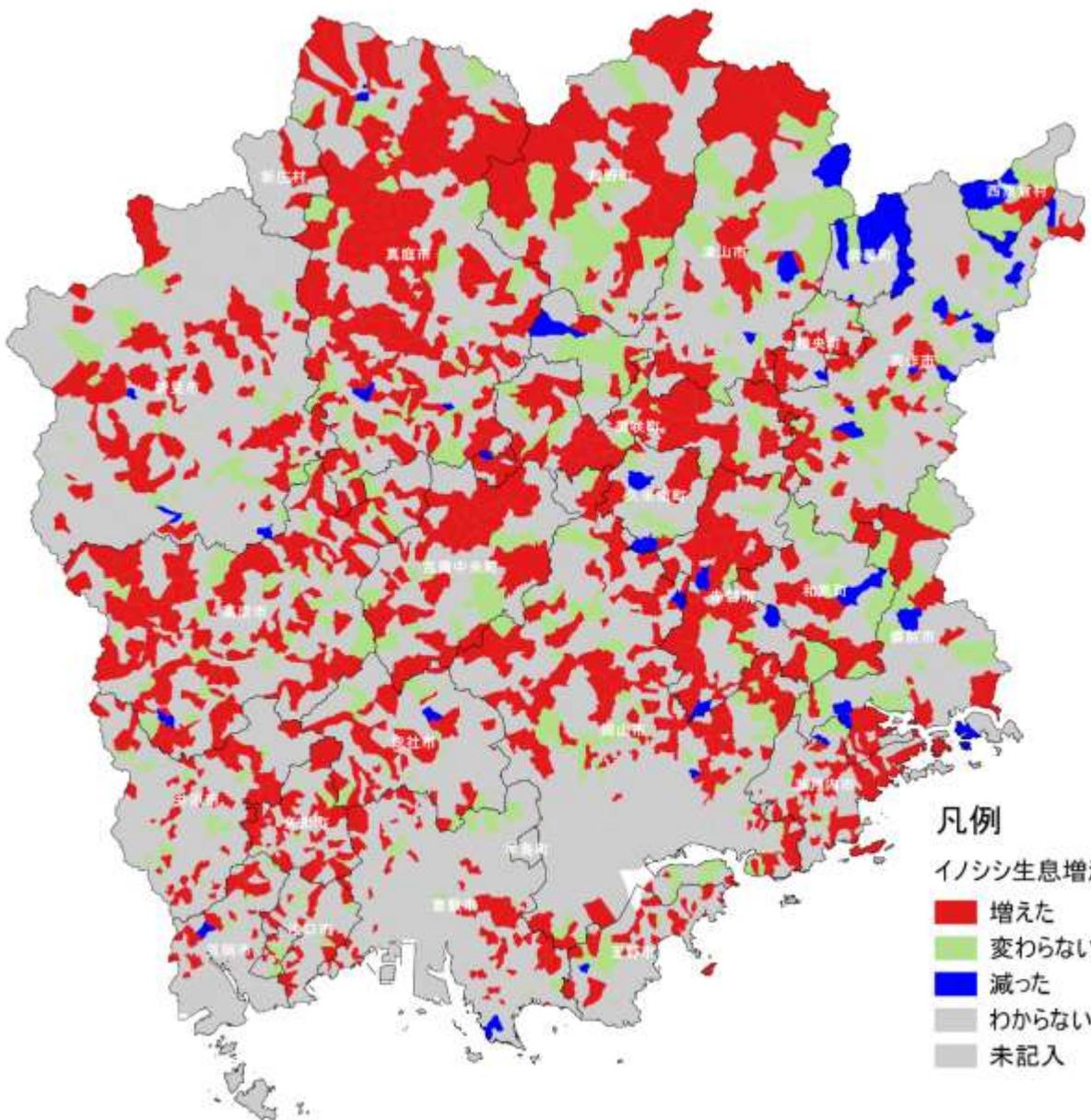
- ウリ
- 1頭
- いない
- 未記入

イノシシの生息状況 年推移



繁殖定着集落は横ばいだが、
1頭(分散オスの可能性大)率 約年2%増加

イノシシの生息状況の増減



☑ 減少回答地域

奈義町～美作市～

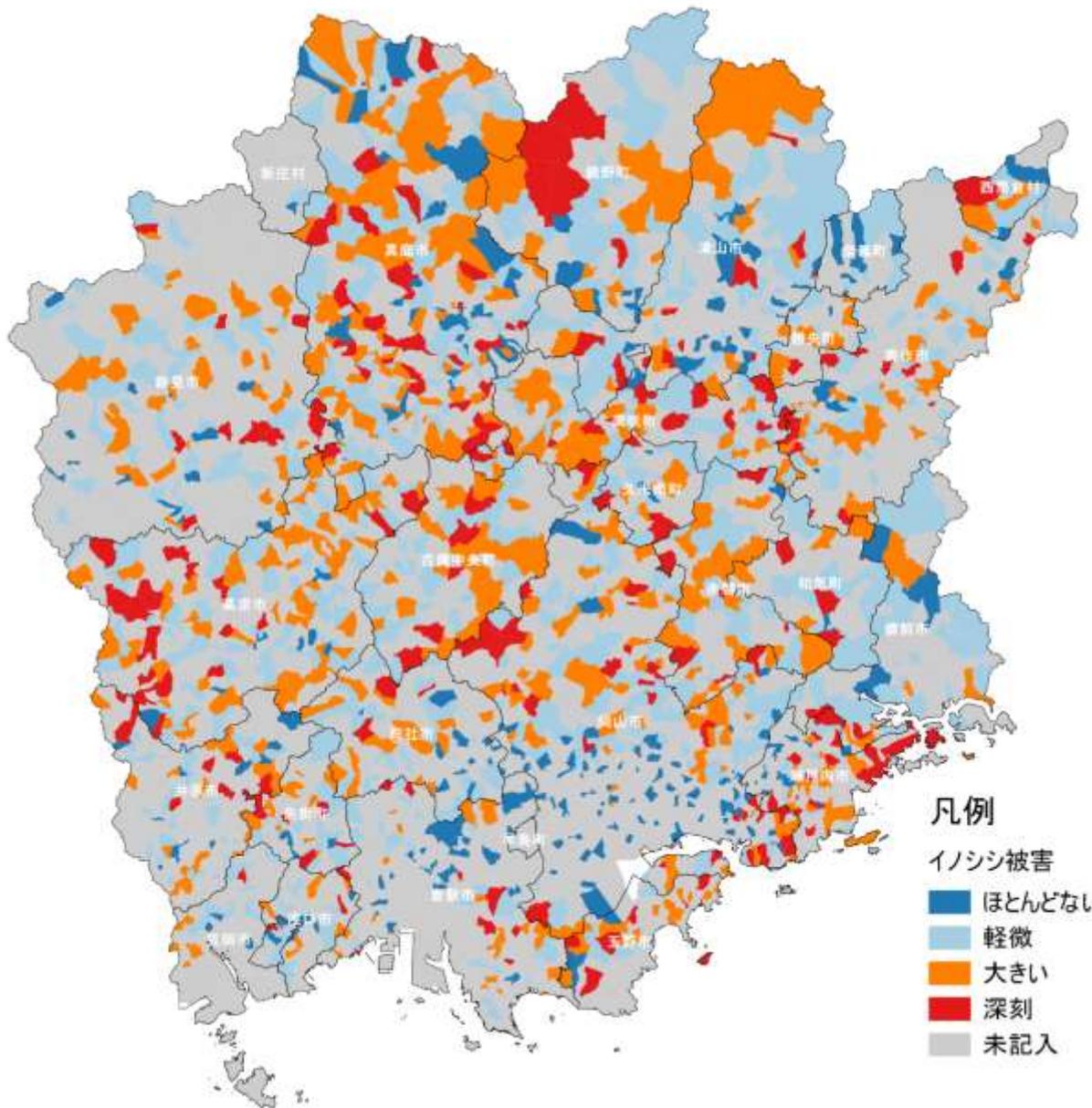
西粟倉村

和気町～備前市



個体数減少が推定

イノシシの被害レベル



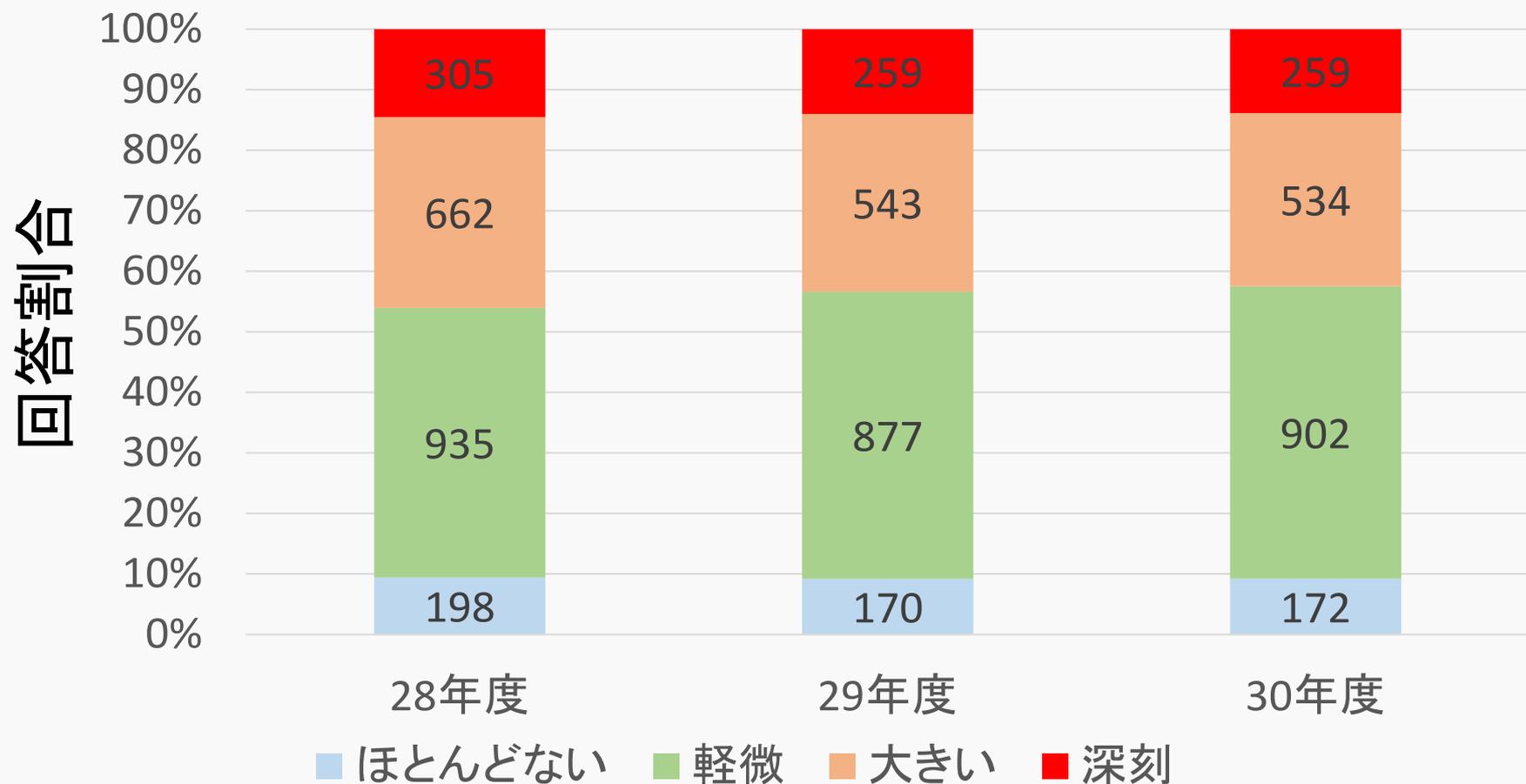
平野部を除くほぼ
県全域で被害発生

☑ 深刻化していない地域
県東部の奈義町～
美作市～西粟倉村

和気町～備前市

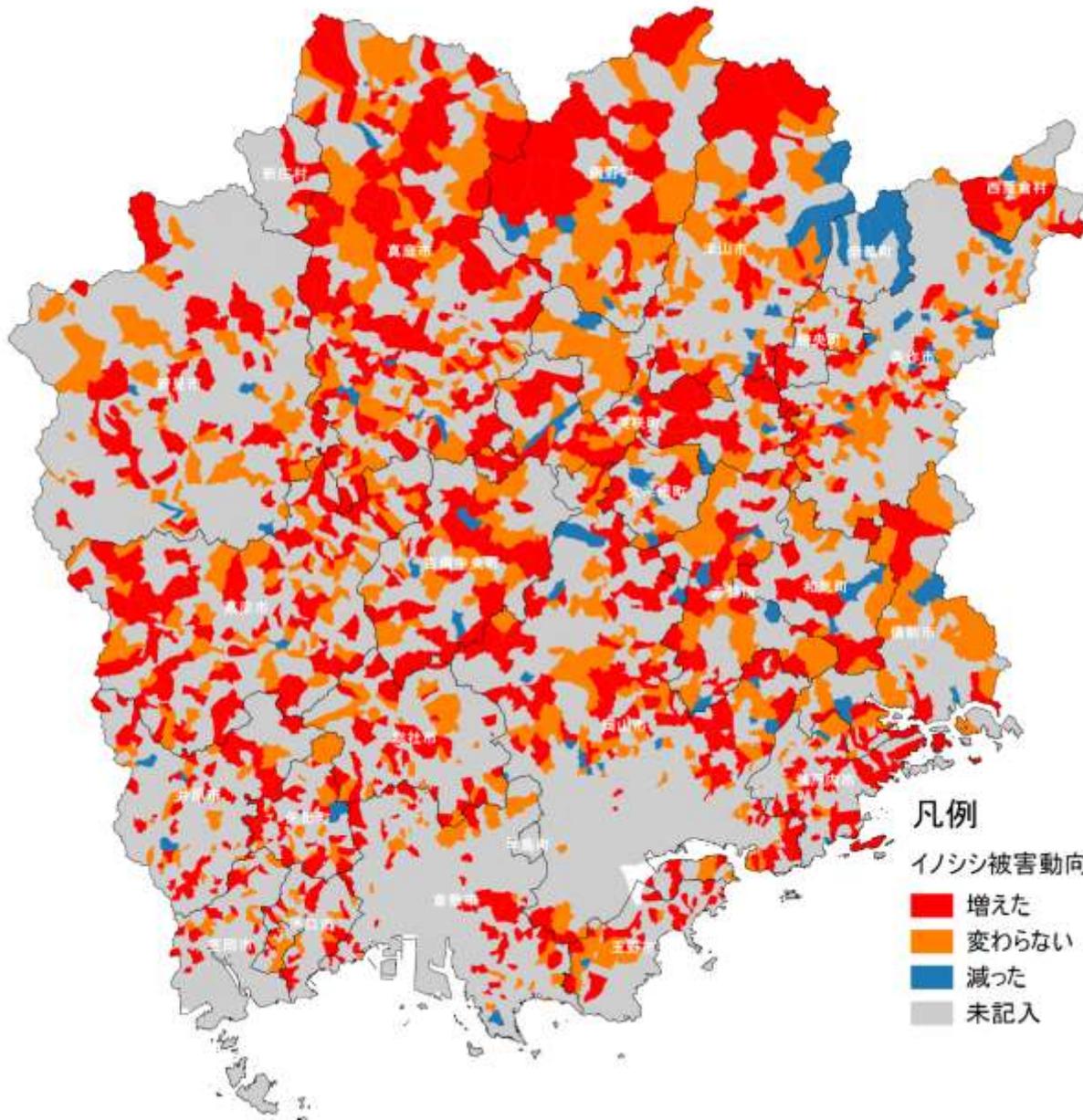
☑ 「大きい」「深刻」集落

イノシシの被害レベル年推移



生息集落における被害レベルの年推移は、微減傾向にあるが、いまだ生息集落の4割強が甚大な被害が発生している。

イノシシの被害レベルの動向



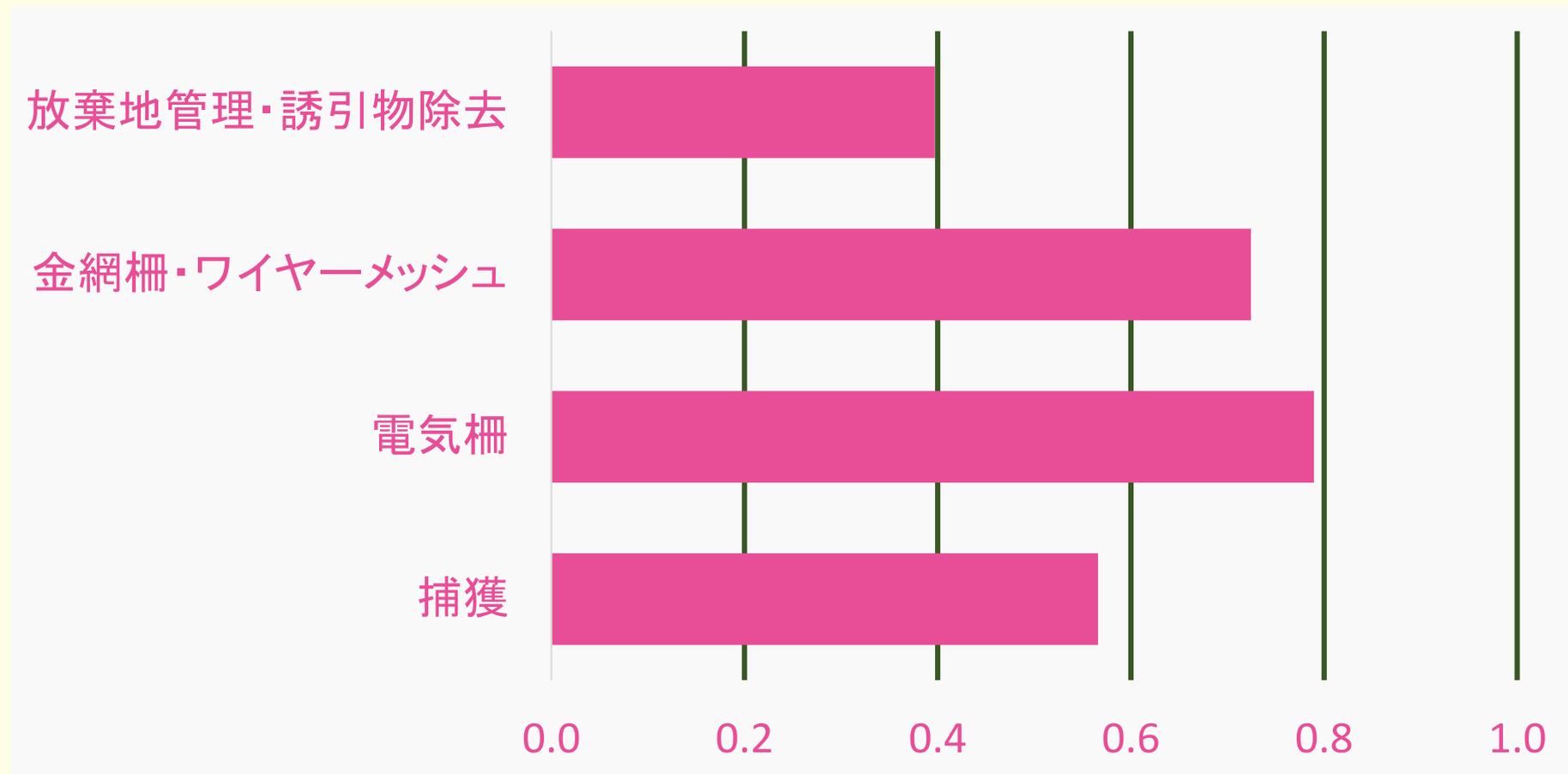
県全域で増加傾向

☑ 被害減少地域
奈義町～美作市

イノシシの対策効果

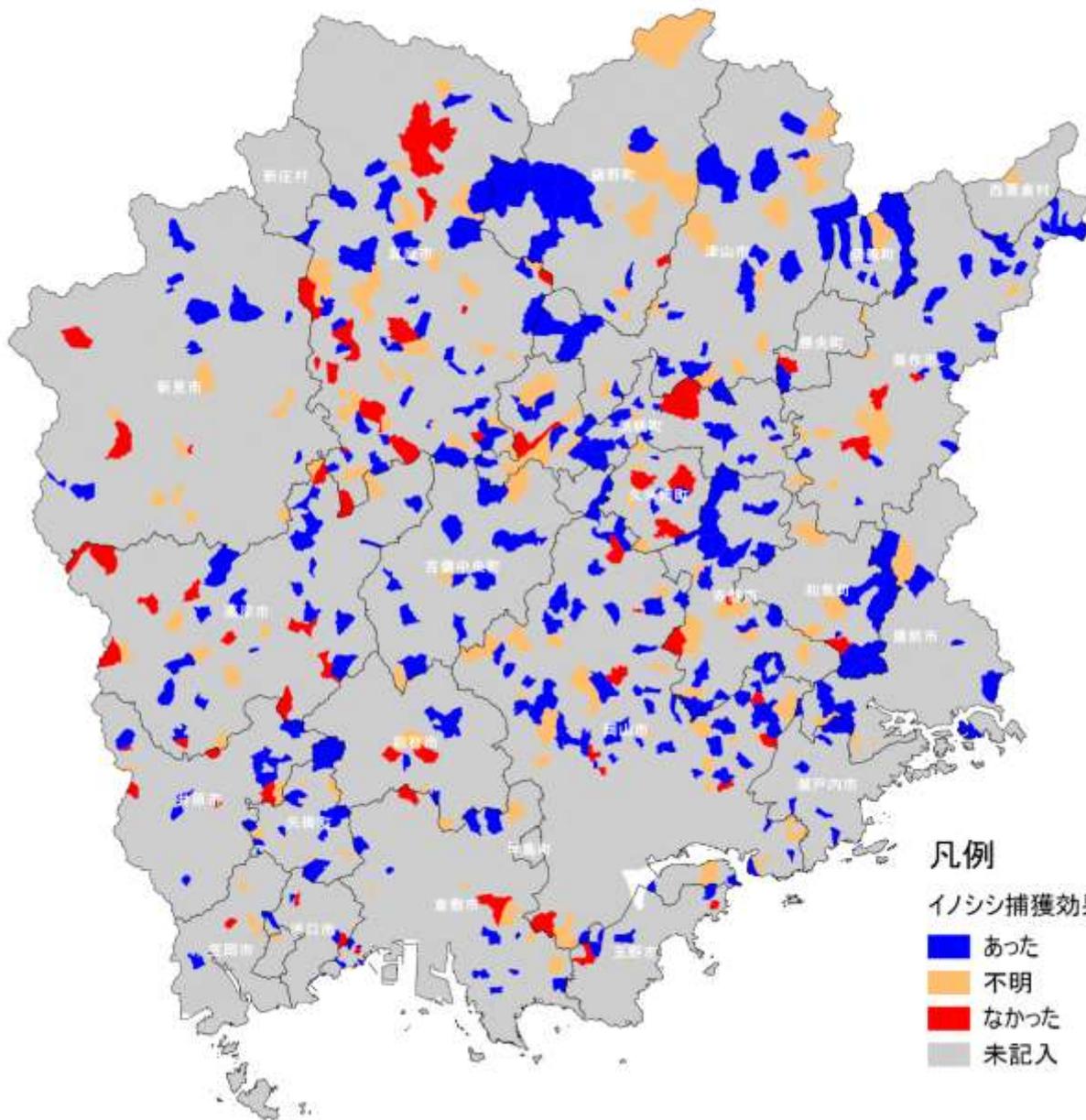


対策効果割合：繁殖定着している集落（「ウリボウ」の生息集落）において、対策効果に記載があった回答における効果が「あった」割合



- ☑ 防護柵の効果があつた回答は7割程度
捕獲は6割弱、環境整備は半分以下

イノシシの対策効果(捕獲)



☑ 効果

地域的(市町村)に
効果が「なかった」
回答が集中

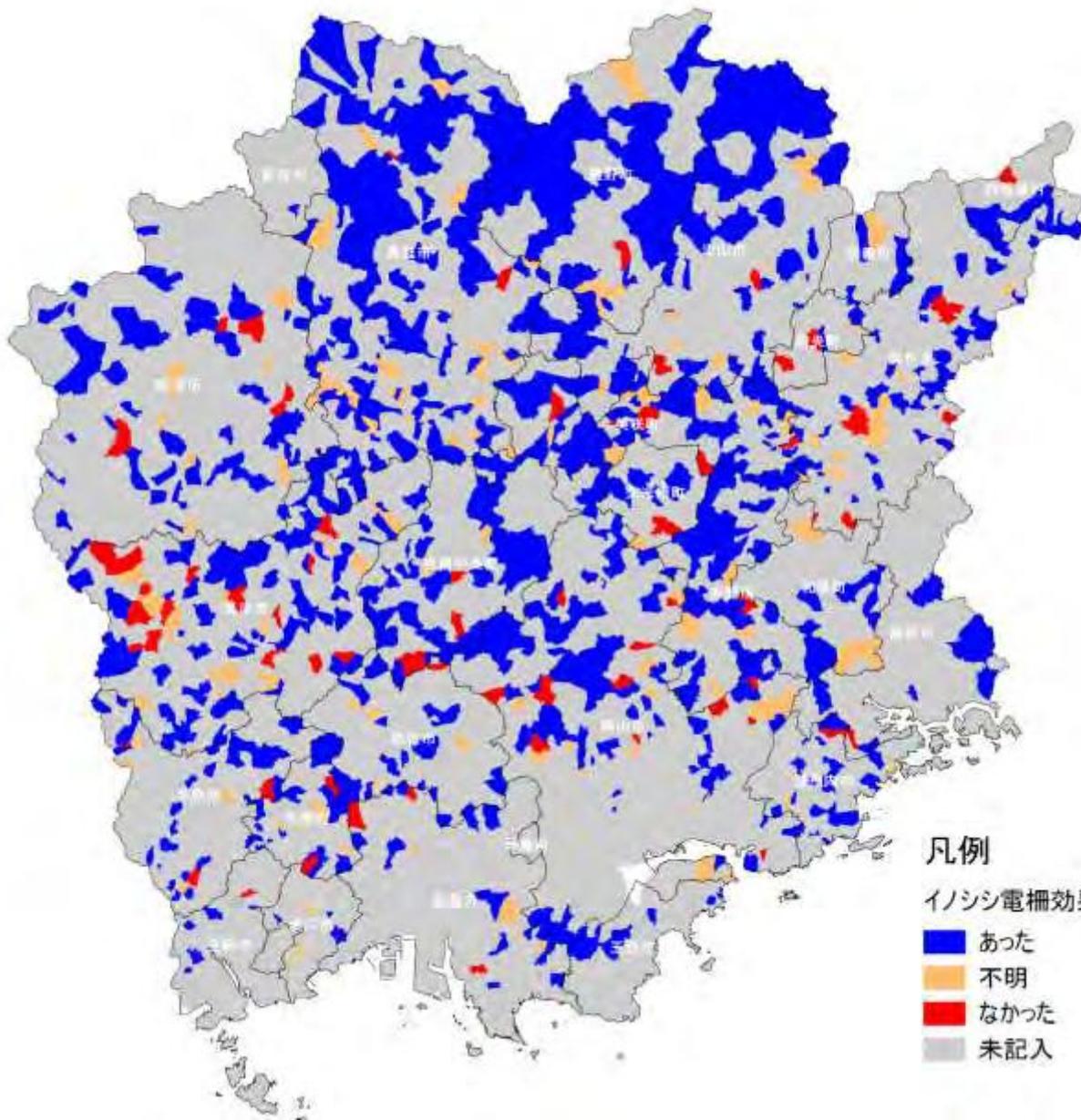
美作市南部
久米南町
真庭市南西部
高梁市西部
岡山市南部～倉敷市

凡例

イノシシ捕獲効果

- あった
- 不明
- なかった
- 未記入

イノシシの対策効果(電気柵)

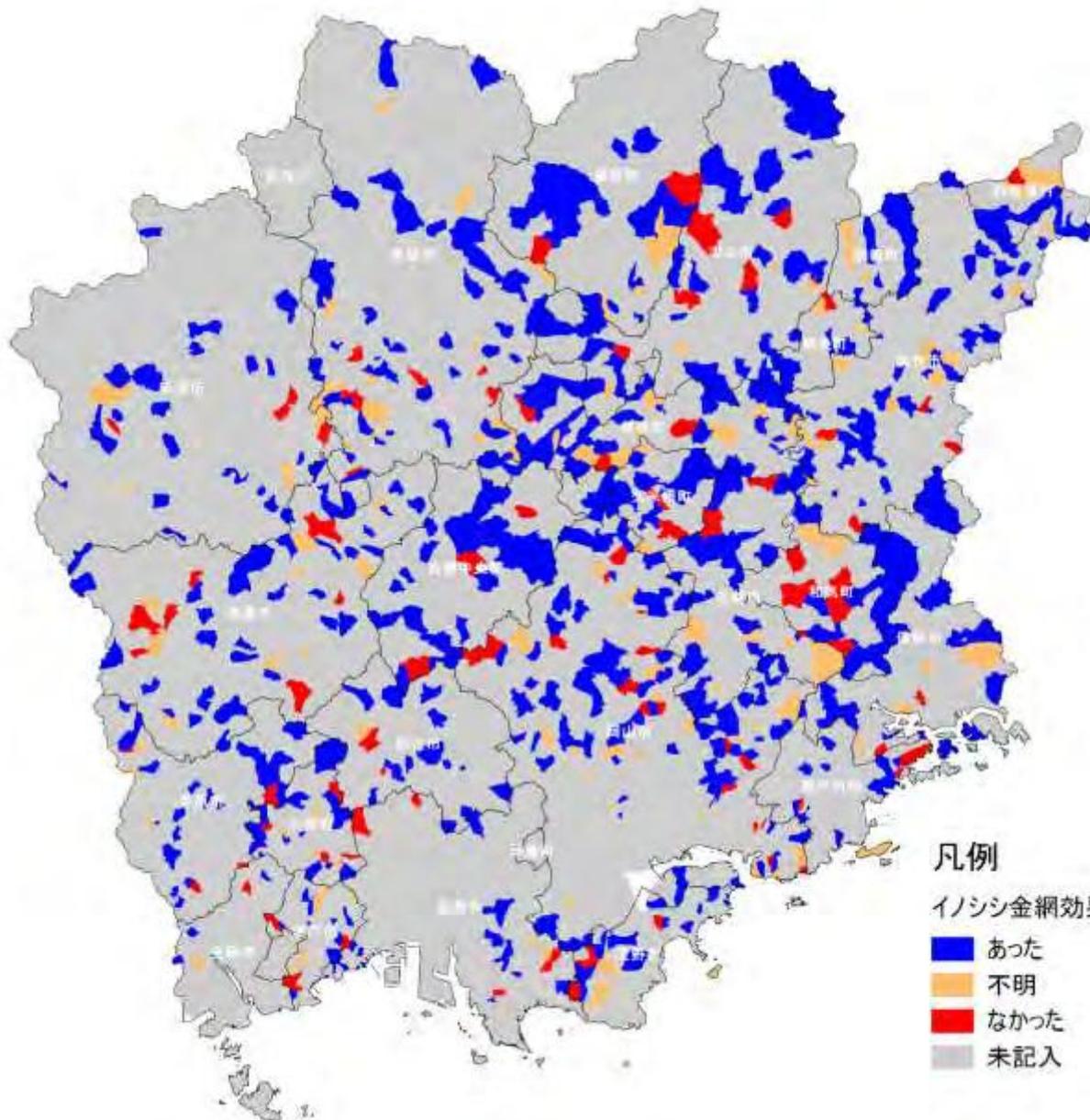


☑ 効果
8割近くが「あった」

☑ 地域的(市町村)に
捕獲効果が「なかった」
回答が集中

高梁市の一部

イノシシの対策効果 (金網柵・ワイヤーメッシュ柵)



凡例

イノシシ金網効果

- あった
- 不明
- なかった
- 未記入

☑ 効果

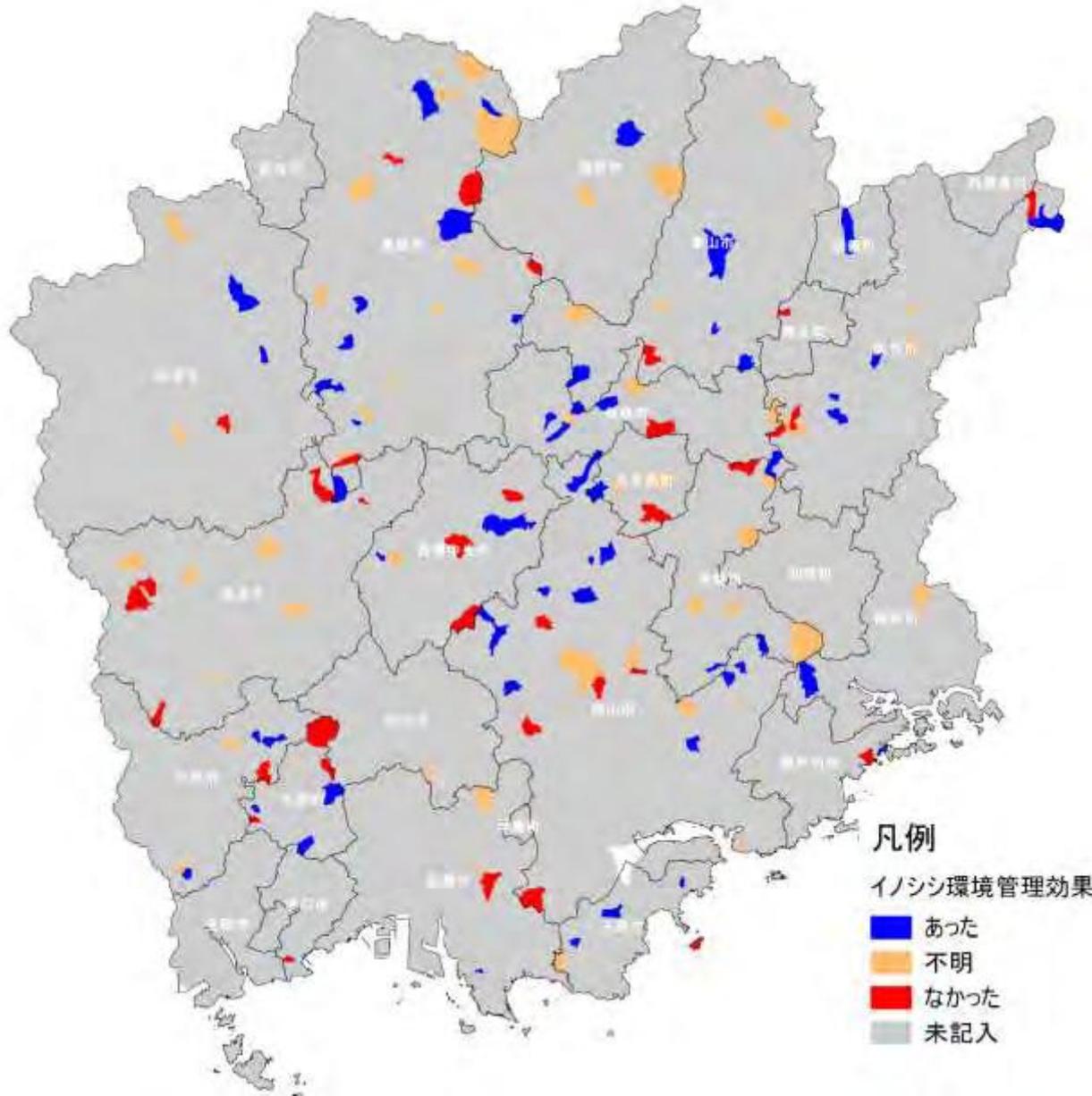
7割強が「あった」

☑ 地域的(市町村)に
効果が「なかった」

回答が集中

和気町の西部
真庭市の一部
高梁市の一部

イノシシの対策効果 (放棄地管理・誘引物除去)



☑ 効果
4割が「あった」

☑ 地域的(市町村)に
効果が「あった」
回答が集中

岡山市北部～美咲町

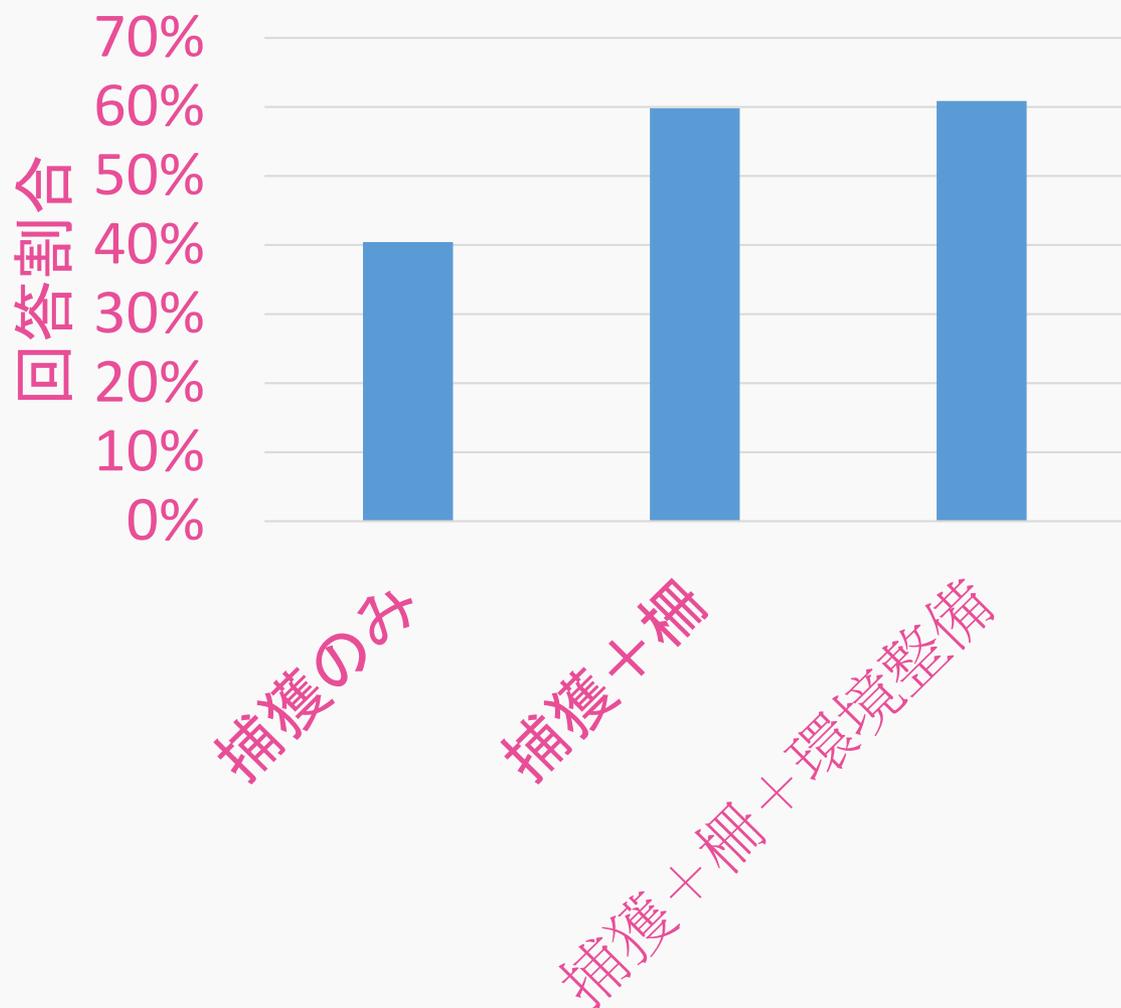
☑ほとんど実施してい
ない市町村

和気町・総社市など

イノシシの対策 複合効果



定着している集落のうち、捕獲を実施している集落で、防護柵（電気・金網）や耕作放棄地管理の実施状況別にみた捕獲効果が「ある」回答割合

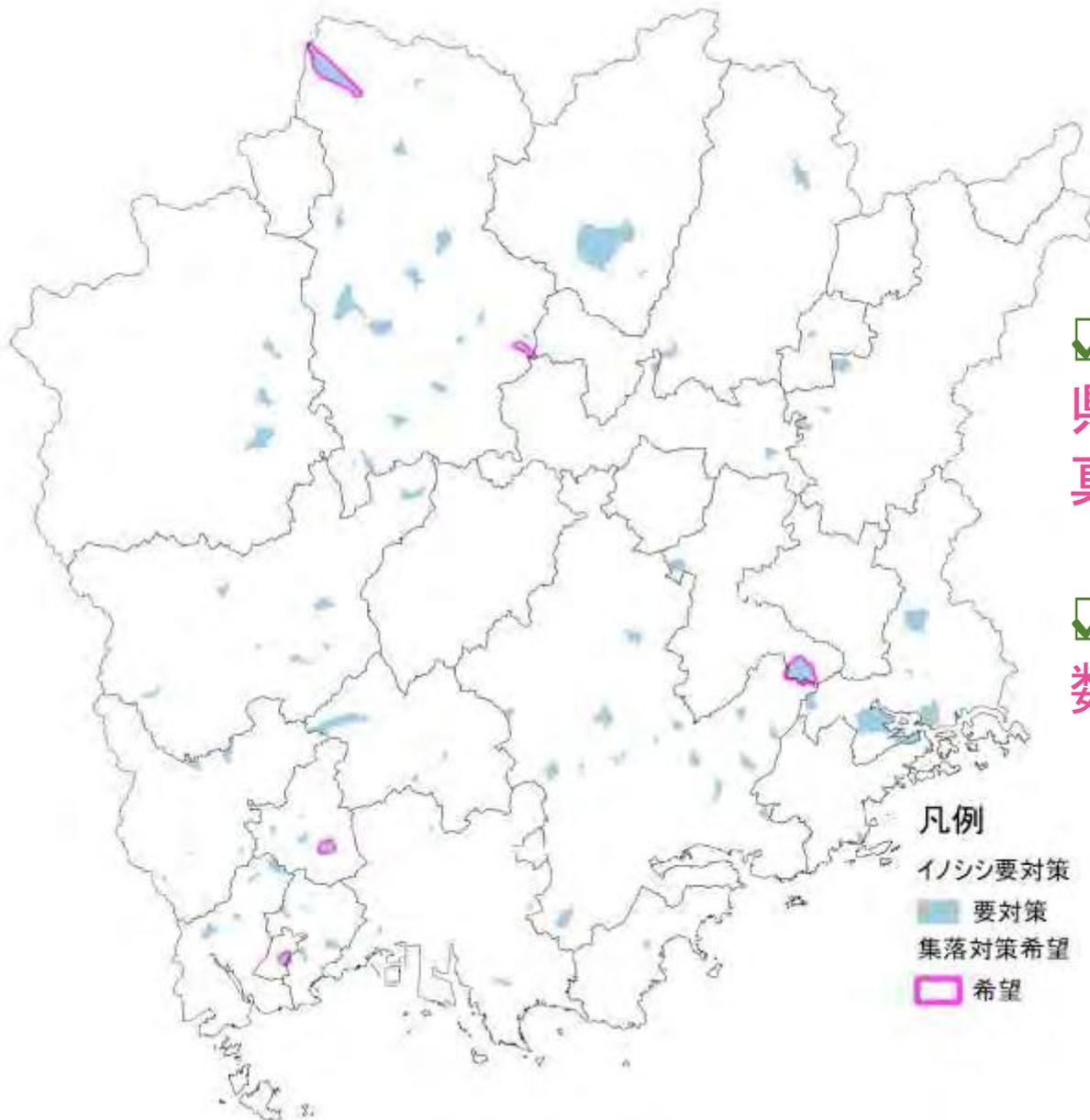


☑ 捕獲効果

捕獲単独より

複合対策で
捕獲効果
が高くなる。

イノシシ要対策集落

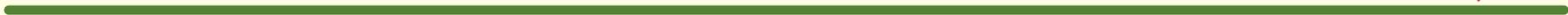


☑ 定着＋無対策集落
県西部～南部
真庭市・岡山市・井笠

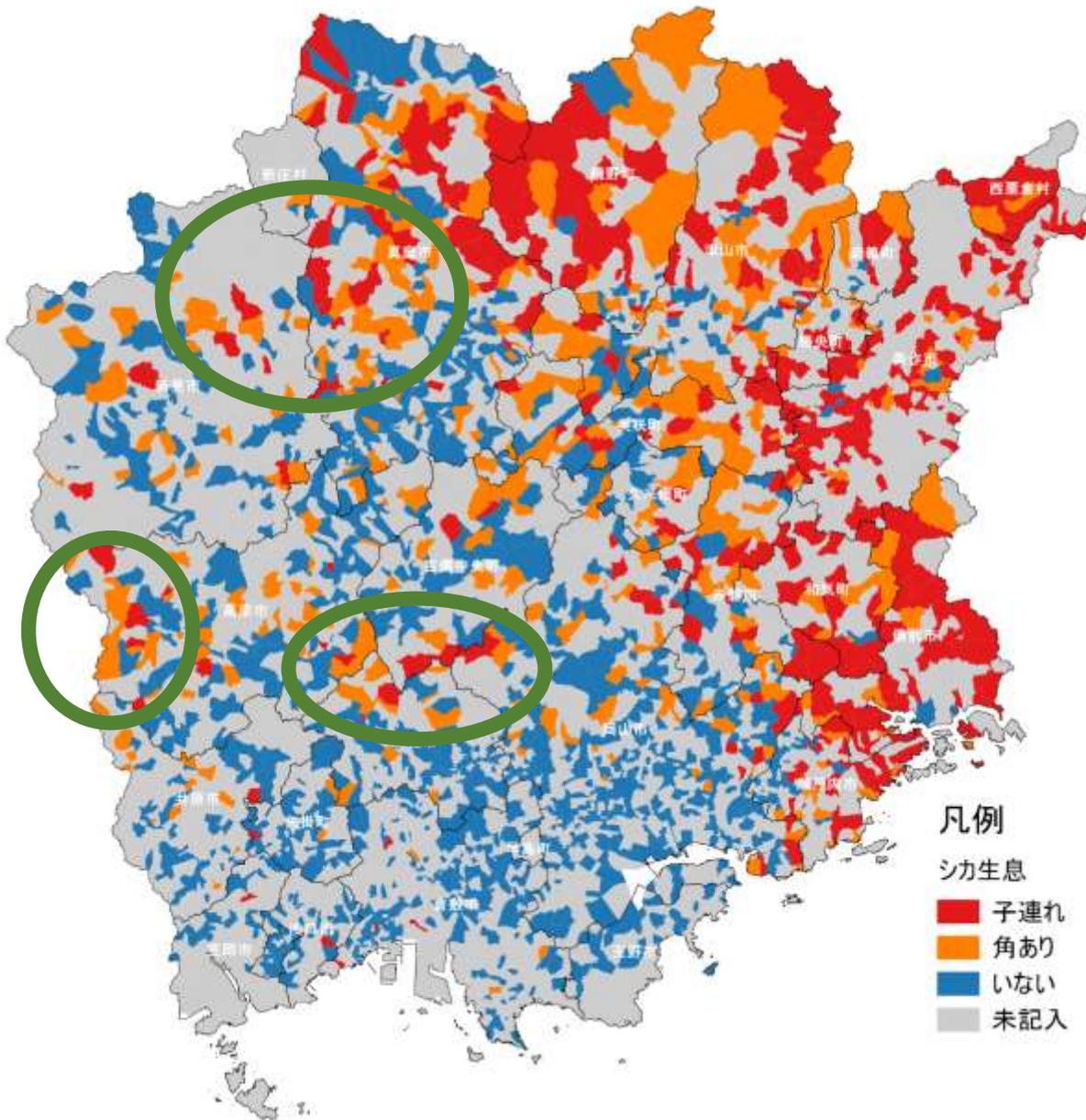
☑ 集落ぐるみ対策を希望
数か所

凡例
イノシシ要対策
■ 要対策
■ 集落対策希望
□ 希望

シカ



シカの生息状況(30年度)



☑ ♂ + ♀ 県全域

☑ ♀子 繁殖定着

県東部～真庭市

旭川が定着分布前線

☑ 孤立繁殖定着

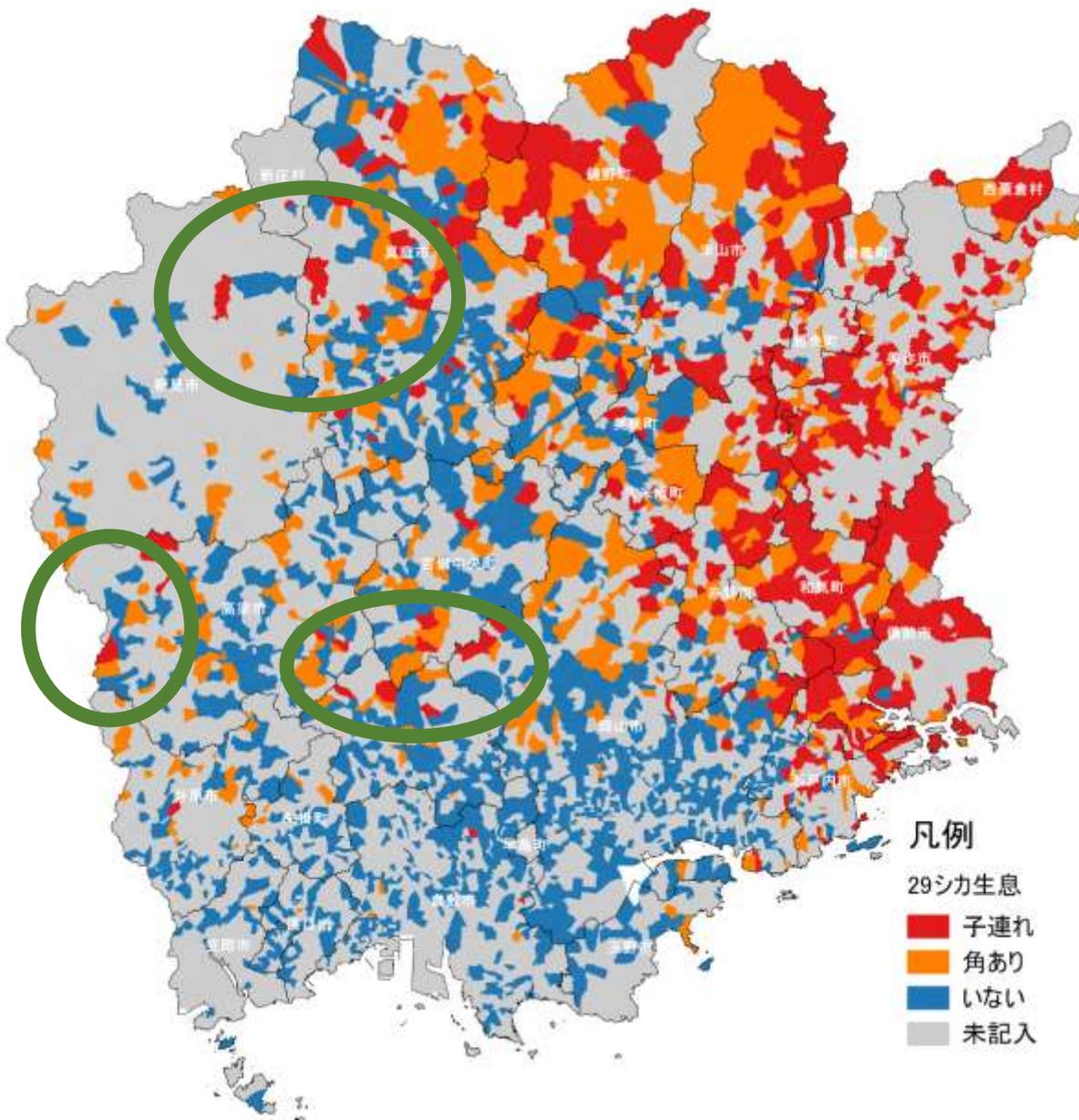
真庭～新見

吉備中央～総社～

高梁

高梁市西部

シカの生息状況(29年度)



☑ ♂ + ♀ 県全域

☑ ♀子 繁殖定着

県東部～真庭市

旭川が定着分布前線

☑ 孤立繁殖定着

真庭～新見

吉備中央～総社～

高梁

高梁市西部

凡例

29シカ生息

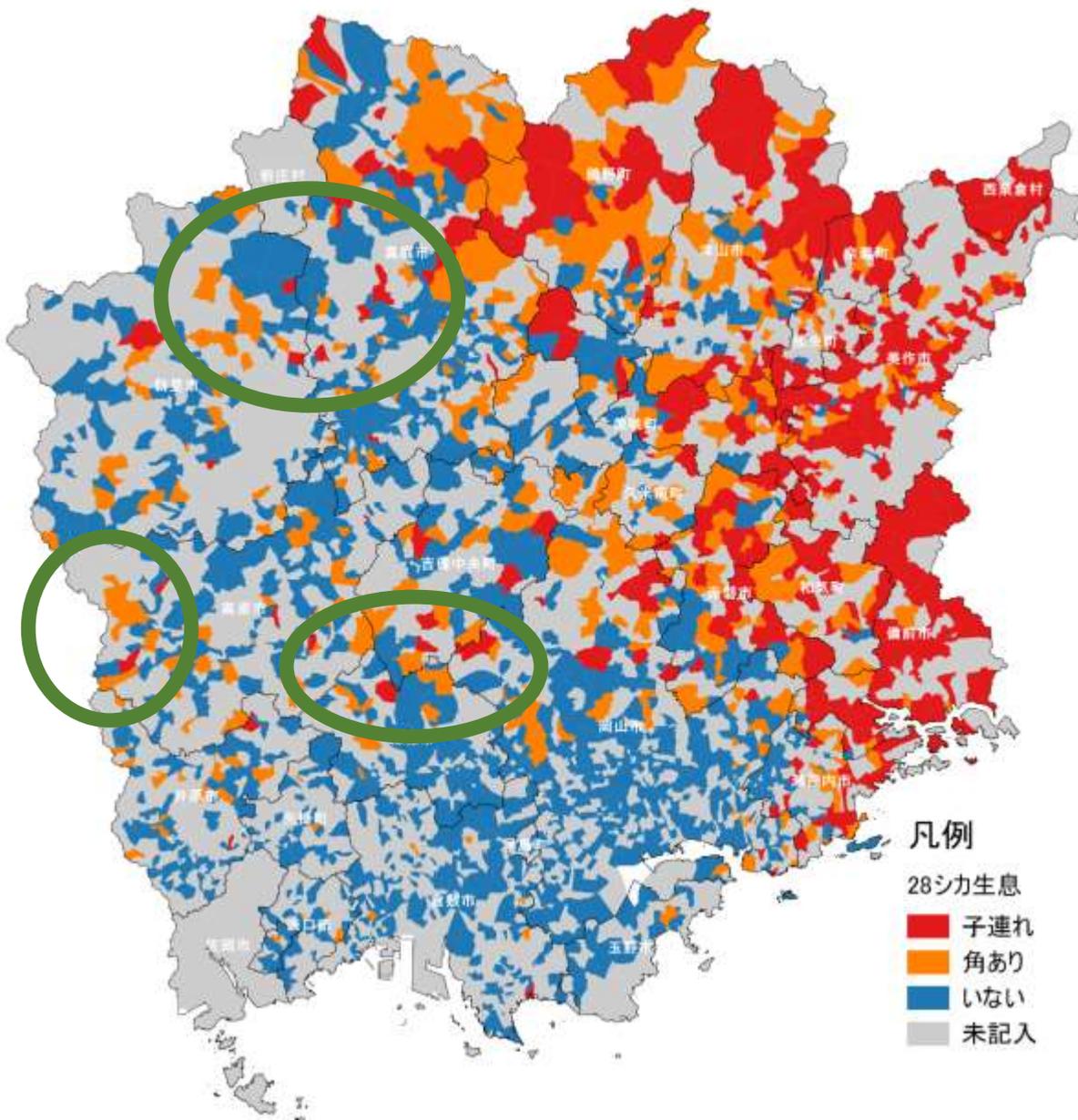
■ 子連れ

■ 角あり

■ いない

■ 未記入

シカの生息状況(28年度)



☑ ♂+♀ 県全域

☑ ♀子 繁殖定着

県東部～真庭市

旭川が定着分布前線

☑ 孤立繁殖定着

真庭～新見

吉備中央～総社～

高梁

高梁市西部

凡例

28シカ生息

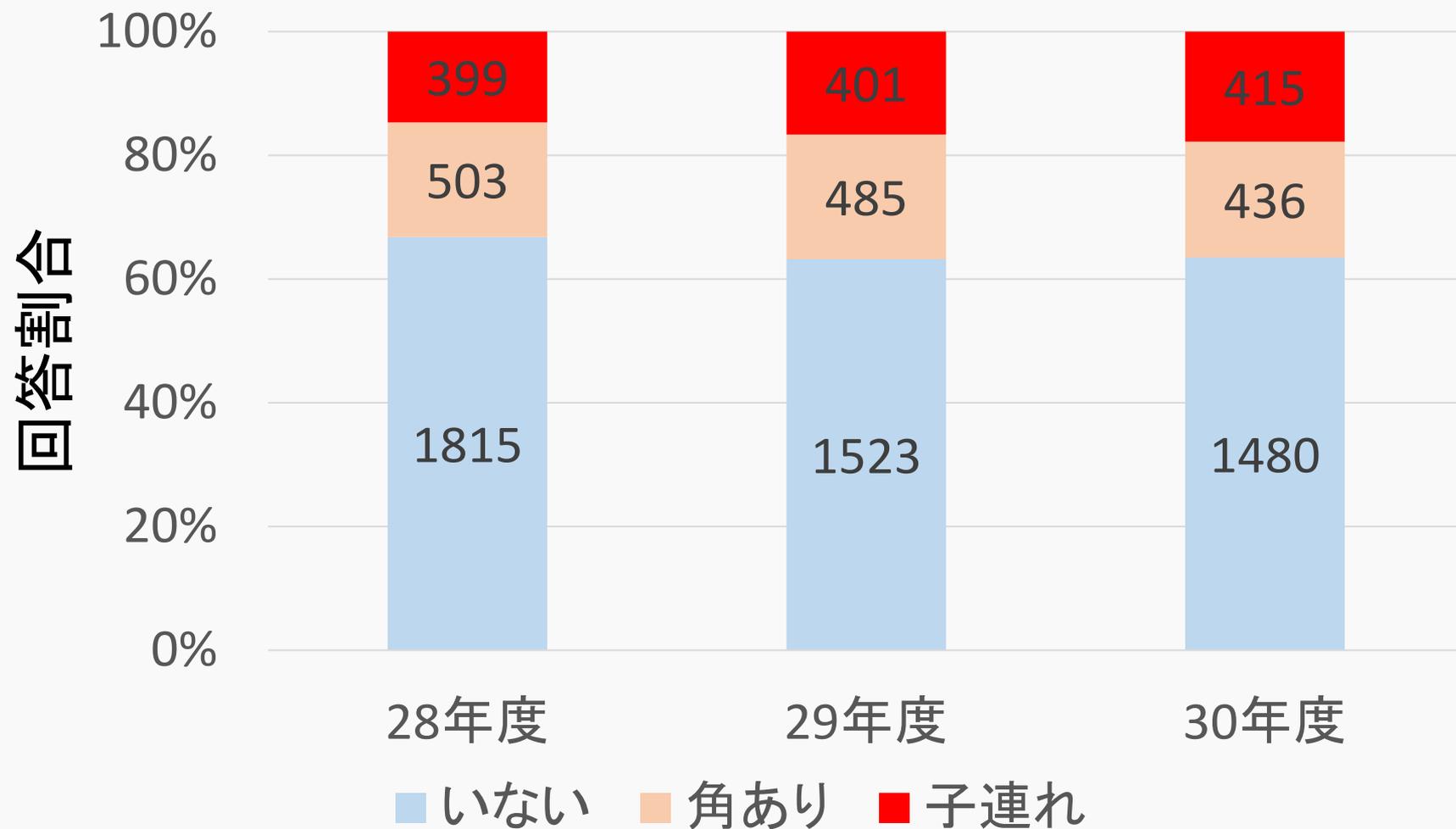
■ 子連れ

■ 角あり

■ いない

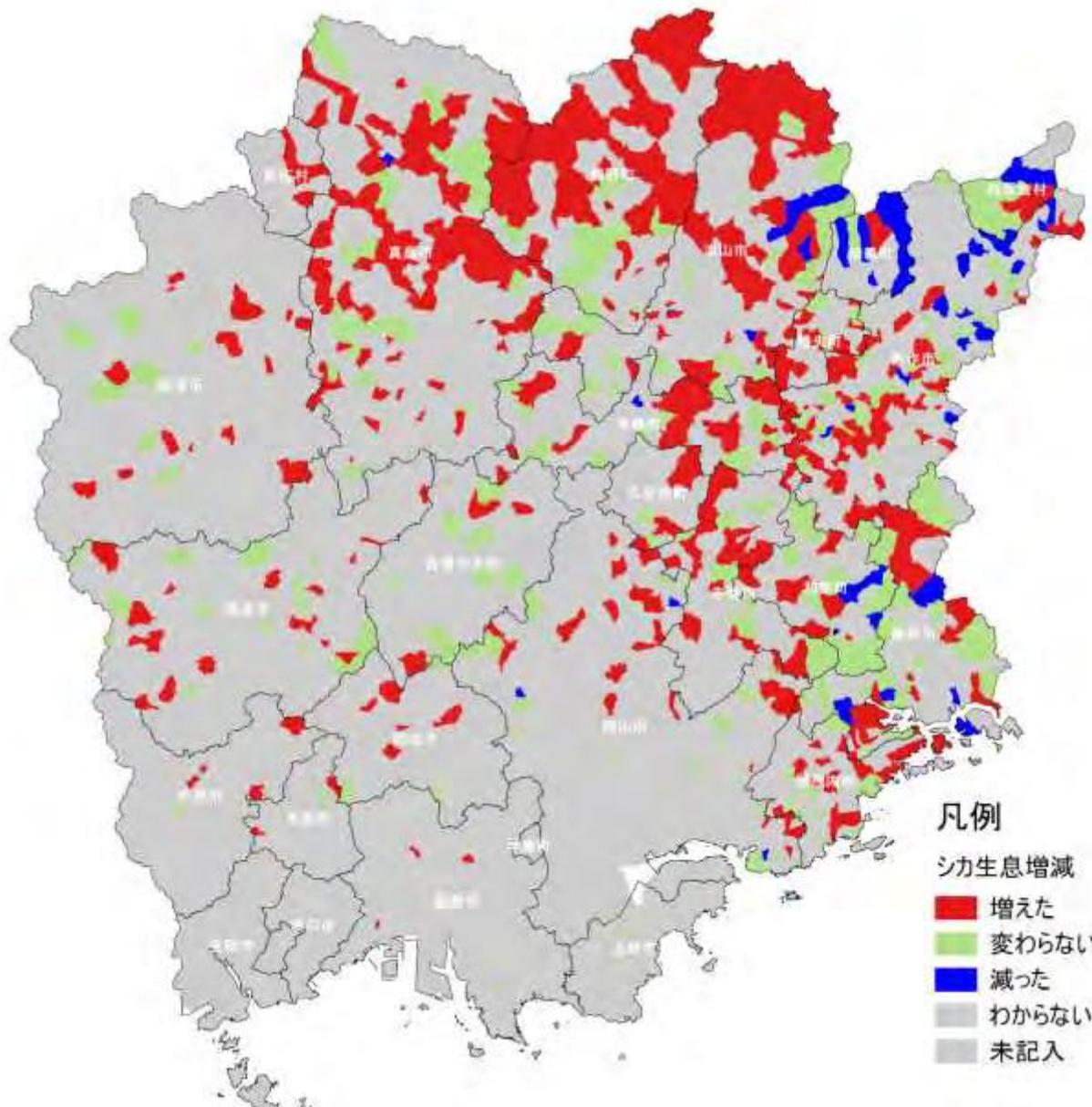
■ 未記入

シカの生息状況 年推移



生息集落数は横ばい

シカの生息状況の増減



凡例
シカ生息増減
■ 増えた
■ 変わらない
■ 減った
■ わからない
■ 未記入

☑ 減少地域

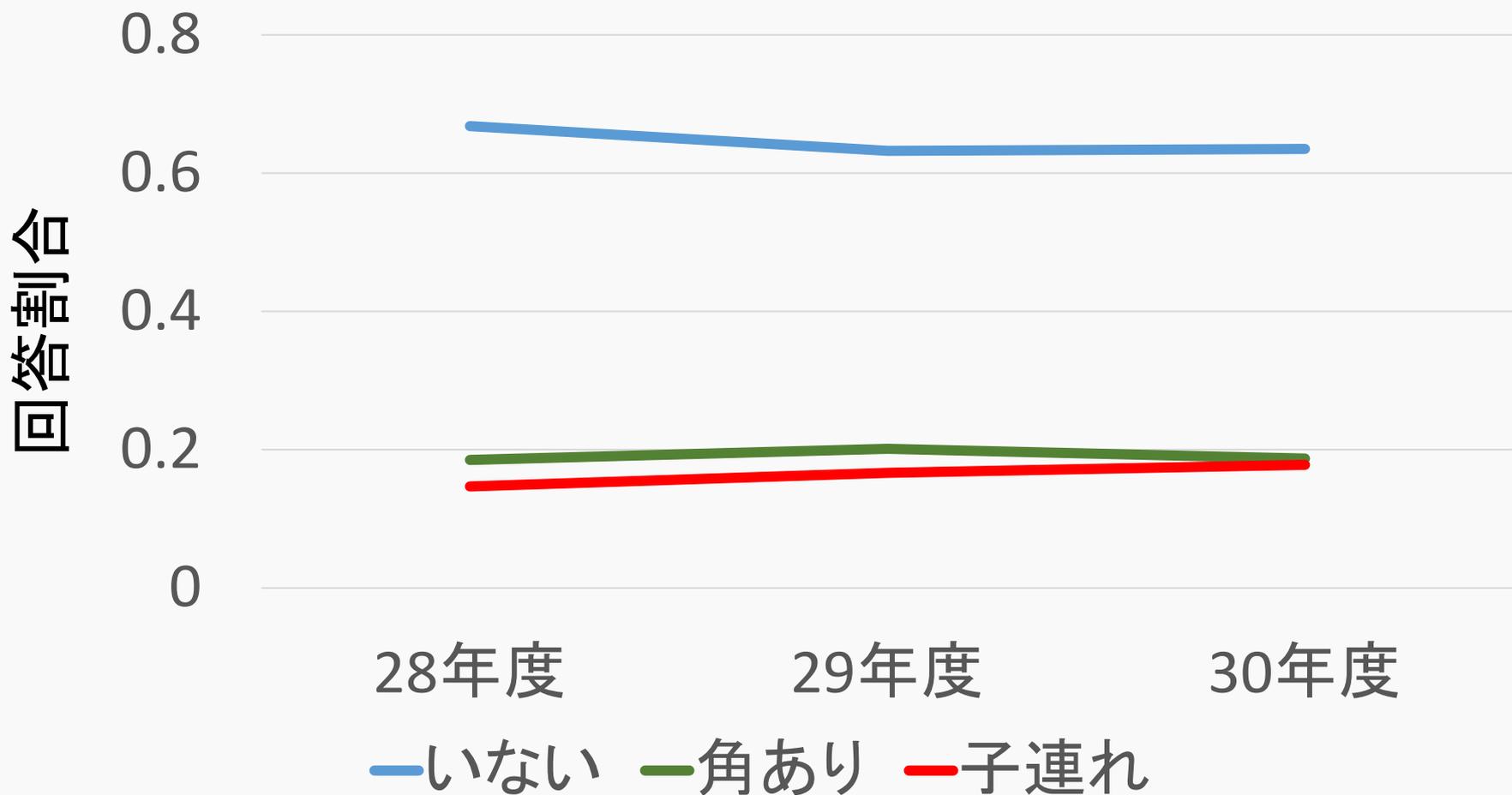
奈義～西粟倉

和気～備前

☑ 増加地域

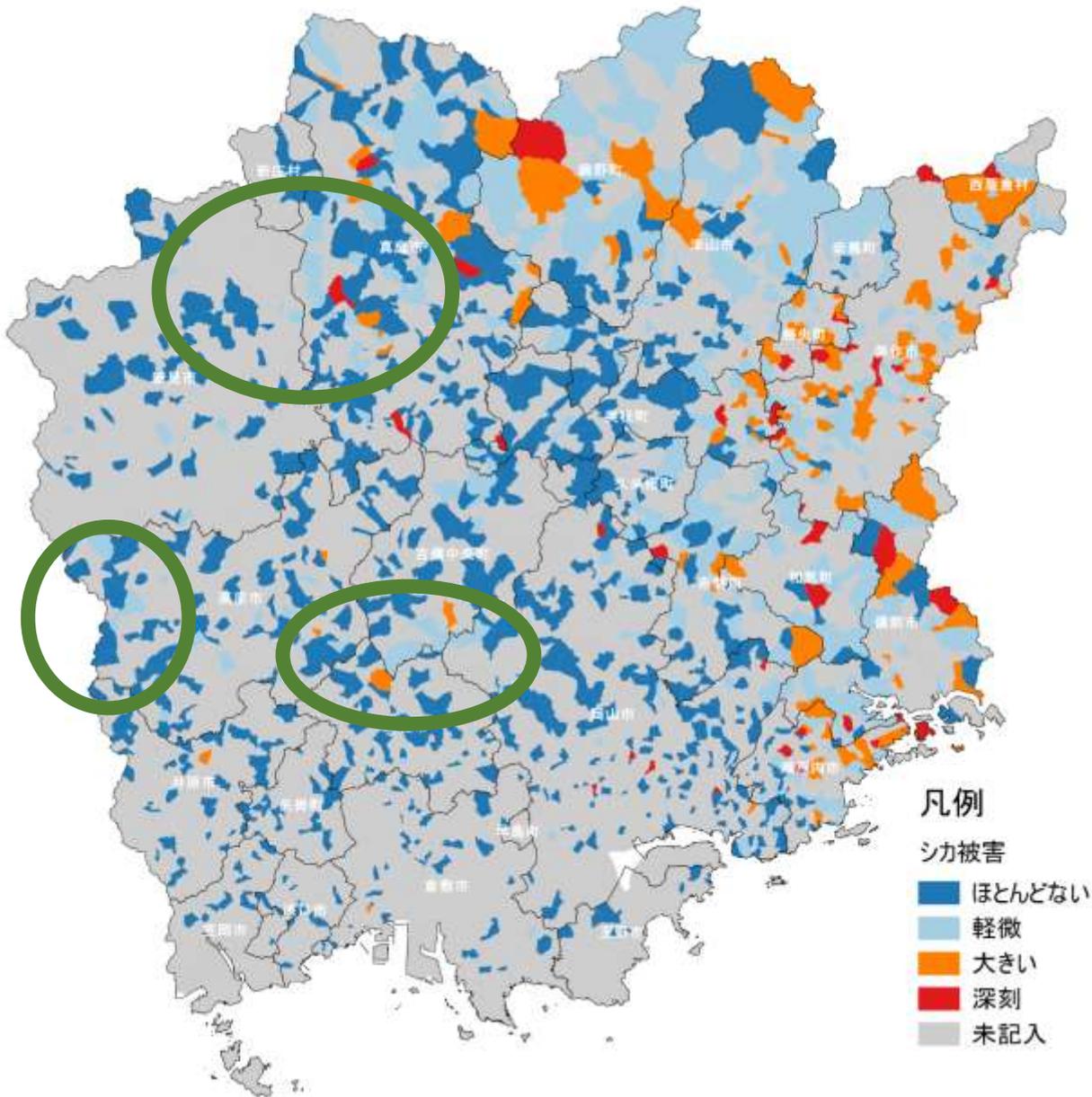
真庭～新見

シカの生息状況 年推移



子連れ(繁殖定着)が生息している集落が増加している。
定着繁殖へ移行する集落が年1~2%微増

シカの被害レベル



☑ 定着集落で深刻化

美作～勝央
瀬戸内市北部
鏡野～真庭

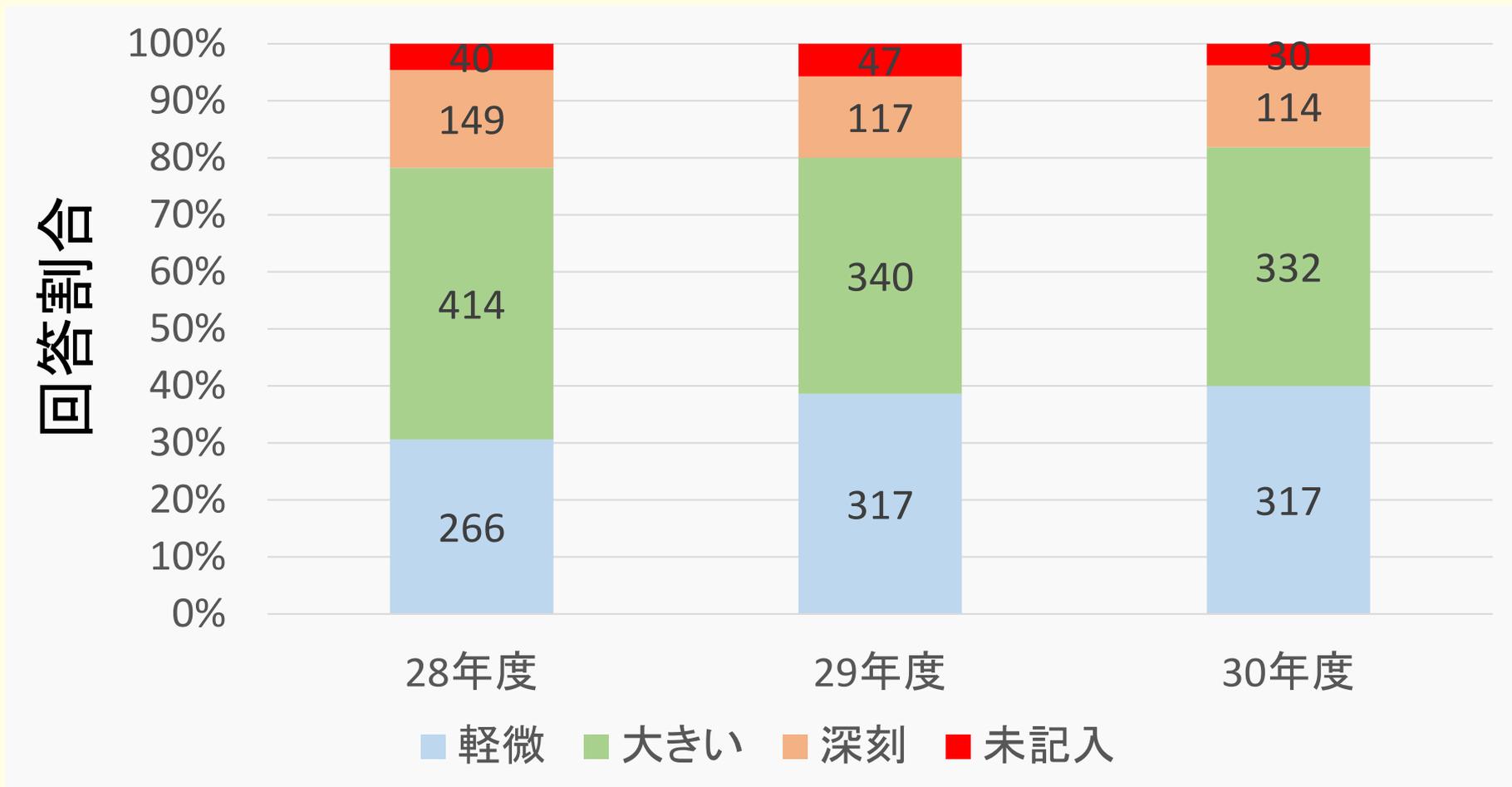
☑ 拡大前線では被害はまだ少ない

凡例

シカ被害

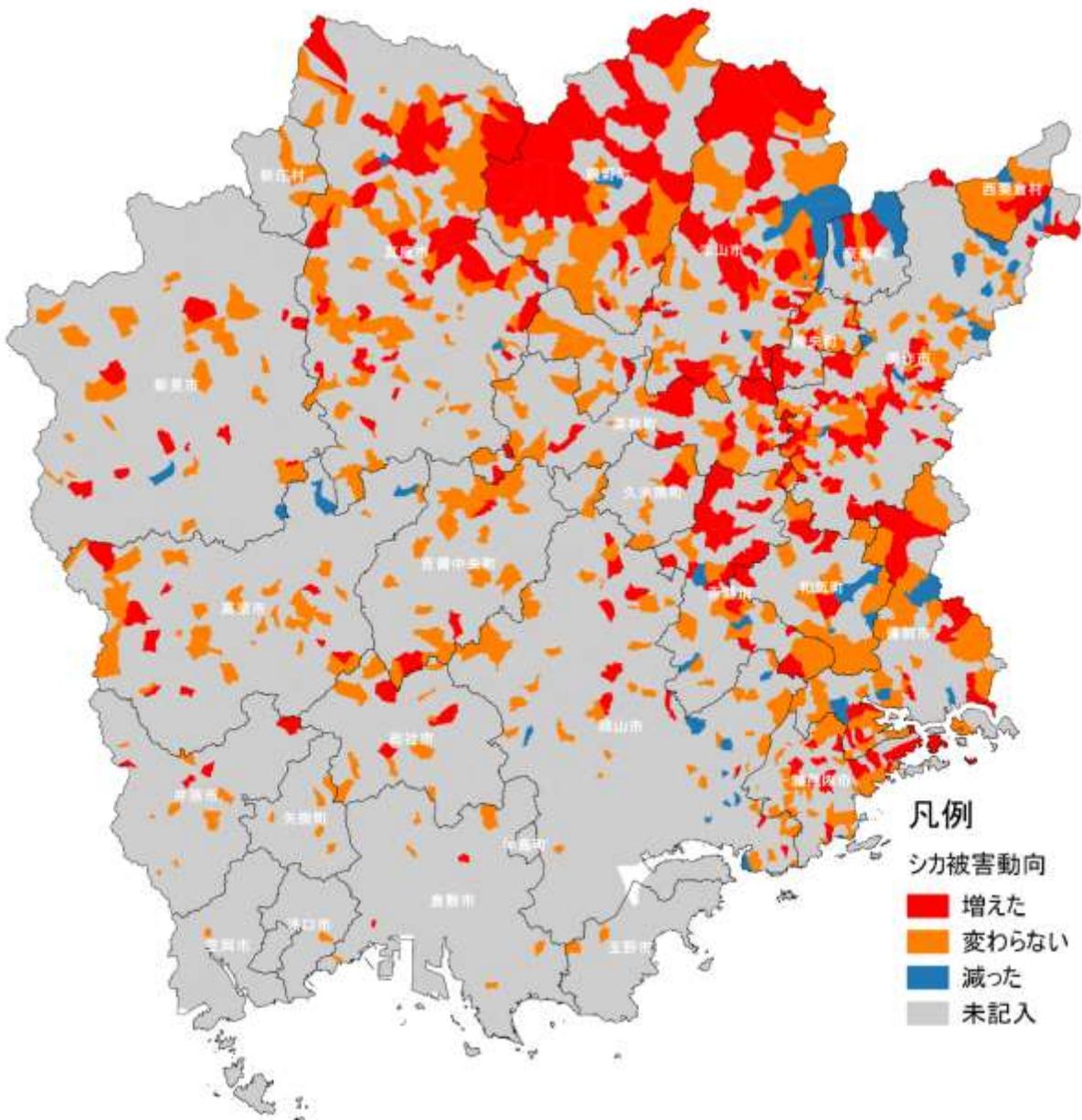
- ほとんどない
- 軽微
- 大きい
- 深刻
- 未記入

シカの被害レベル 年推移



出没集落における被害レベルの年推移は、やや減少傾向にあるが、いまだ生息集落の6割弱が甚大な被害が発生している。

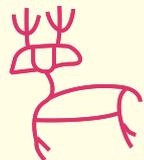
シカの被害レベルの増減



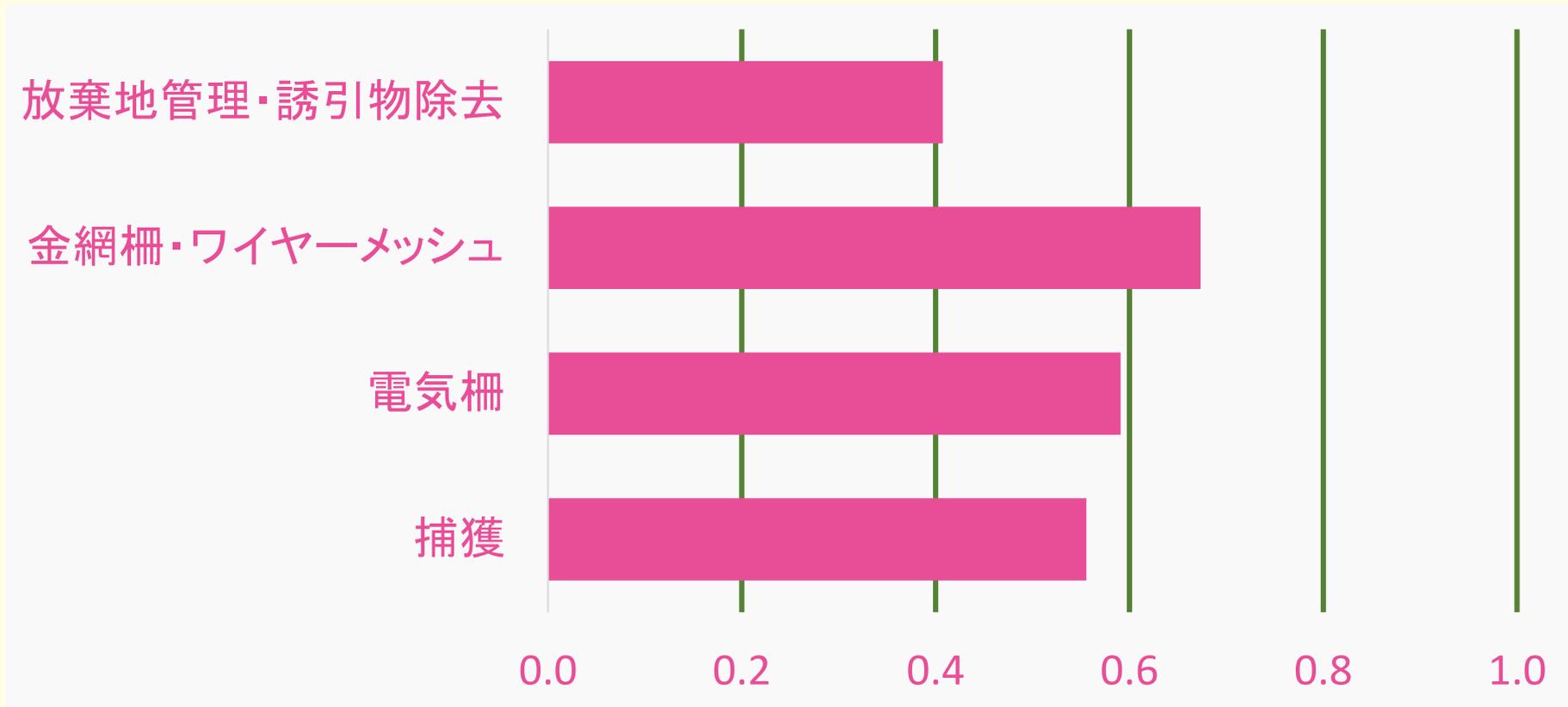
☑ 県全体で増加

☑ 「減った」集落
県東部

シカの対策効果

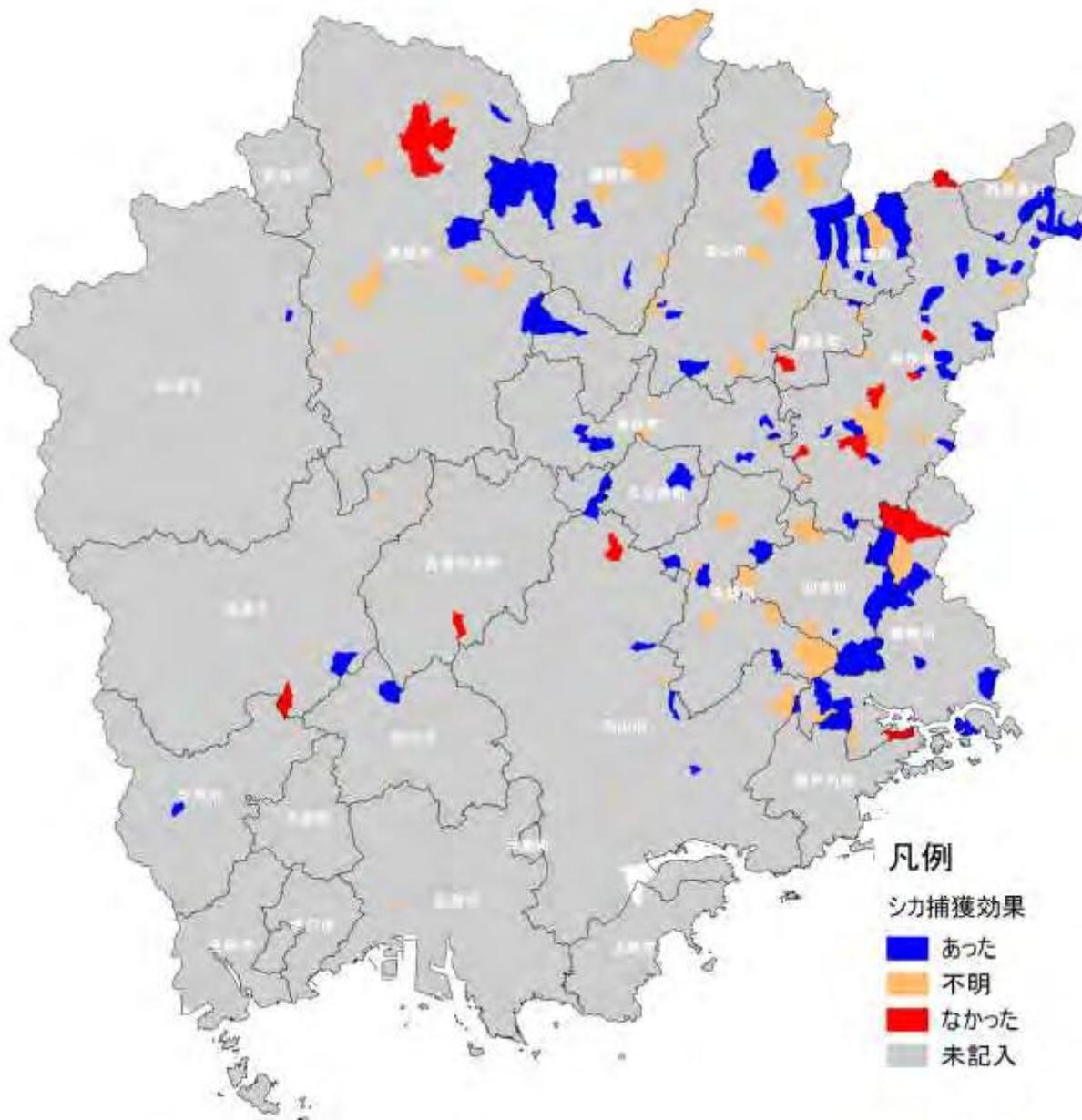


対策効果割合：繁殖定着している集落（「子連れ」の生息集落）において、対策効果に記載があった回答における効果が「あった」割合



- ☑ 防護柵の効果があった回答は6割程度
捕獲は6割弱、環境整備は4割程度

シカの対策効果(捕獲)



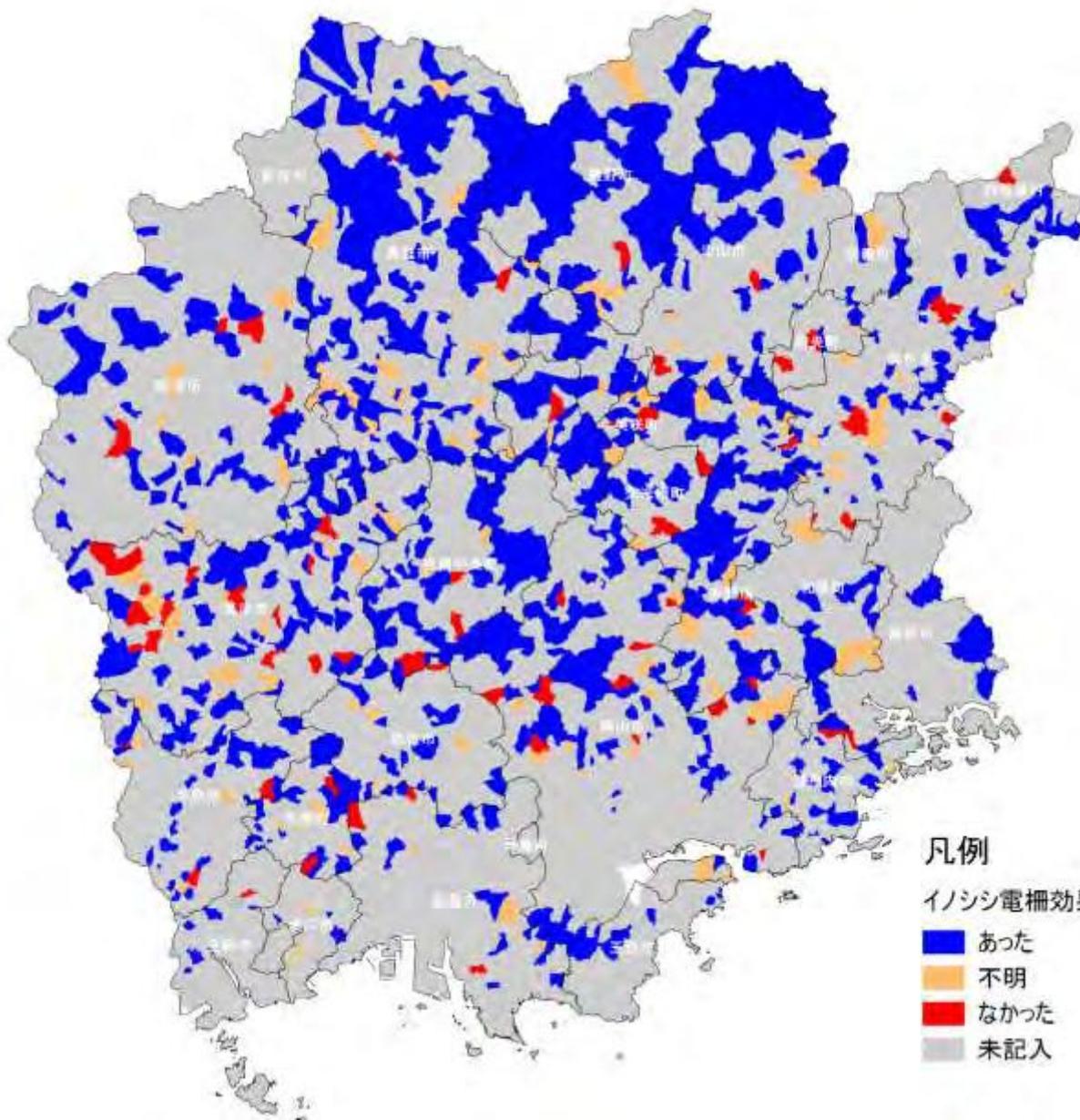
☑ 効果

5.5割

☑ 地域的(市町村)に
効果が「なかった」
回答あり

美作市南部
真庭市北部

シカの対策効果(電気柵)

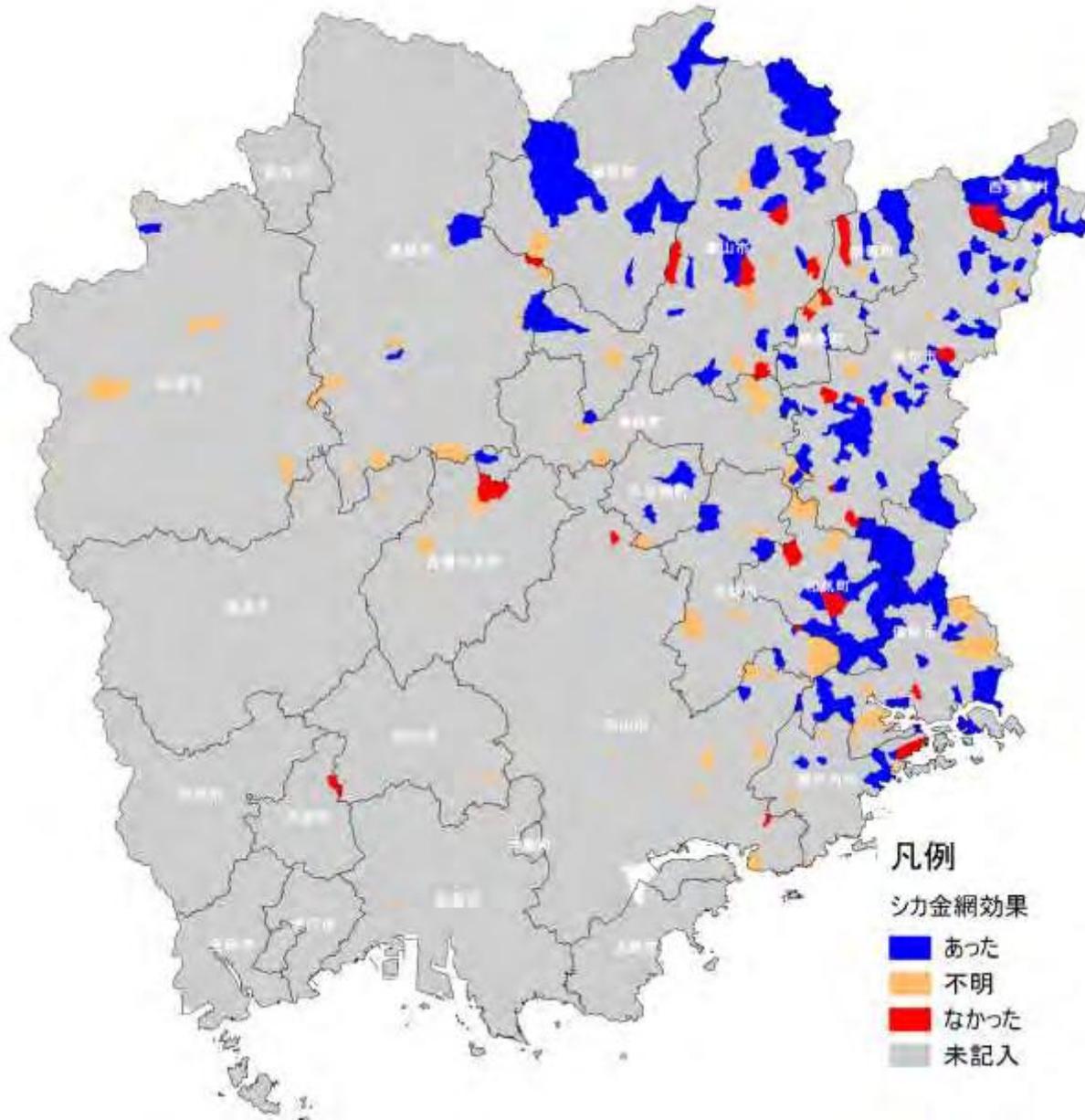


☑ 対策効果
6割近くが「あった」

☑ 地域的(市町村)に
効果が「なかった」
回答が集中

高梁市の一部

シカの対策効果 (金網柵・ワイヤーメッシュ柵)

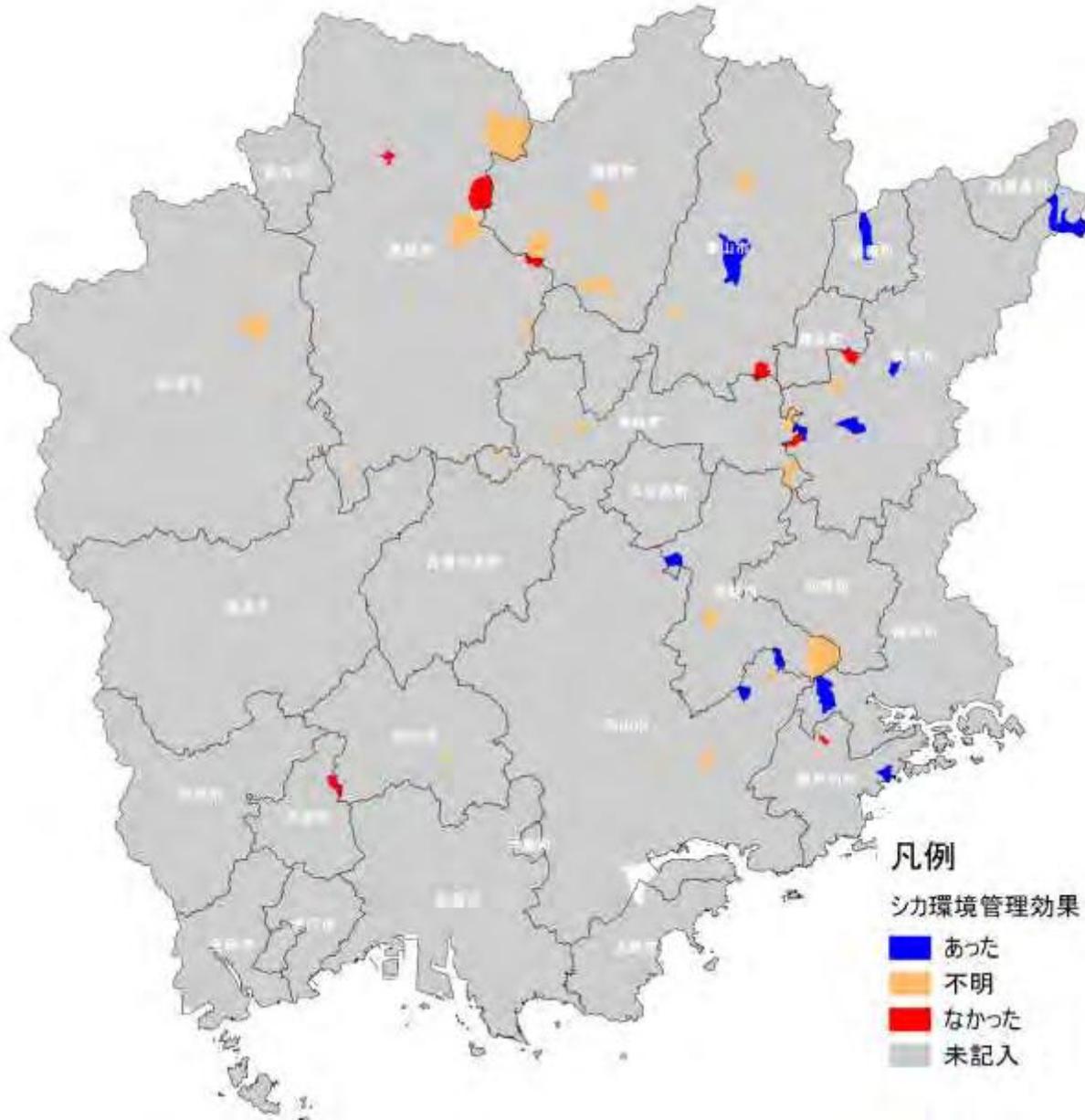


☑ 効果
7割が「あつた」

☑ 地域的(市町村)に
効果が「なかつた」
回答が集中

奈義～勝央～津山

シカの対策効果(放棄地管理・誘引物除去)



☑ 効果
4割が「あつた」

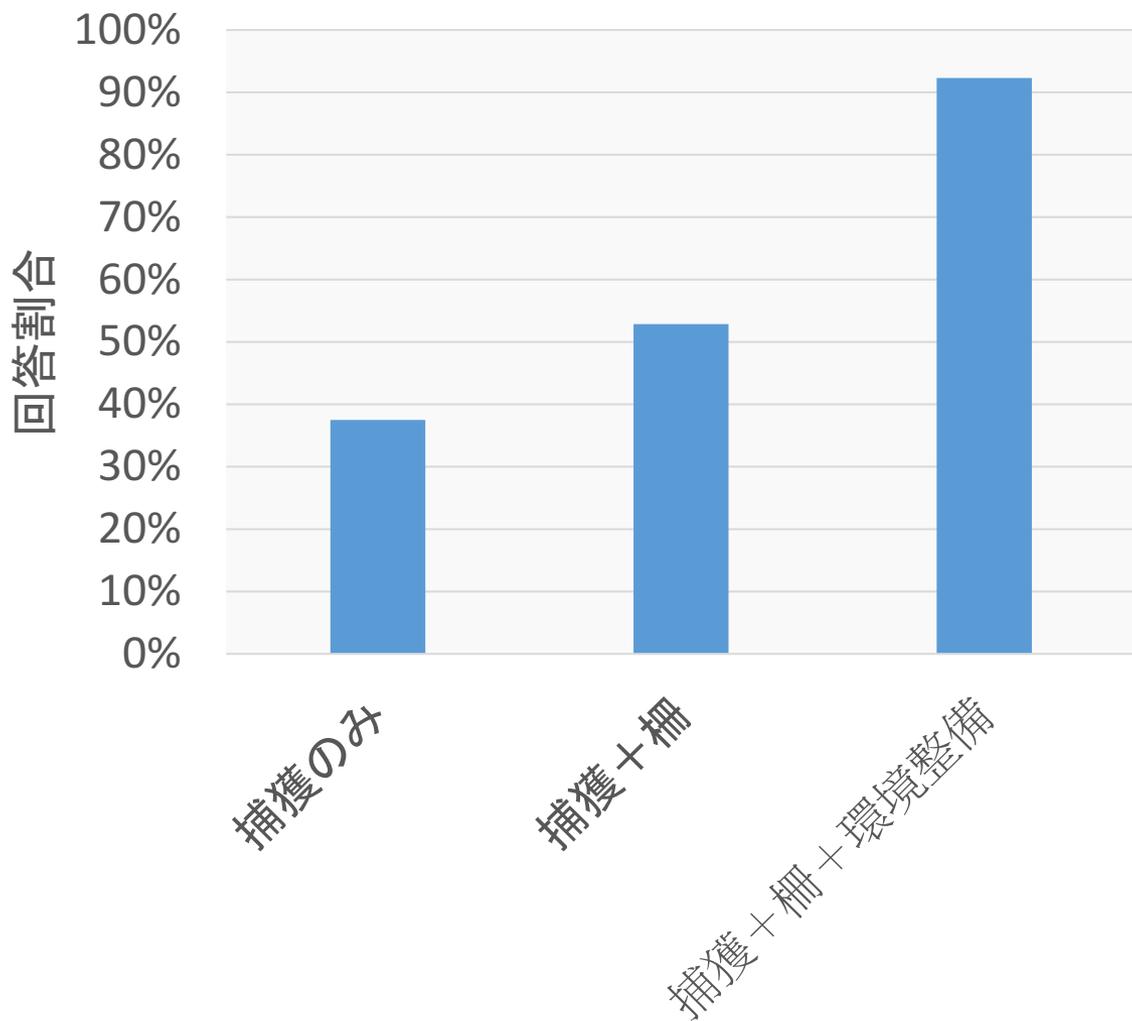
☑ 地域的(市町村)に
効果が「あつた」
回答が集中

岡山市北部

シカの対策 複合効果



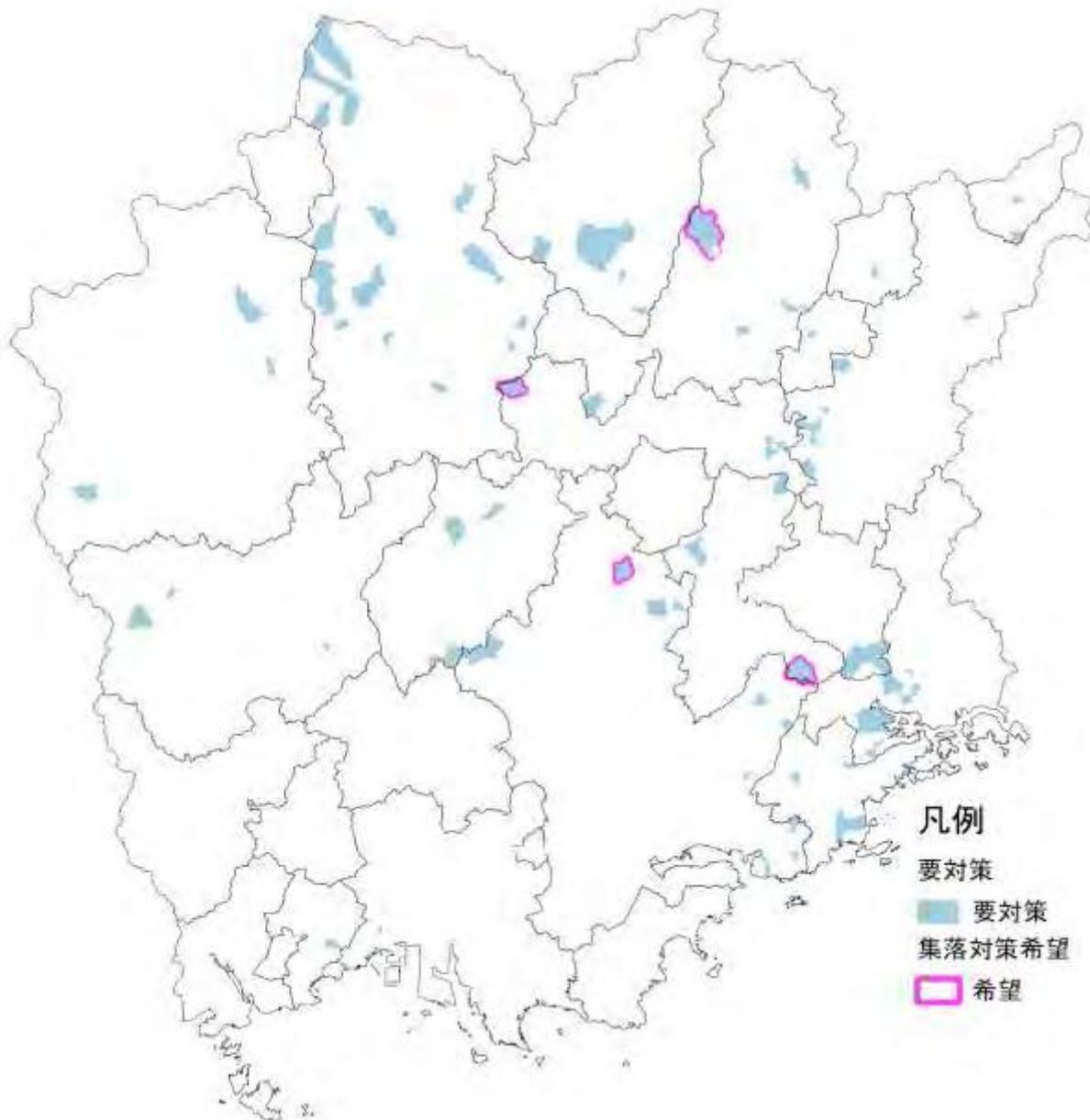
定着している集落のうち、捕獲を実施している集落で、防護柵（電気・金網）や耕作放棄地管理の実施状況別にみた捕獲効果が「ある」回答割合



☑ 捕獲効果

捕獲単独より
防護柵や環境
整備を複合さ
せることで捕獲
効果が高くなる。

シカ要対策集落



☑ 定着＋無対策集落
県北部～東部

和気～備前～瀬戸内
鏡野～真庭

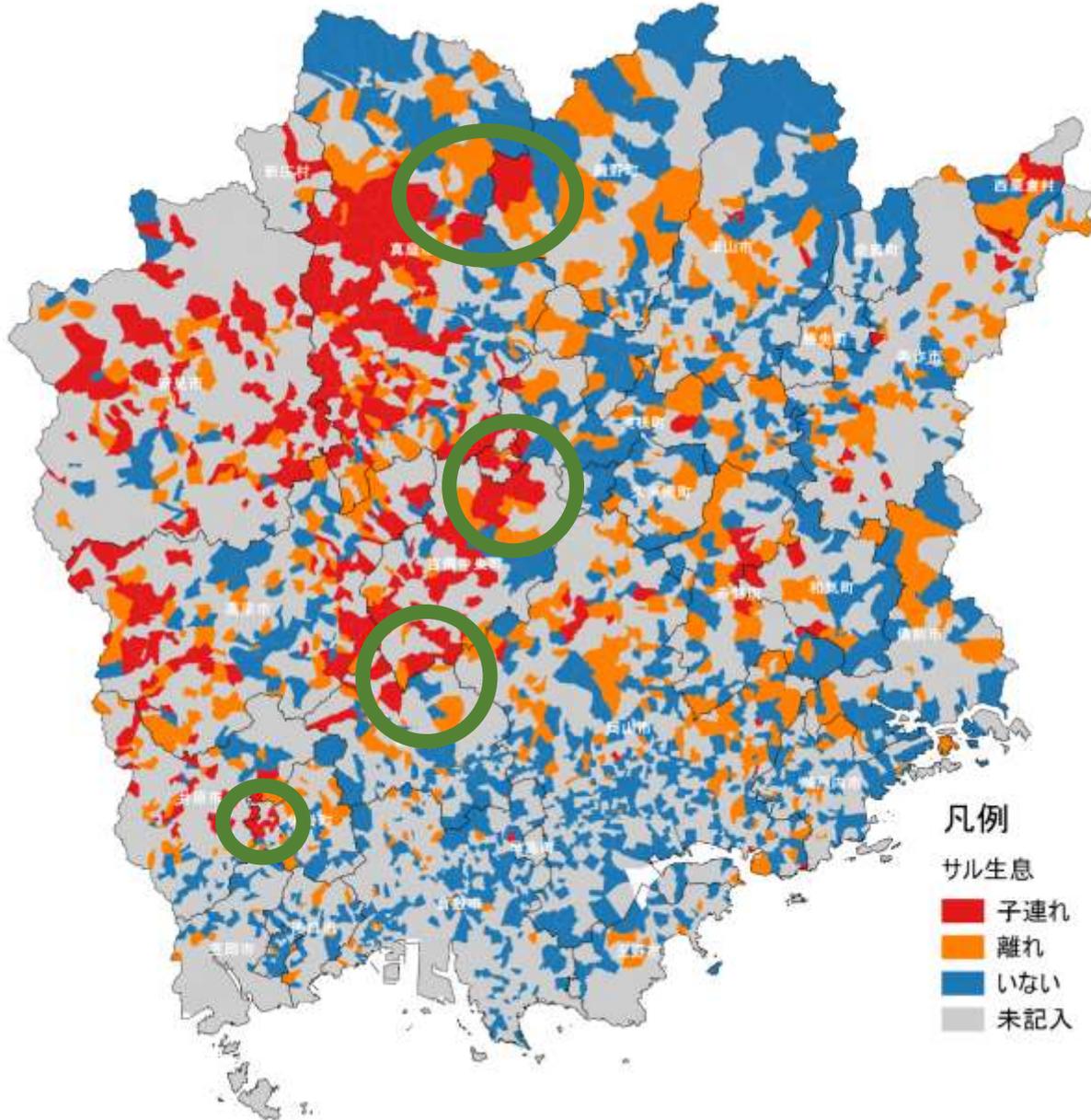
イノシシに比べ多い
定着分布前線に近い

☑ 集落対策希望集落
数集落

サル



サルの生息状況(30年度)



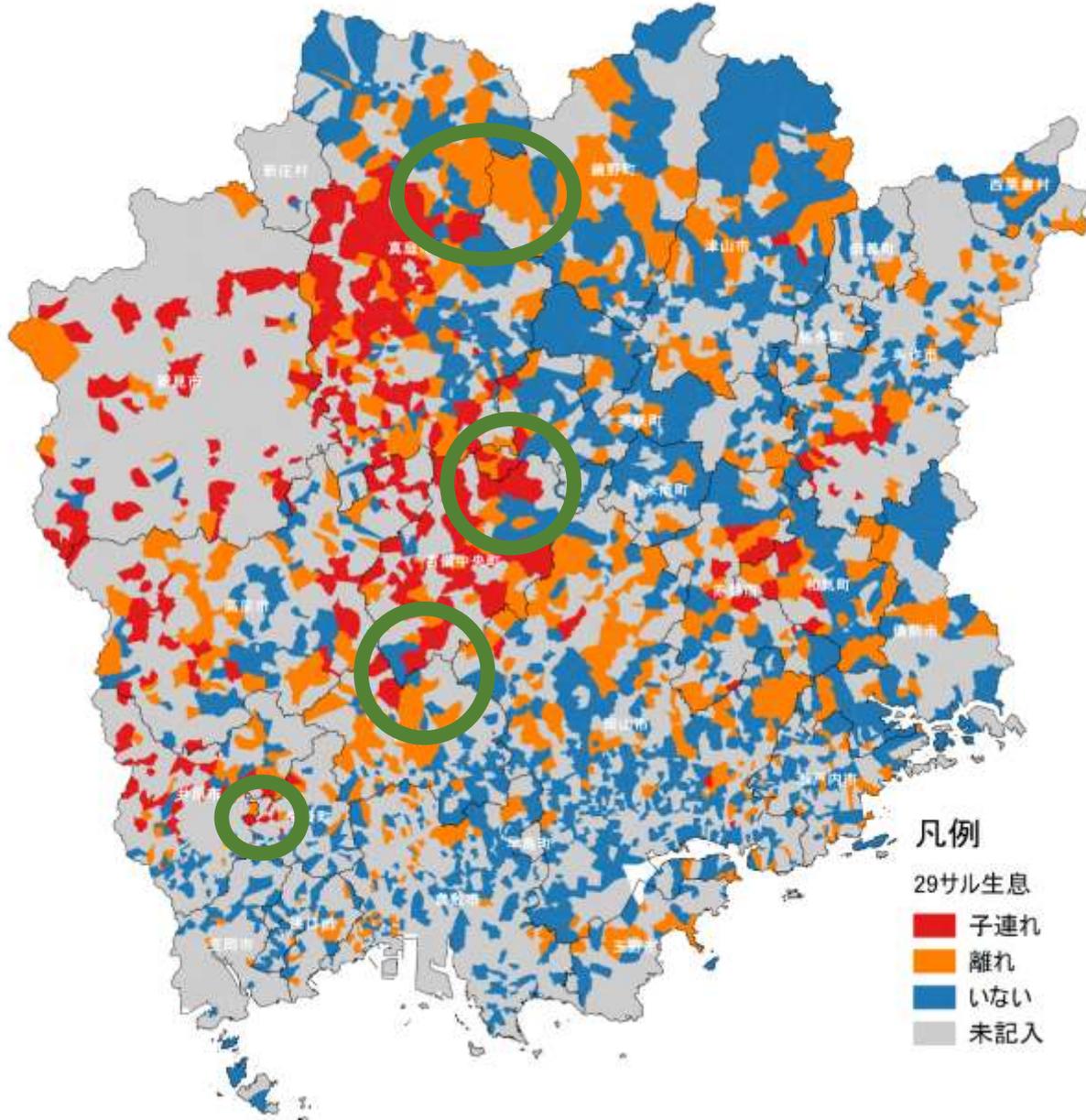
凡例
サル生息
■ 子連れ
■ 離れ
■ いない
■ 未記入

☑ 群れの分布
県西部
和気町～美作市南部
旭川が分布制限要因？

☑ ハナレザル(オスの分散个体)
県全域出没

☑ 群れ出没拡大
鏡野
吉備中央(北・南)
矢掛

サルの生息状況(29年度)



☑ 群れの分布
県西部
和気町～美作市南部
旭川が分布制限要因？

☑ ハナレザル(オスの分散个体)
県全域出没

☑ 群れ出没拡大
鏡野
吉備中央(北・南)
矢掛

凡例

29サル生息

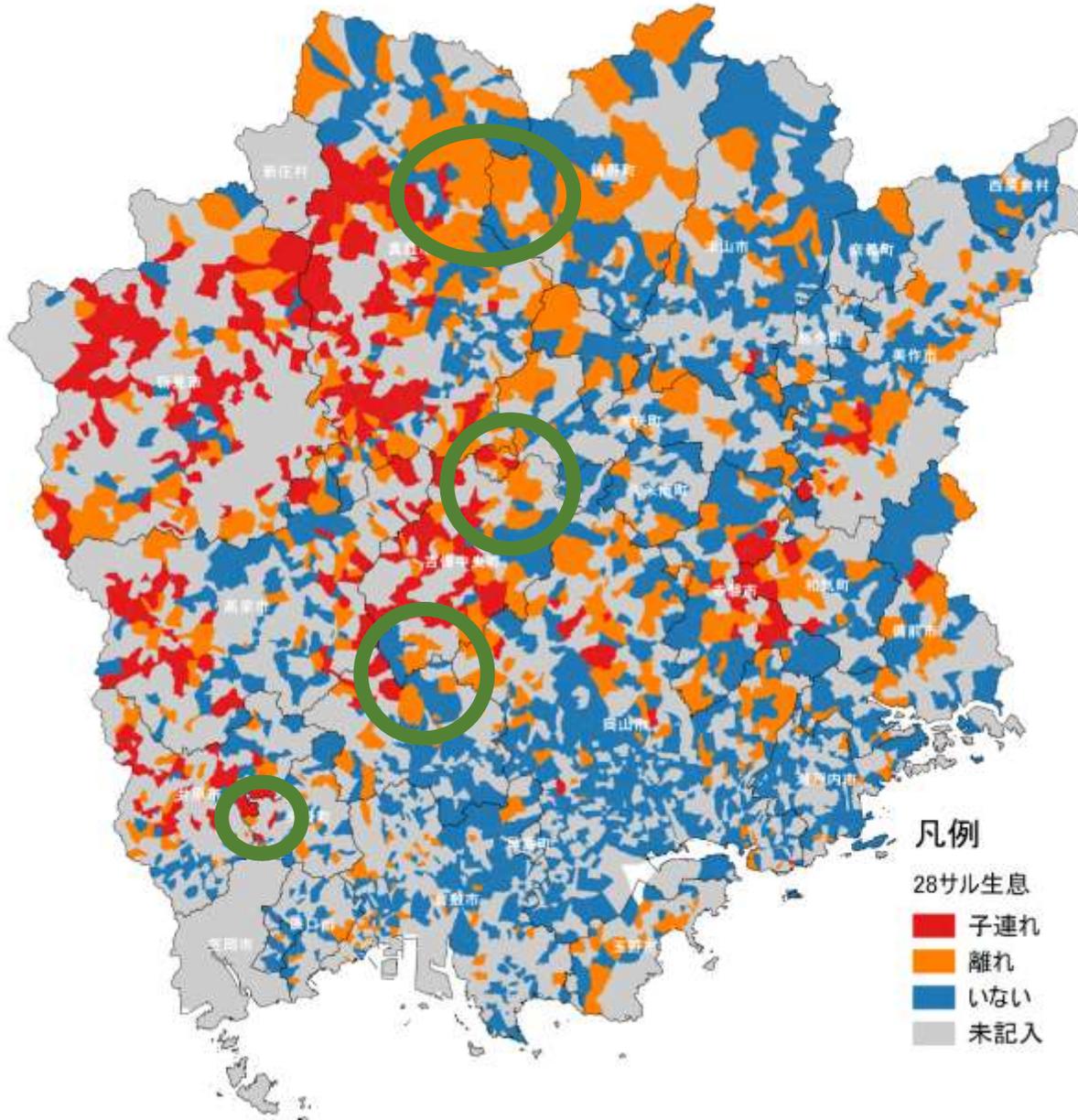
■ 子連れ

■ 離れ

■ いない

■ 未記入

サルの生息状況(28年度)



☑ 群れの分布
県西部
和気町～美作市南部
旭川が分布制限要因？

☑ ハナレザル(オスの分散个体)
県全域出没

☑ 群れ出没拡大
鏡野
吉備中央(北・南)
矢掛

凡例

28サル生息

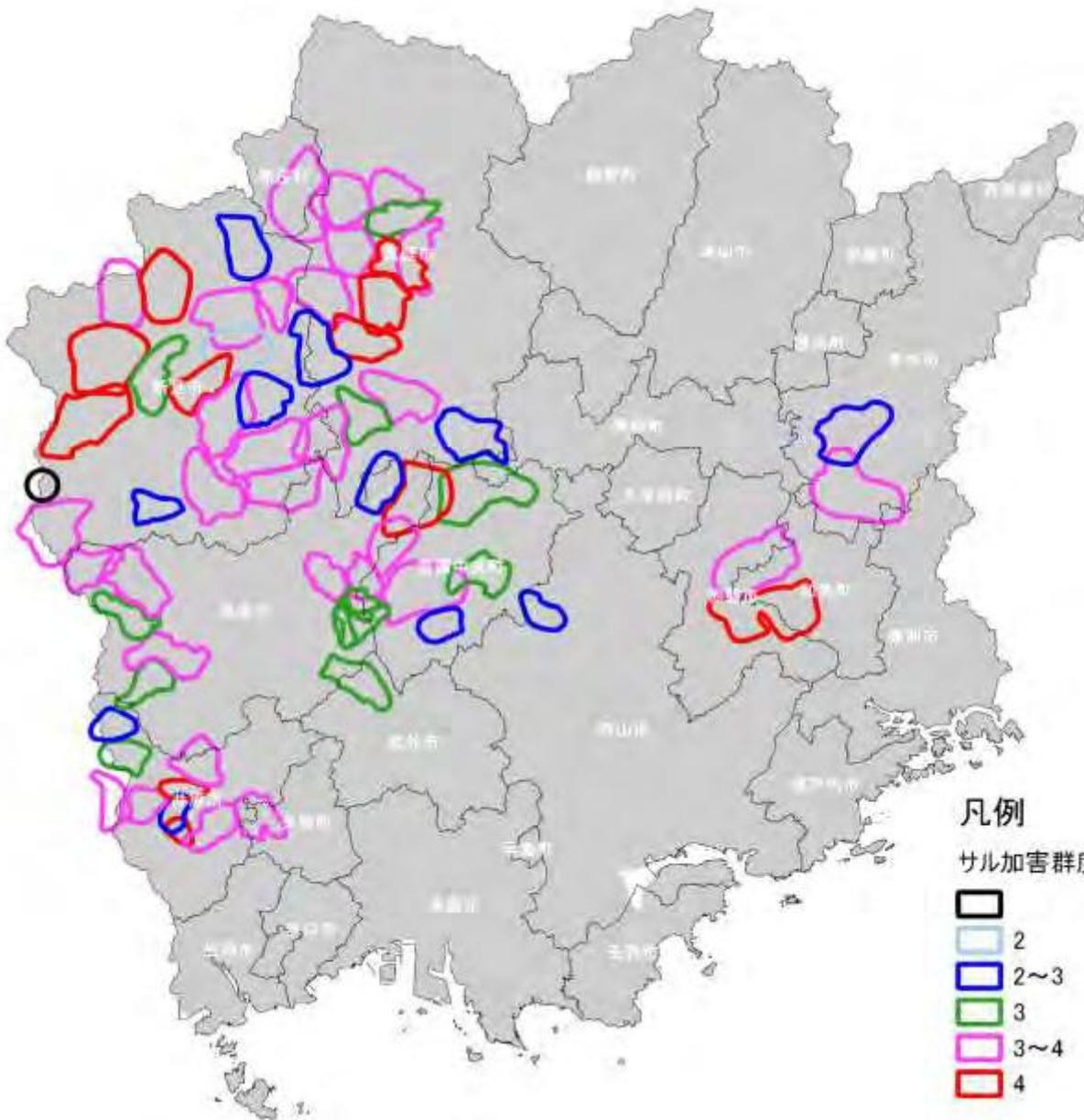
■ 子連れ

■ 離れ

■ いない

■ 未記入

サルの遊動域(加害レベル別)



☑ 加害レベル

レベル4

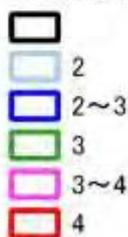
新見市・真庭市

高梁市

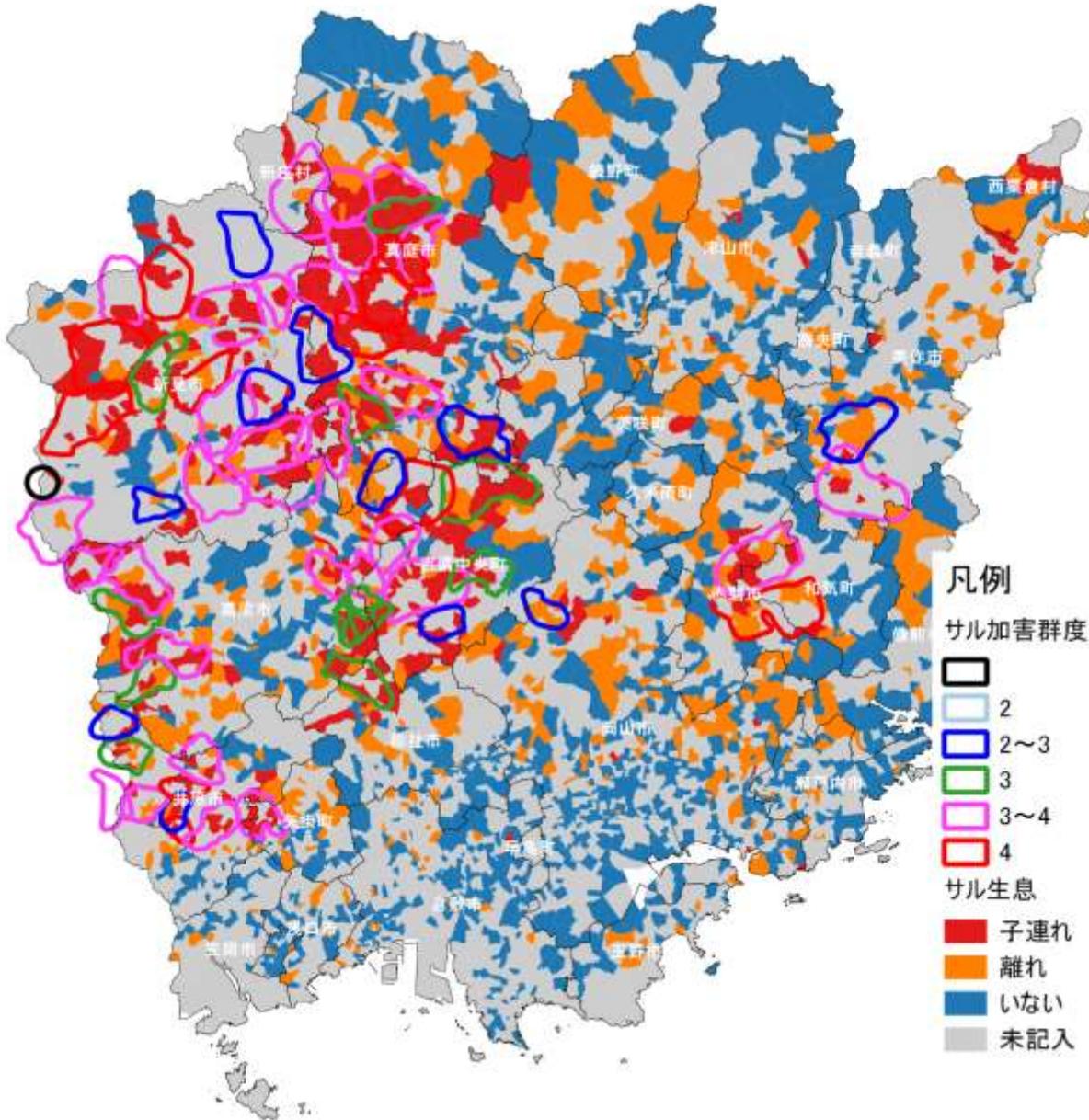
和気町～赤磐市

凡例

サル加害群度



サルの生息状況＋加害群度

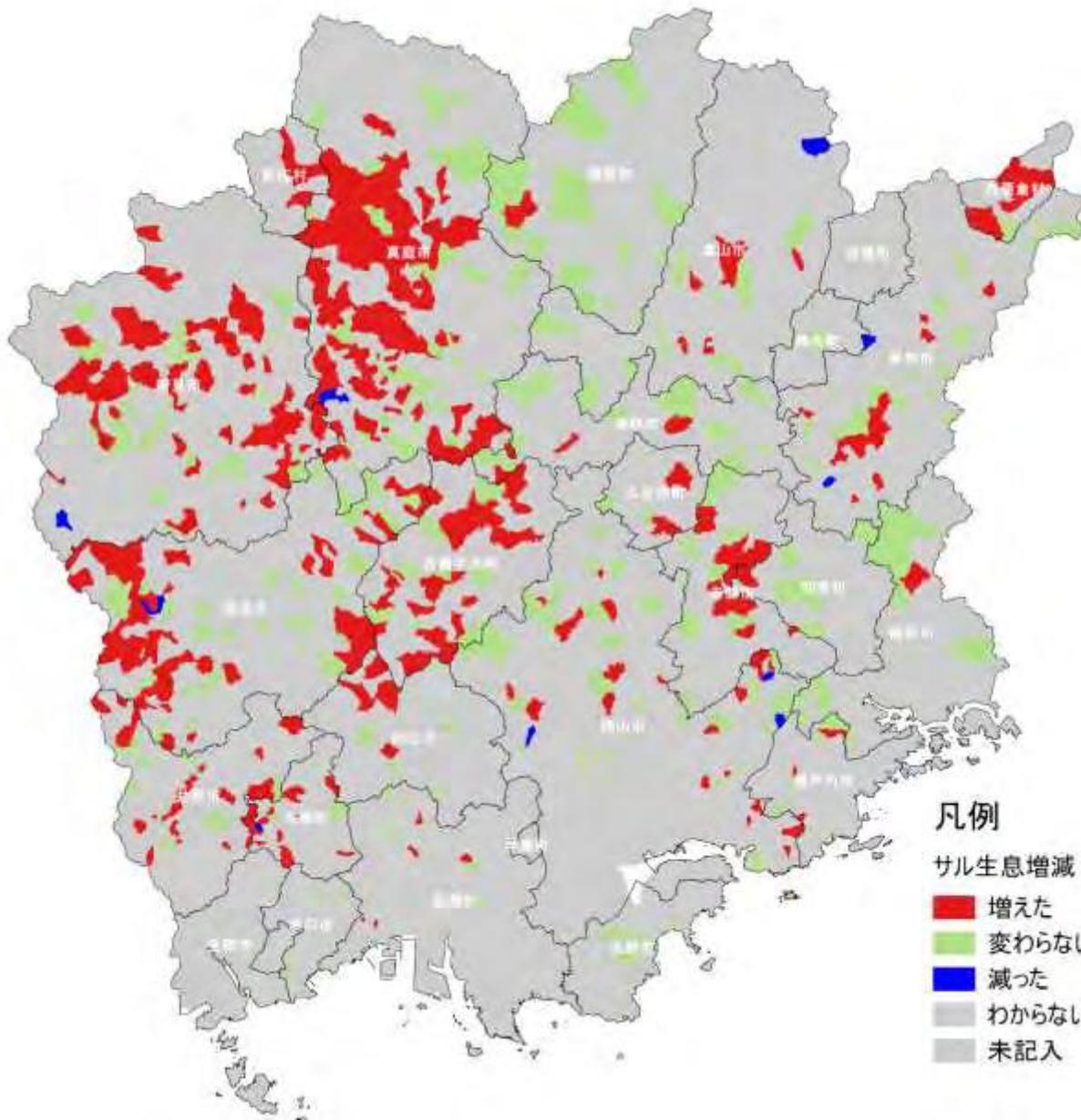


☑ 群れの分布
県西部
和気町～美作市南部
旭川が分布制限要因？

☑ ハナレザル(オスの分散个体)
県全域出没

☑ 群れ出没拡大
鏡野
吉備中央(北・南)
矢掛

サルの生息状況の増減



☑ 群れ定着地全
域

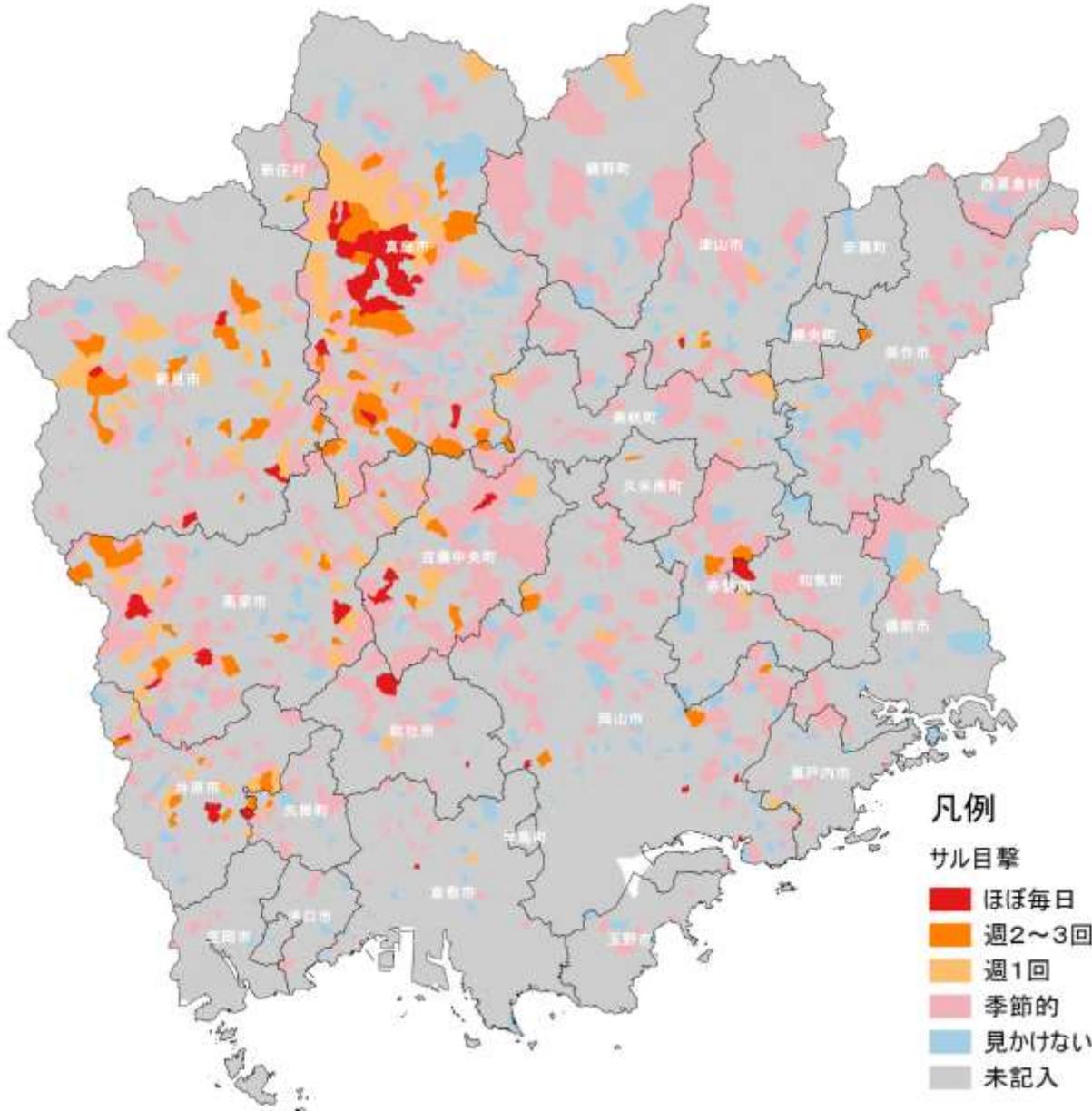
「増えた」回答が
ほとんど

凡例

サル生息増減

- 増えた
- 変わらない
- 減った
- わからない
- 未記入

サルを目撃



☑ 群れによる差

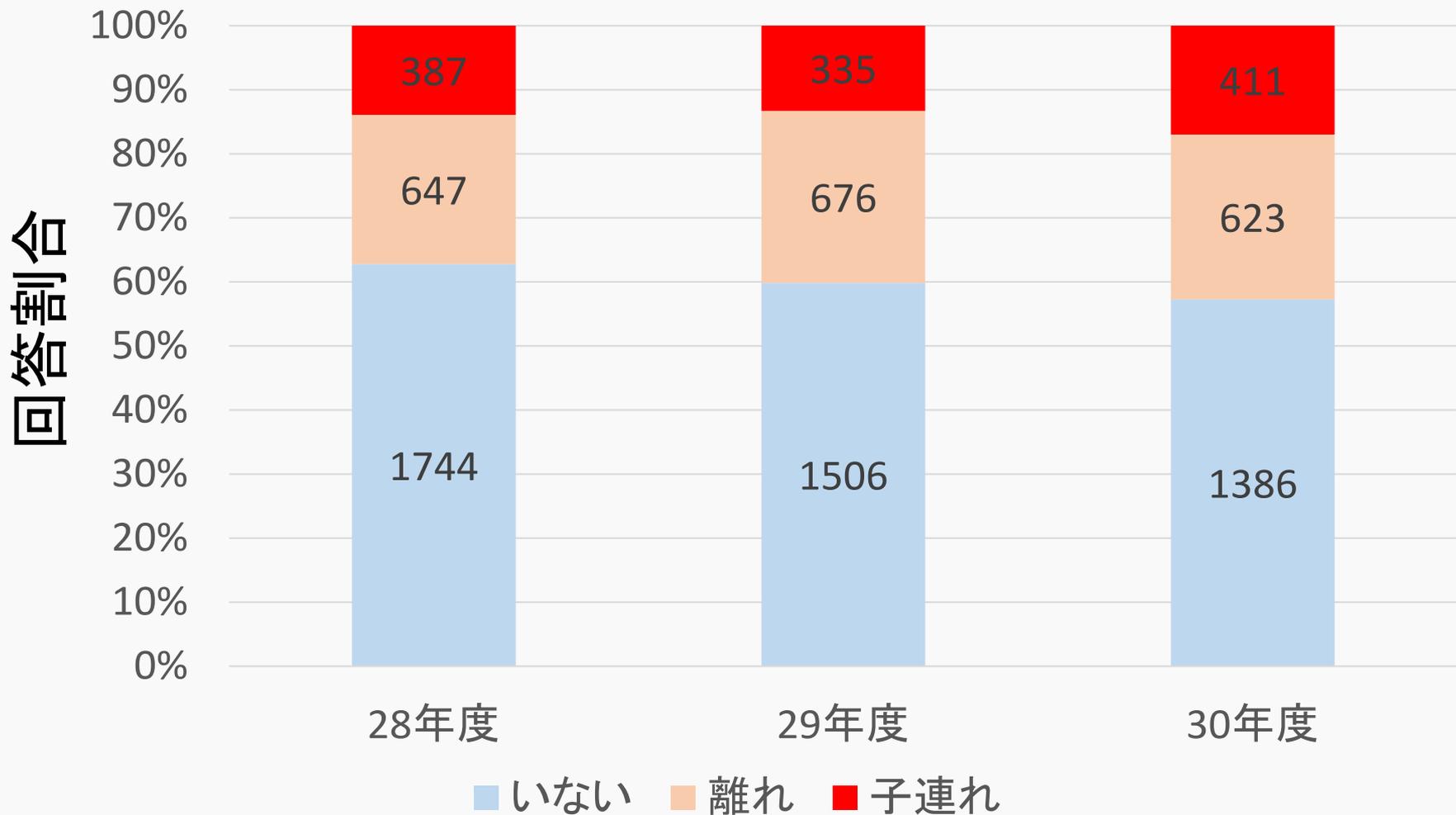
「ほぼ毎日」
真庭市中央部

凡例

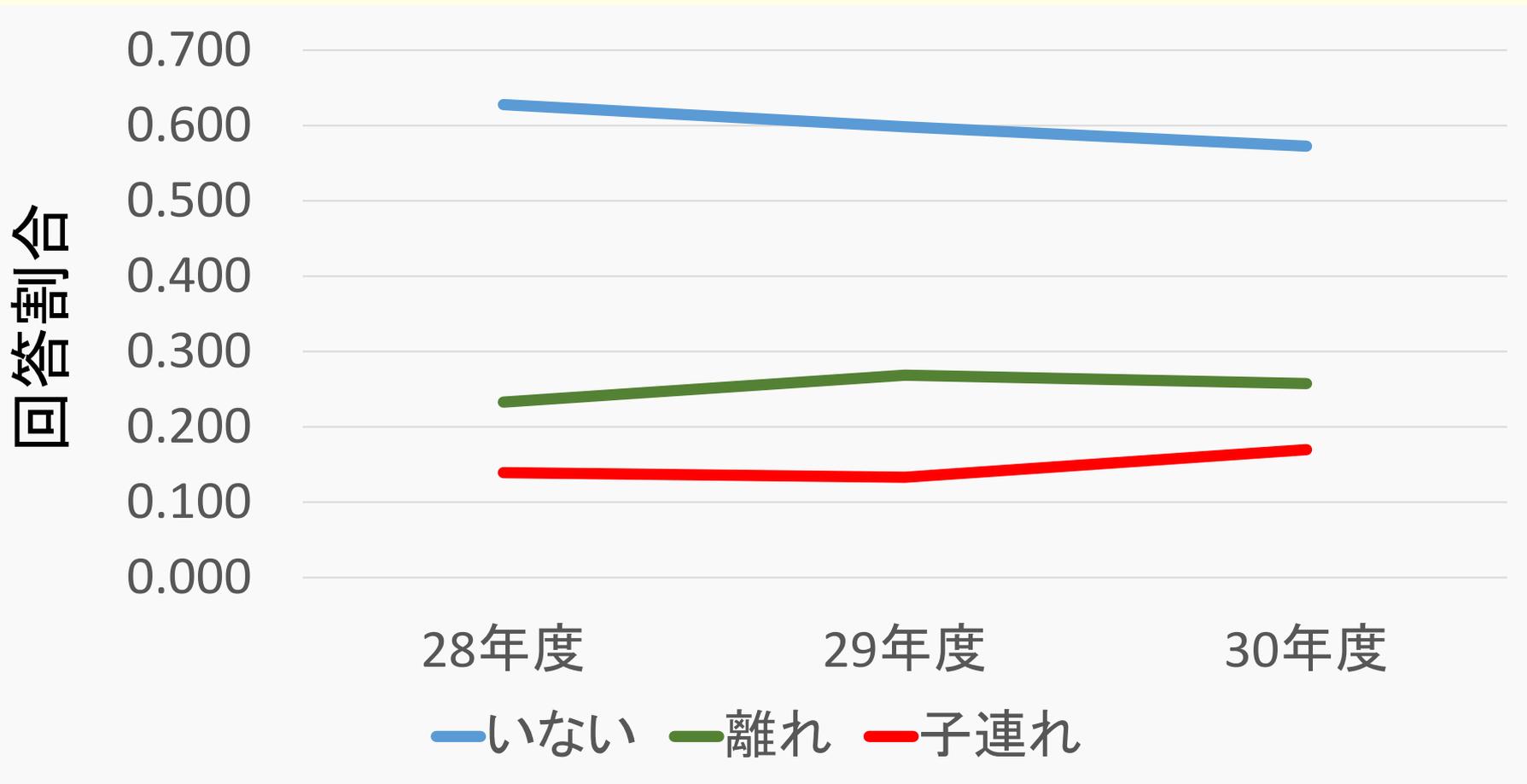
サル目撃

- ほぼ毎日
- 週2~3回
- 週1回
- 季節的
- 見かけない
- 未記入

サルの生息状況 年推移

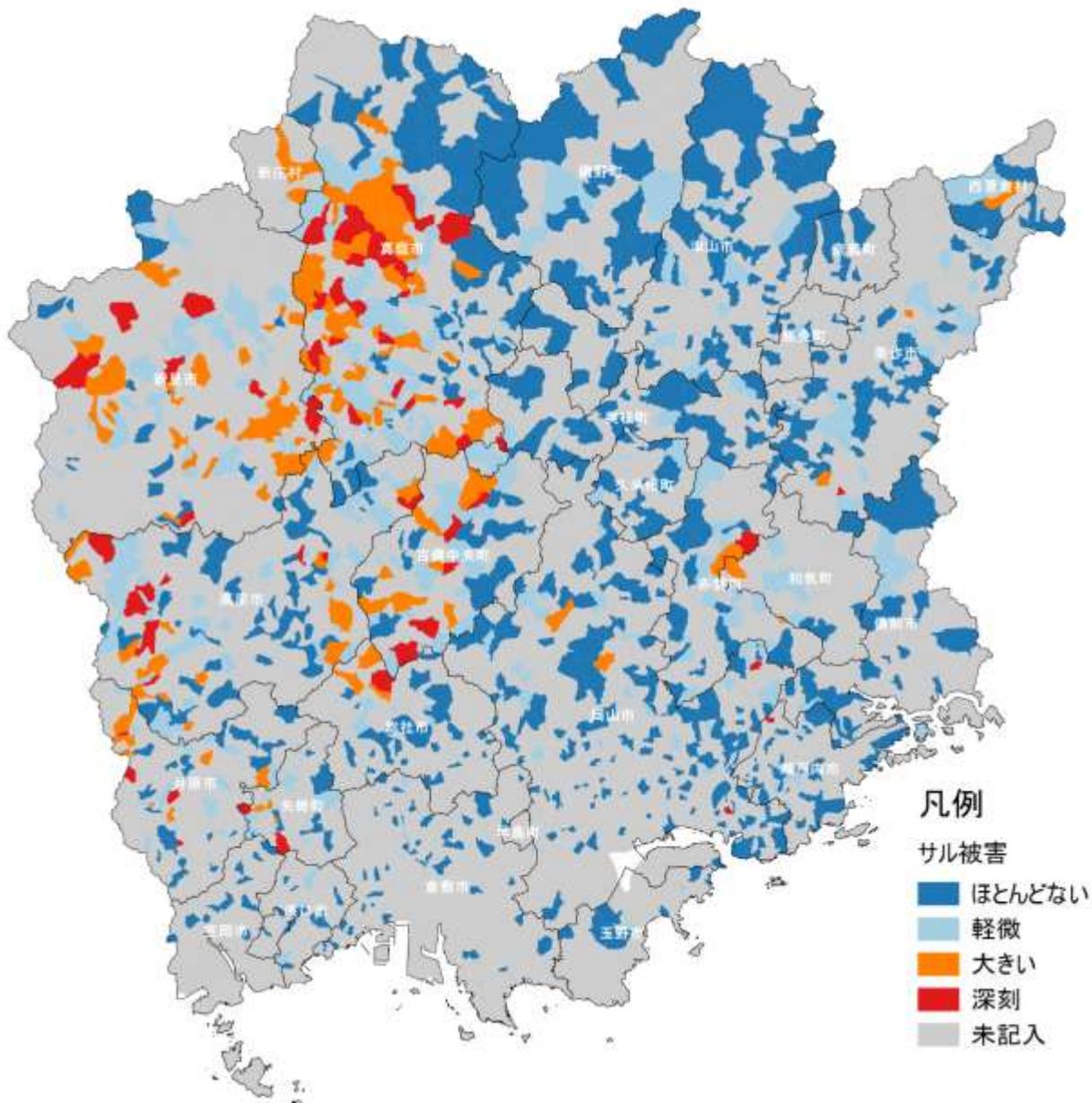


サルの生息状況 年推移



生息集落割合は増加し、とくに、
群れの出没集落が増加(29→30年度で約4%増)

サルの被害レベル



凡例

サル被害

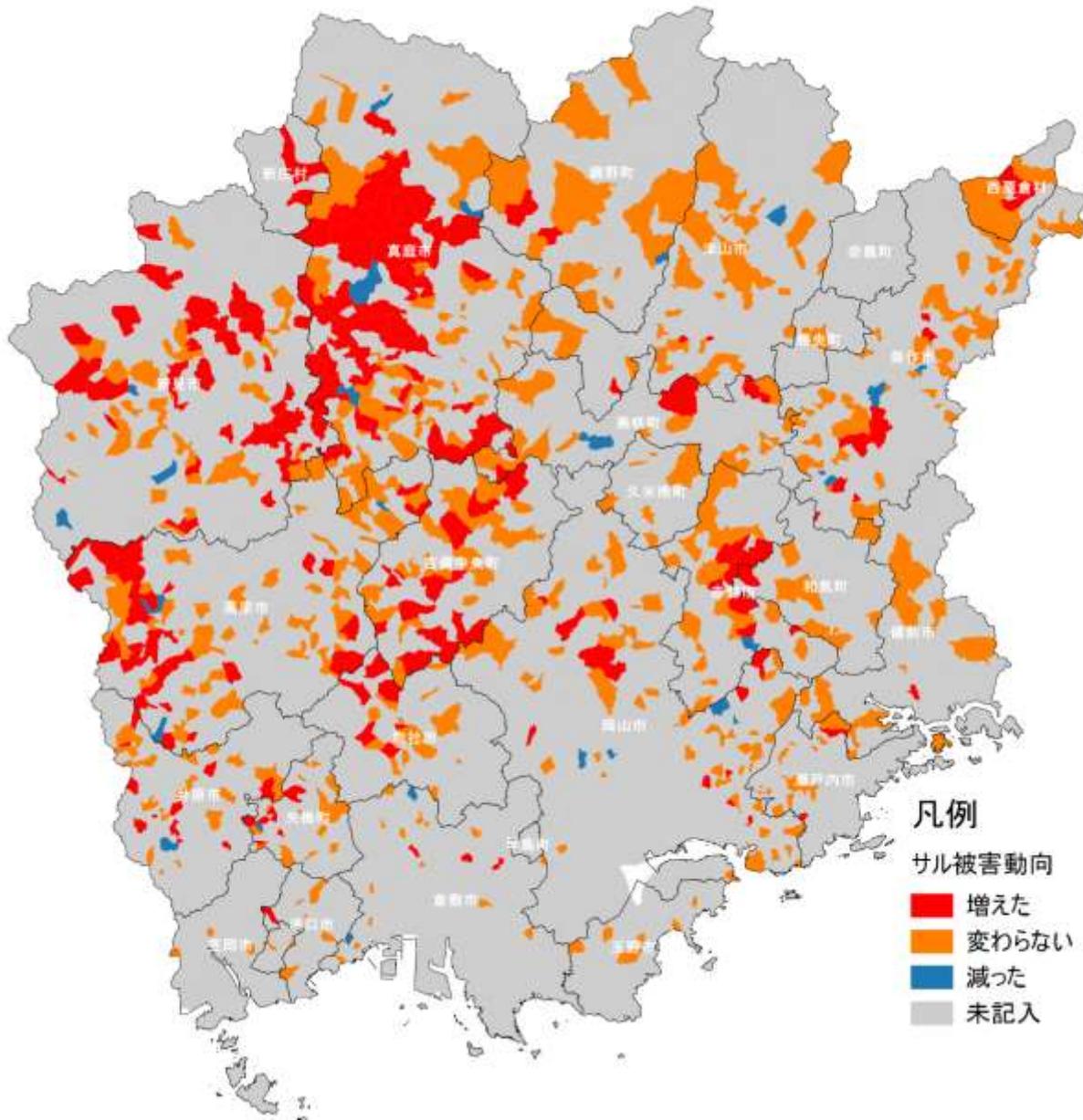
- ほとんどない
- 軽微
- 大きい
- 深刻
- 未記入

☑ 群れにより差

「加害群度」の違い

特に、真庭市中部で被害が深刻化している。

サルの被害レベルの動向



☑ 被害増加

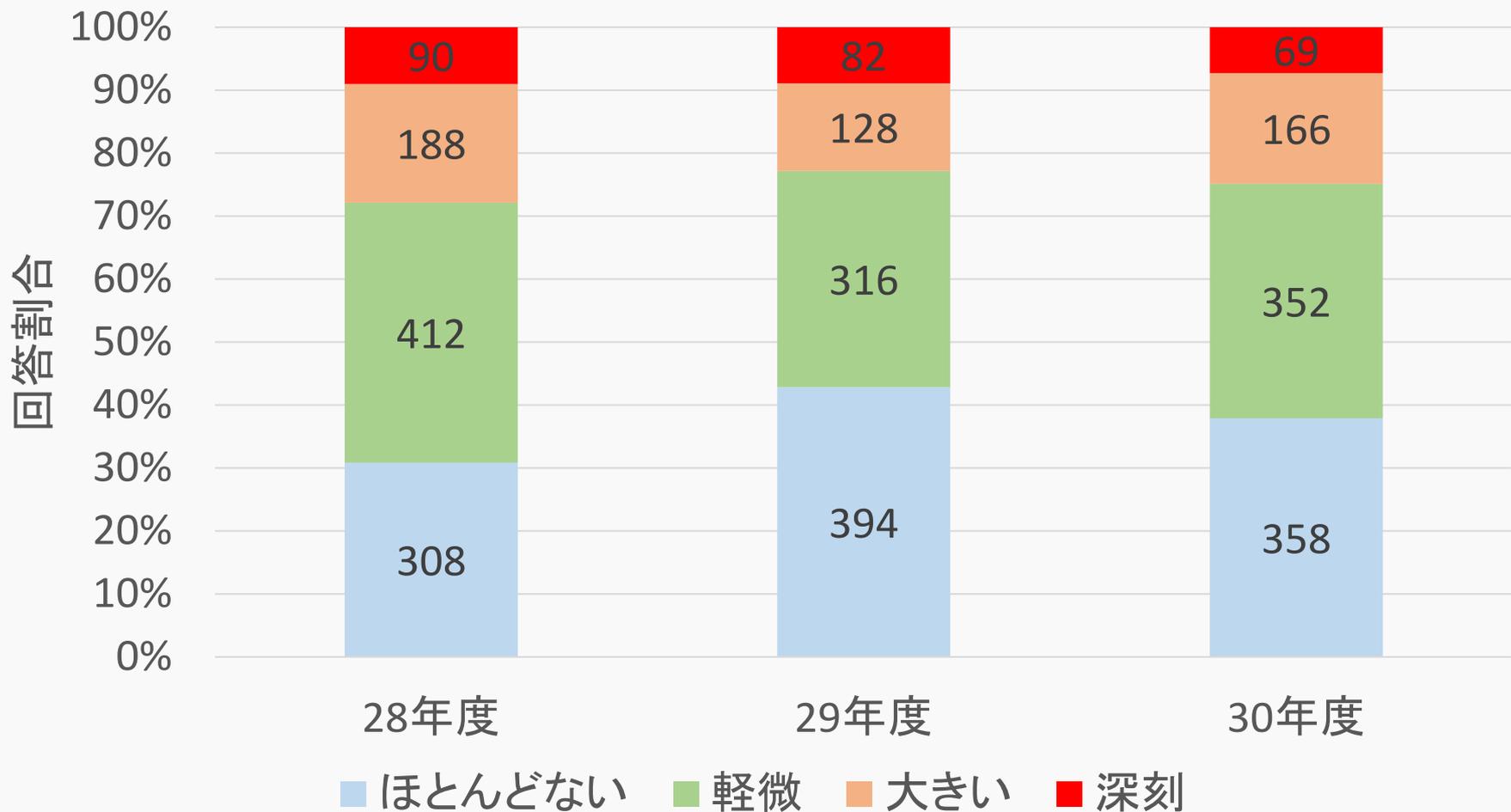
群れの加害群度による

凡例

サル被害動向

- 増えた
- 変わらない
- 減った
- 未記入

サルの被害レベル 年推移

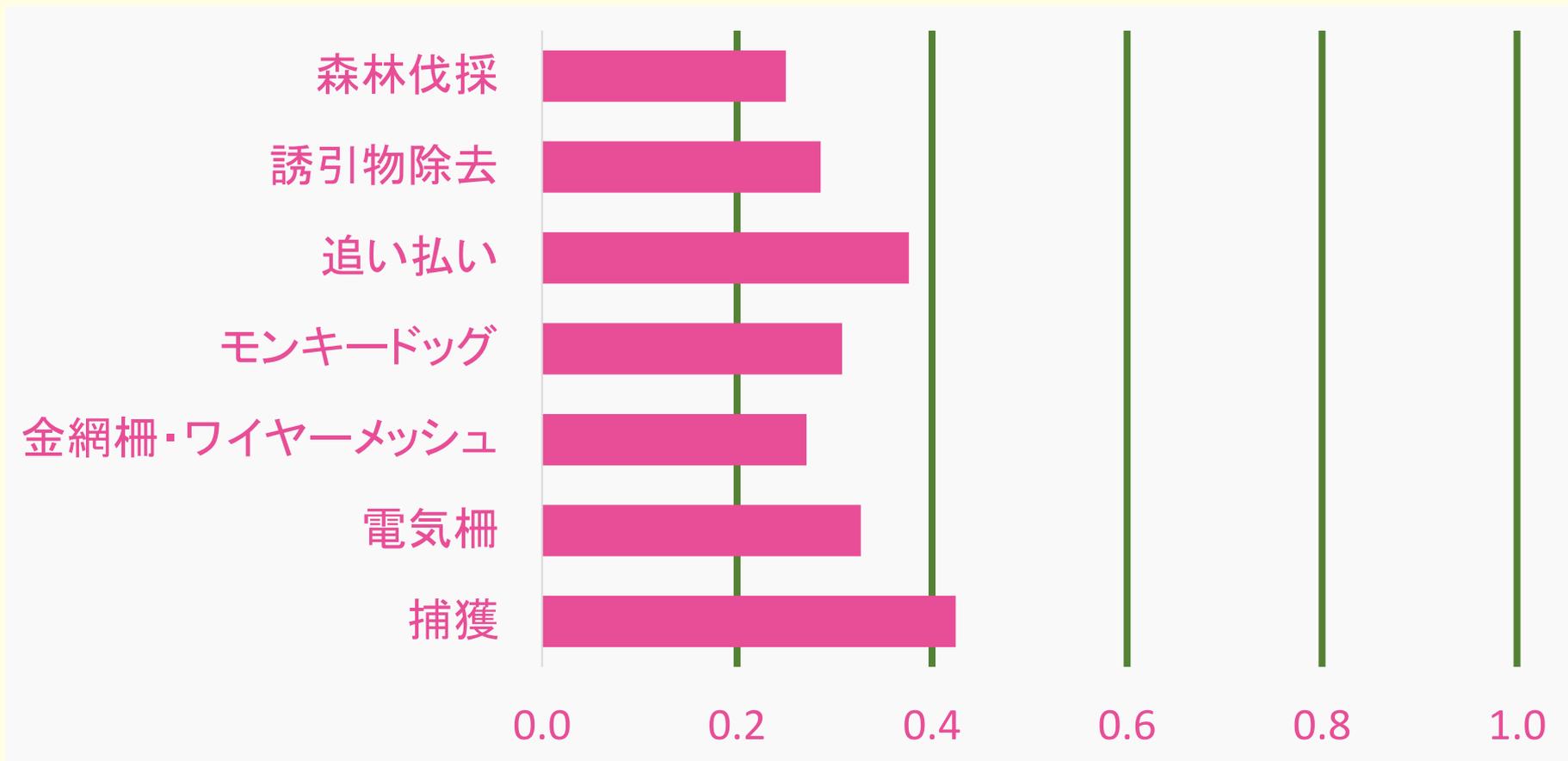


出没集落における被害レベルの年推移は、
昨年より増加し、生息集落の3割弱で甚大な被害

サルの対策効果

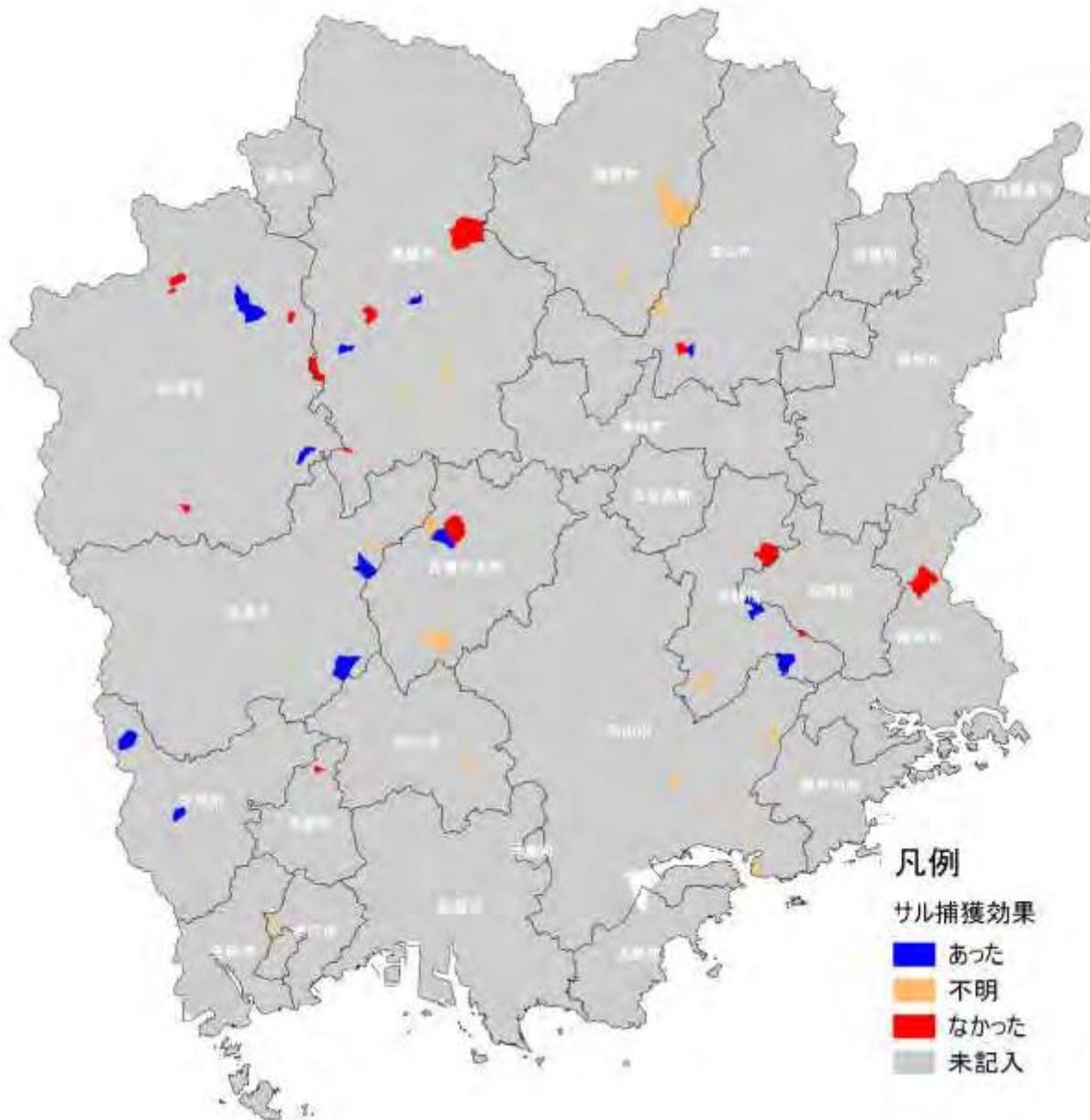


対策効果割合：繁殖定着している集落（「子連れ」＝群れの生息集落）において、対策効果に記載があった回答における効果が「あった」割合



ほとんど対策効果を感じられていない

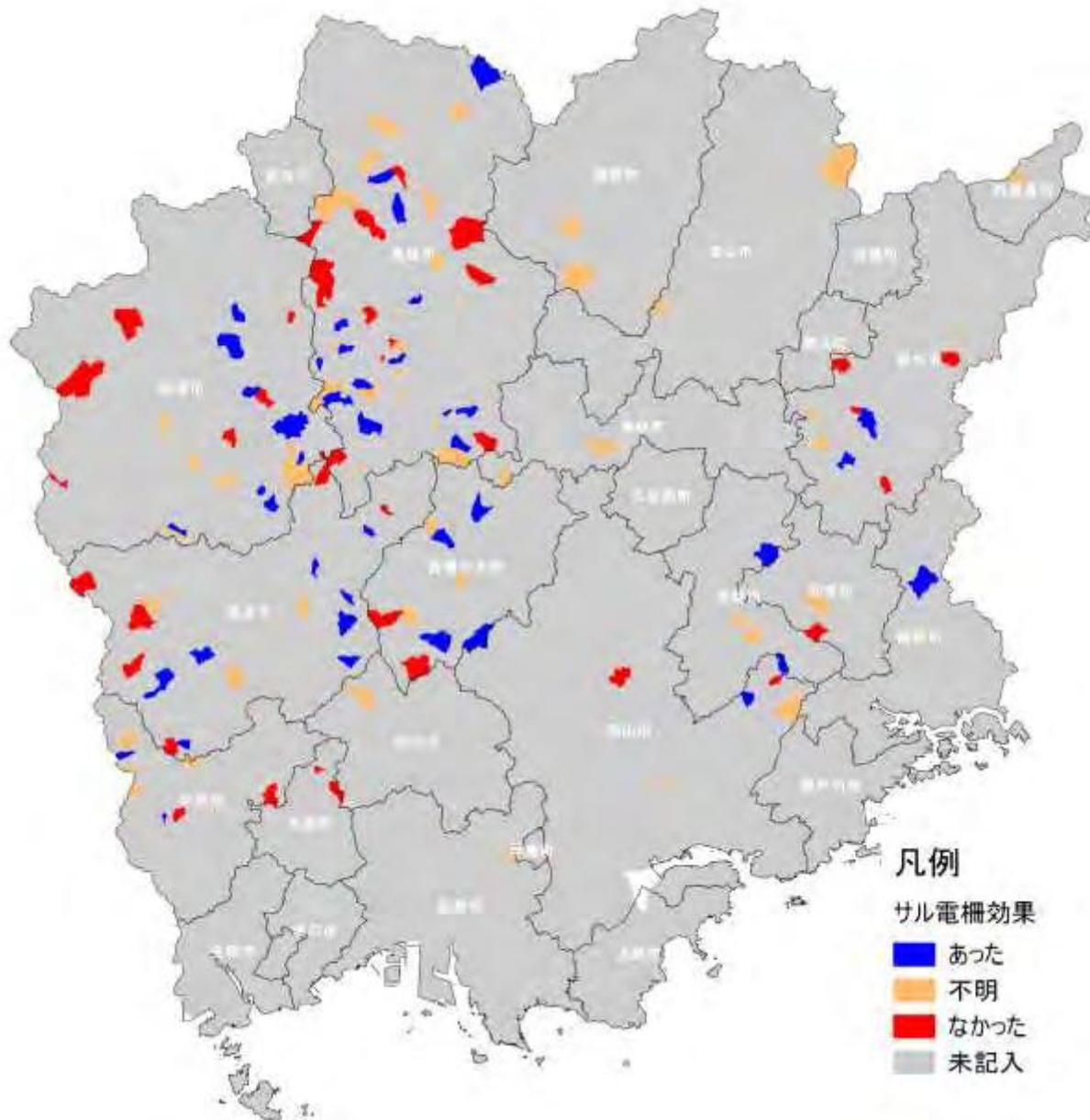
サルの対策効果(捕獲)



そもそも、実施集落
が少ない

8%(33/411集落)

サルの対策効果(電気柵)

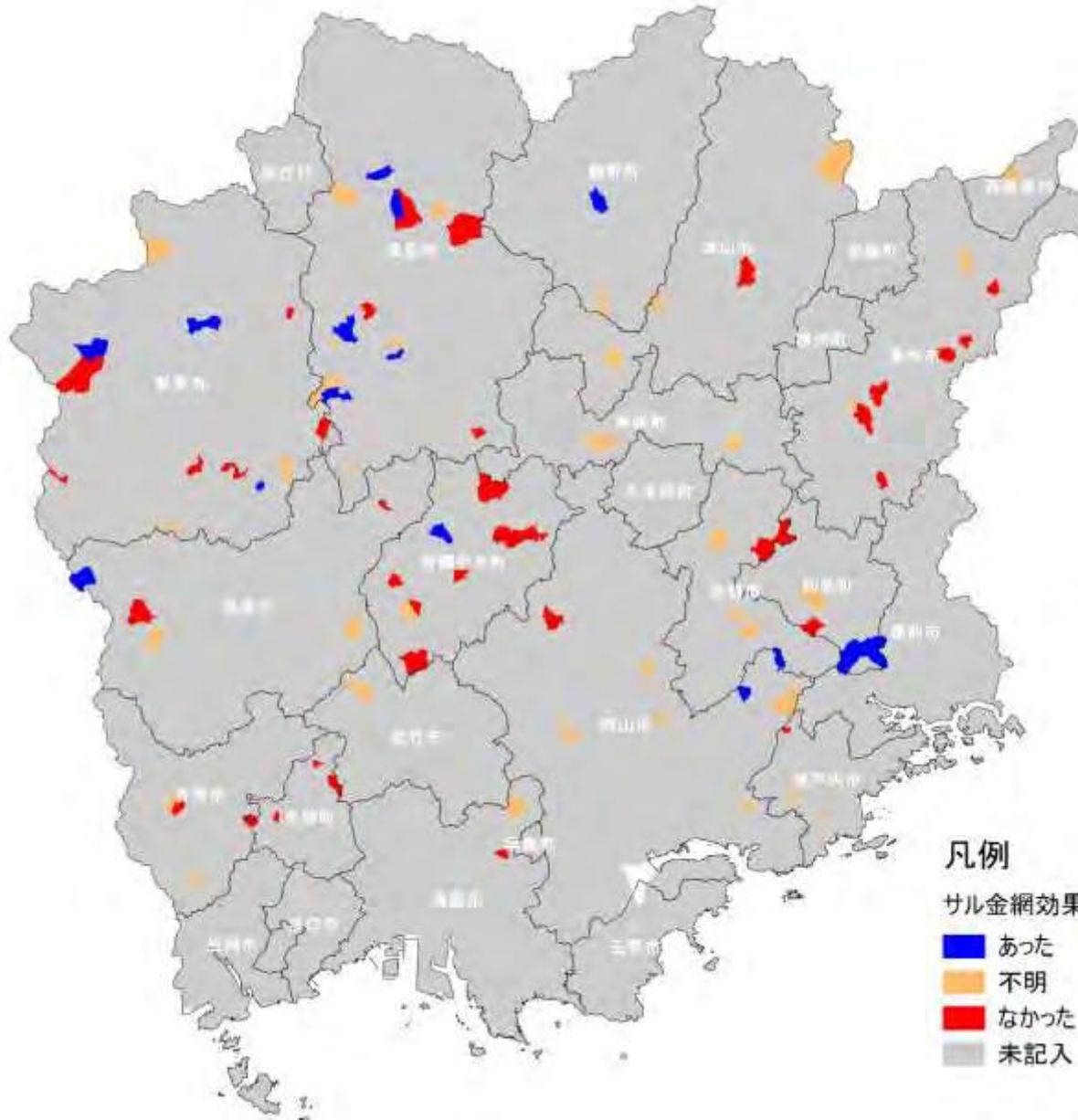


☑ 効果
3割強が「あった」

☑ 地域的(市町村)に
効果が「なかった」
回答が集中

真庭市中部
高梁市の西部

サルの対策効果 (金網柵・ワイヤーメッシュ柵)



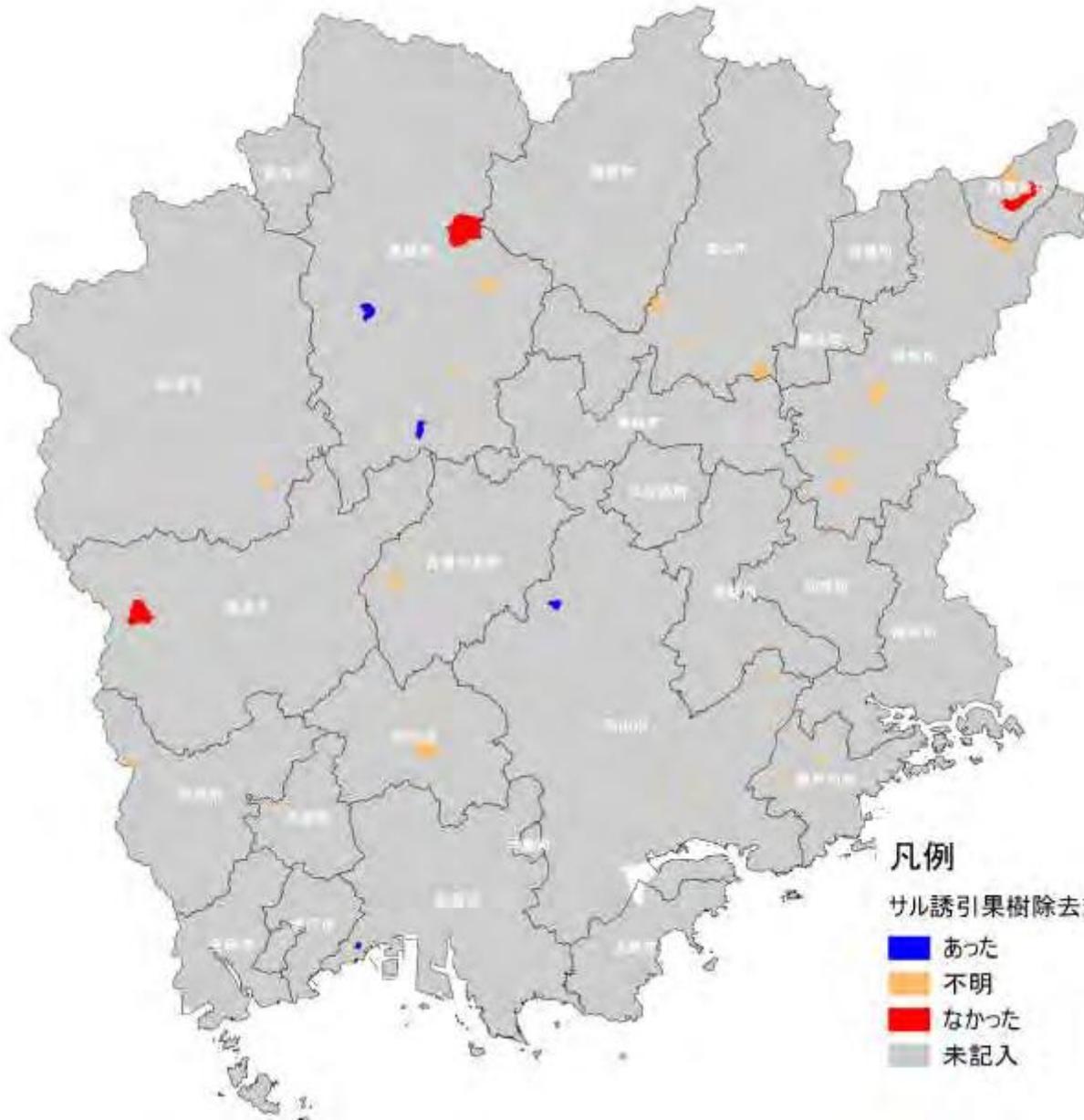
☑ 効果
3割が「あった」

☑ 地域的(市町村)に
効果が「なかった」
回答が集中

美作市
吉備中央町
(イノシシ用の可能性)

凡例
サル金網効果
■ あった
■ 不明
■ なかった
■ 未記入

サルの対策効果(誘引物除去)



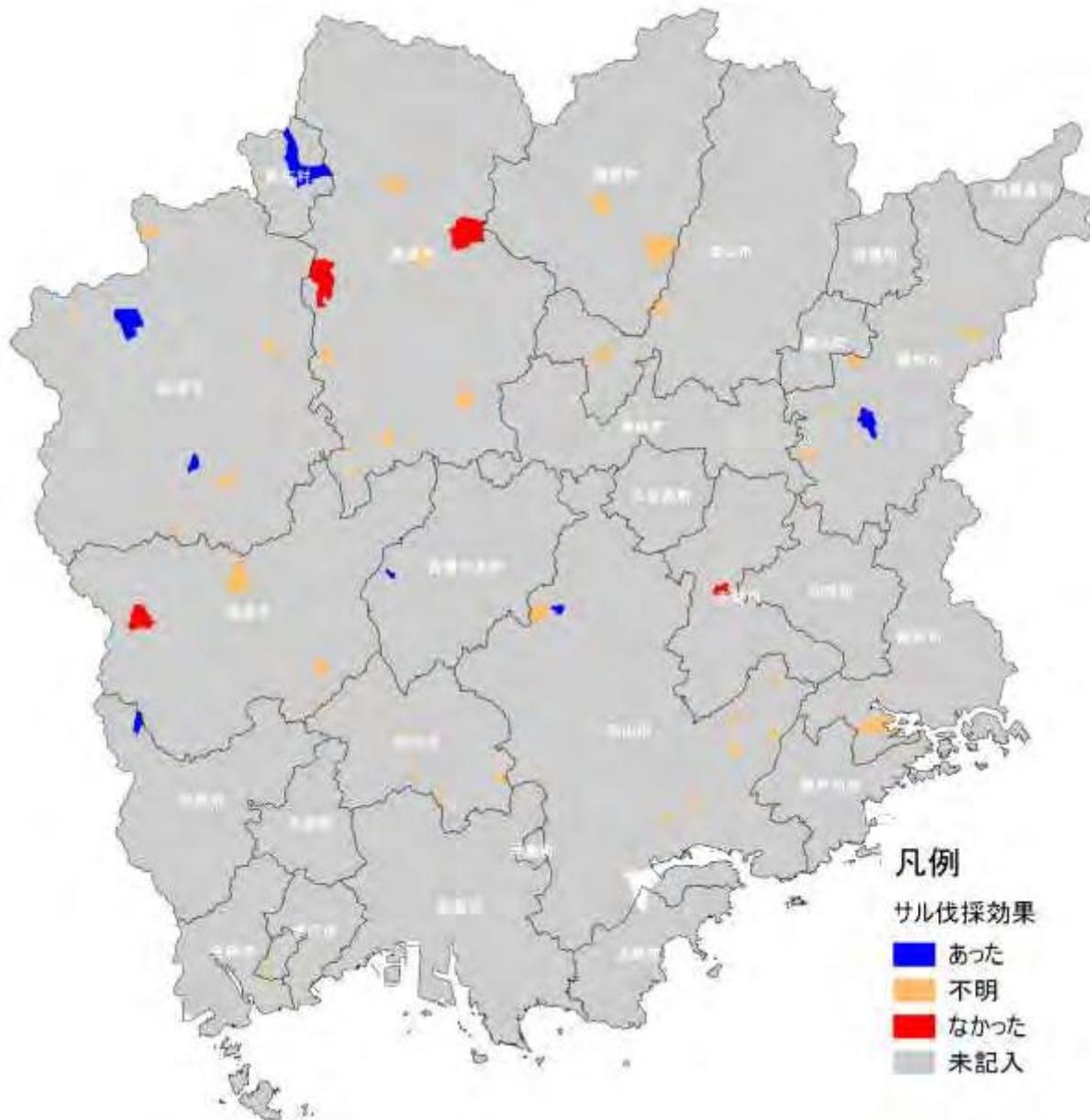
☑ 効果
実施集落が少ない

凡例

サル誘引果樹除去効果

- あった
- 不明
- なかった
- 未記入

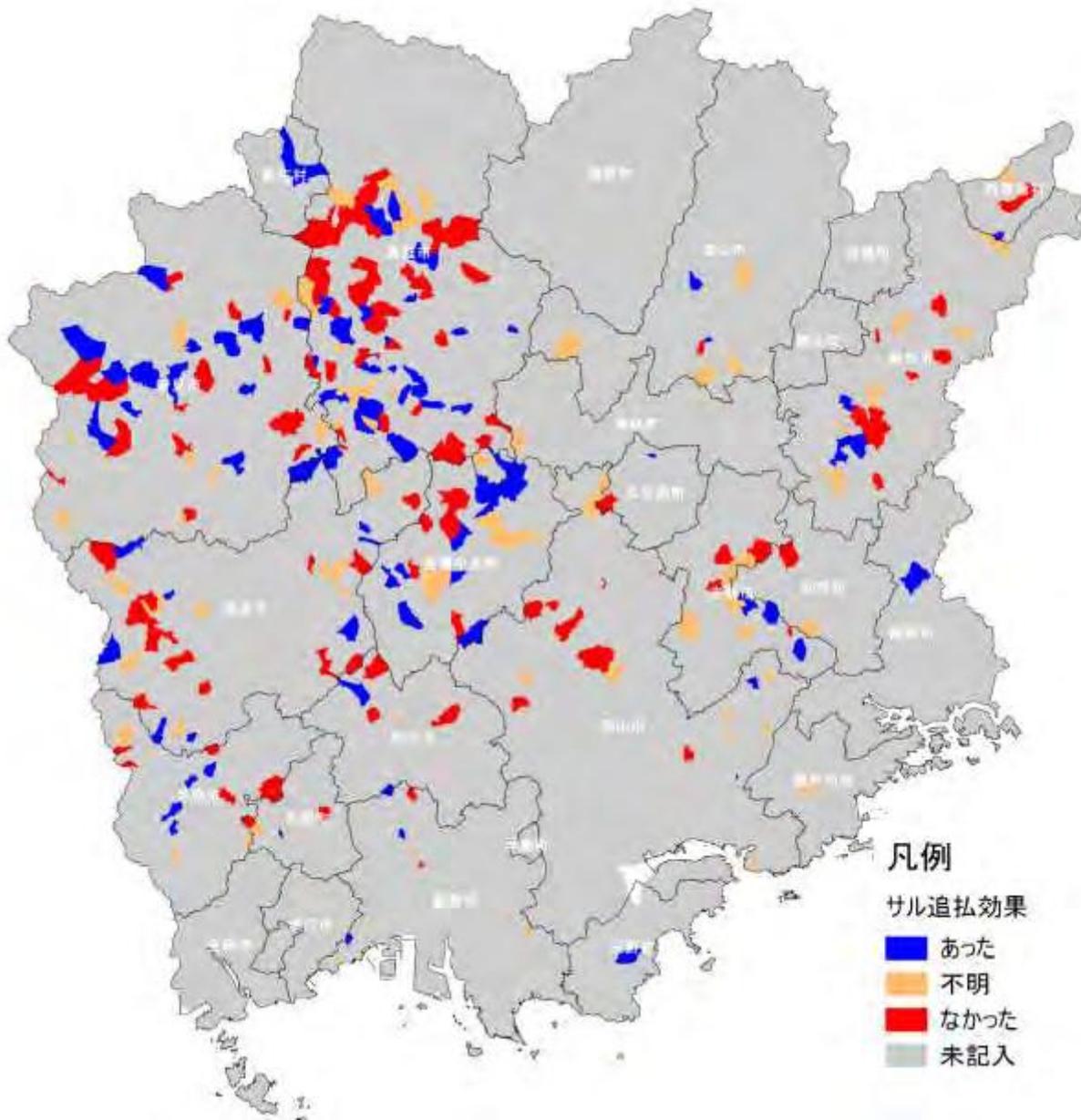
サルの対策効果(森林伐採)



☑ 効果

効果「不明」回答
約半数

サルの対策効果(追い払い)



凡例

サル追払効果

- あった
- 不明
- なかった
- 未記入

☑ 効果

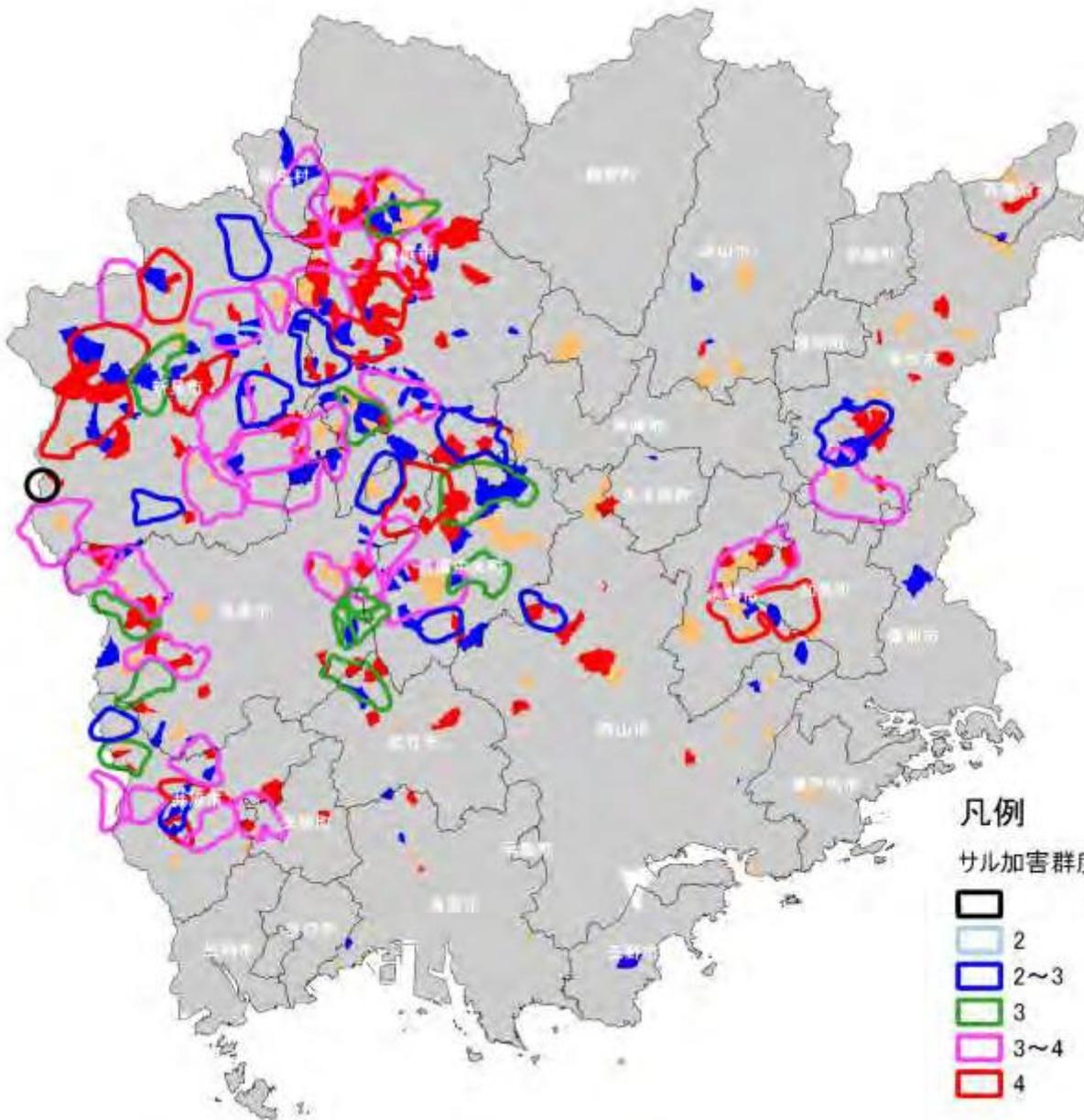
4割弱で「あった」

☑ 地域的(市町村)に
効果が「なかった」

回答が集中

和気町～赤磐市
真庭市の一部
吉備中央町北部
高梁市の一部

サルの対策効果(追い払い)



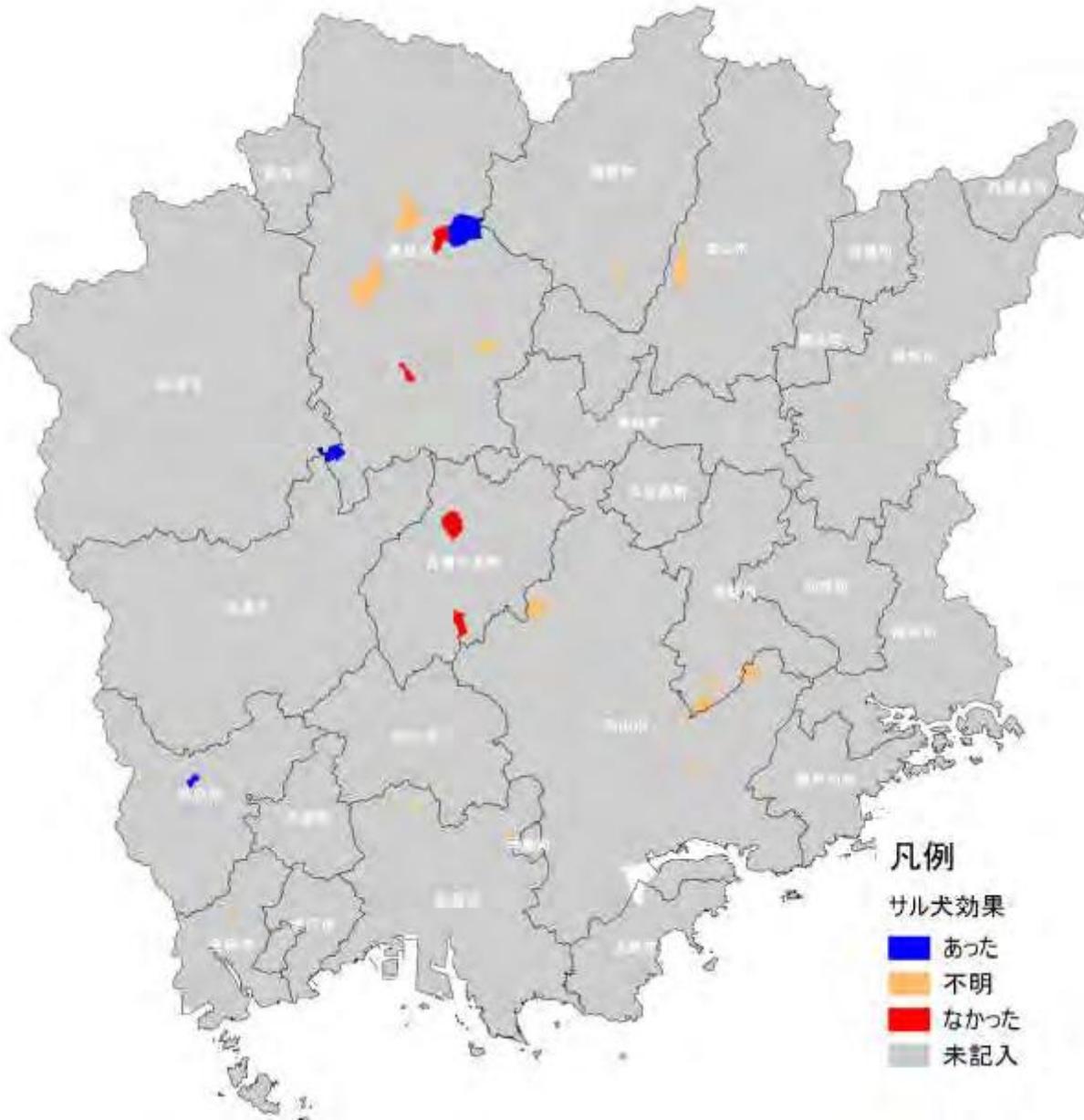
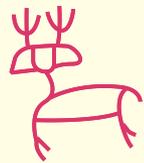
☑ 効果
4割弱で「あった」

☑ 地域的(市町村)に
効果が「なかった」
回答が集中

和気町～赤磐市
真庭市の一部
吉備中央町北部
高梁市の一部

主に加害レベル3～4

サルの対策効果(モンキードッグ)



☑ 効果
実施集落が少ない

凡例

サル犬効果

- あつた
- 不明
- なかつた
- 未記入

ヌートリア

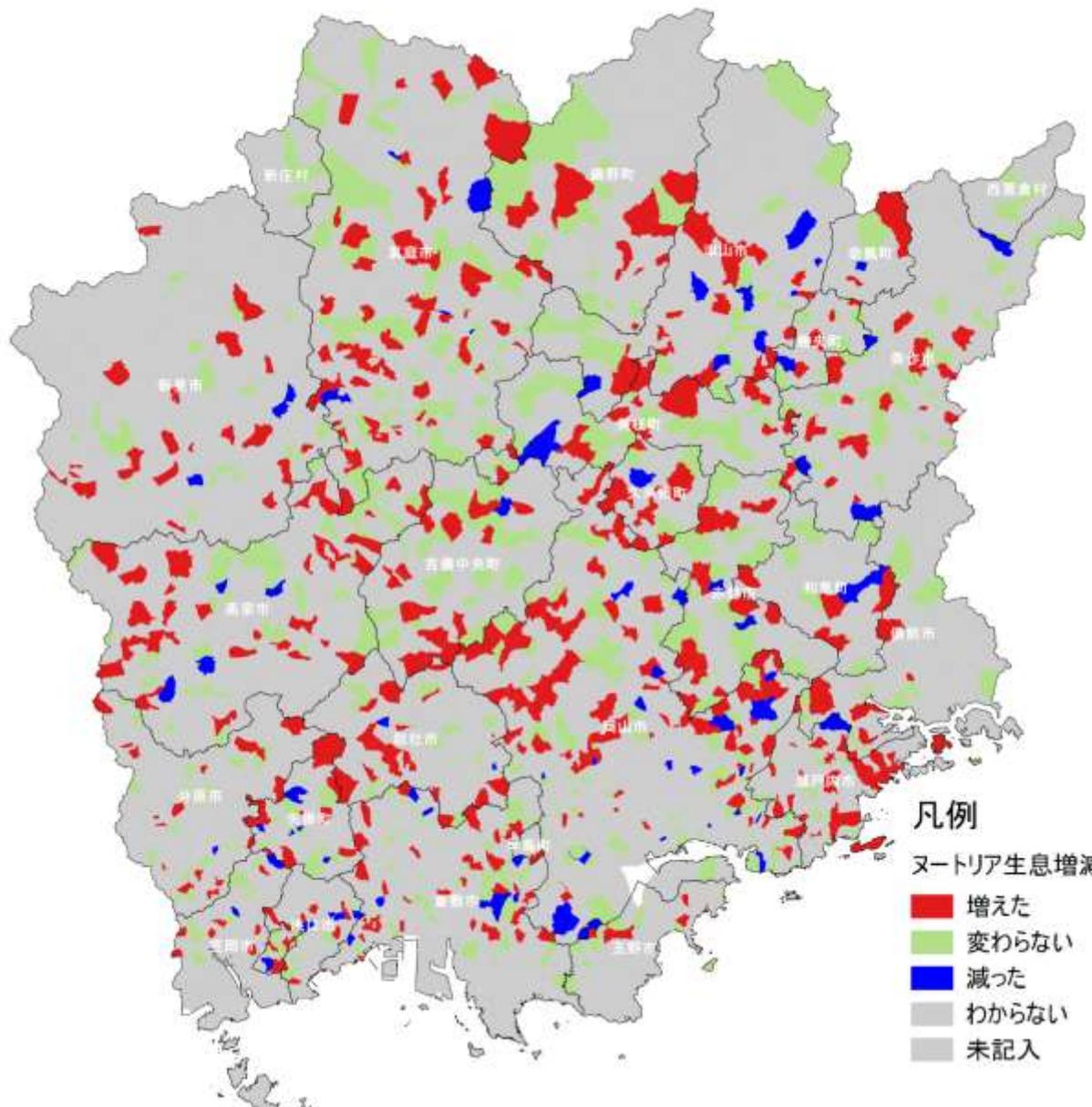
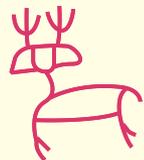


ヌートリアの生息状況 年推移



生息集落は微増傾向にある

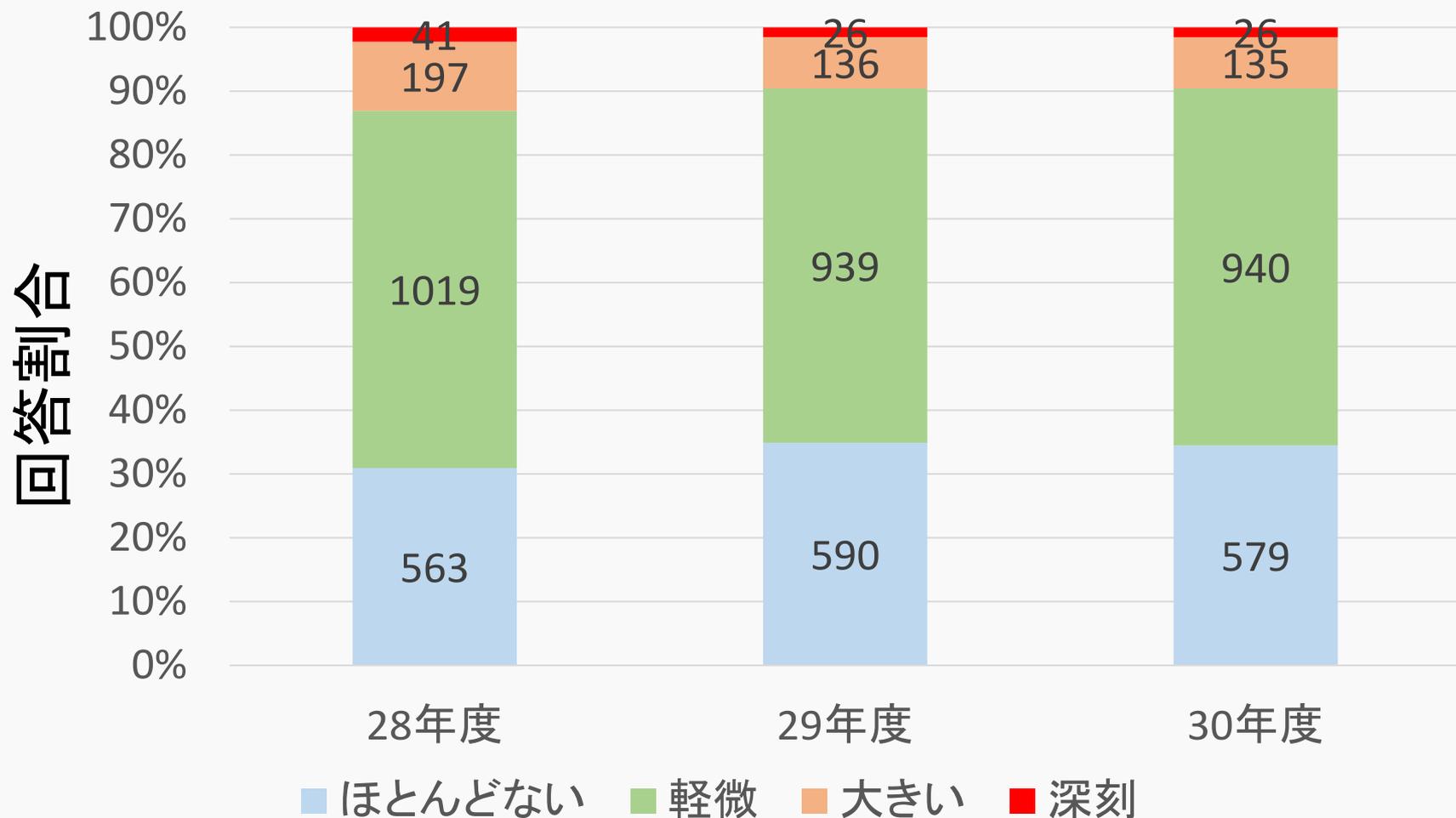
ヌートリアの生息状況の増減



☑一部河川単位
で連続的に増加

- 凡例
- ヌートリア生息増減
- 増えた
 - 変わらない
 - 減った
 - わからない
 - 未記入

ヌートリアの被害レベル



生息集落における被害レベルは、
昨年同様、甚大な被害が生息集落の1割未満

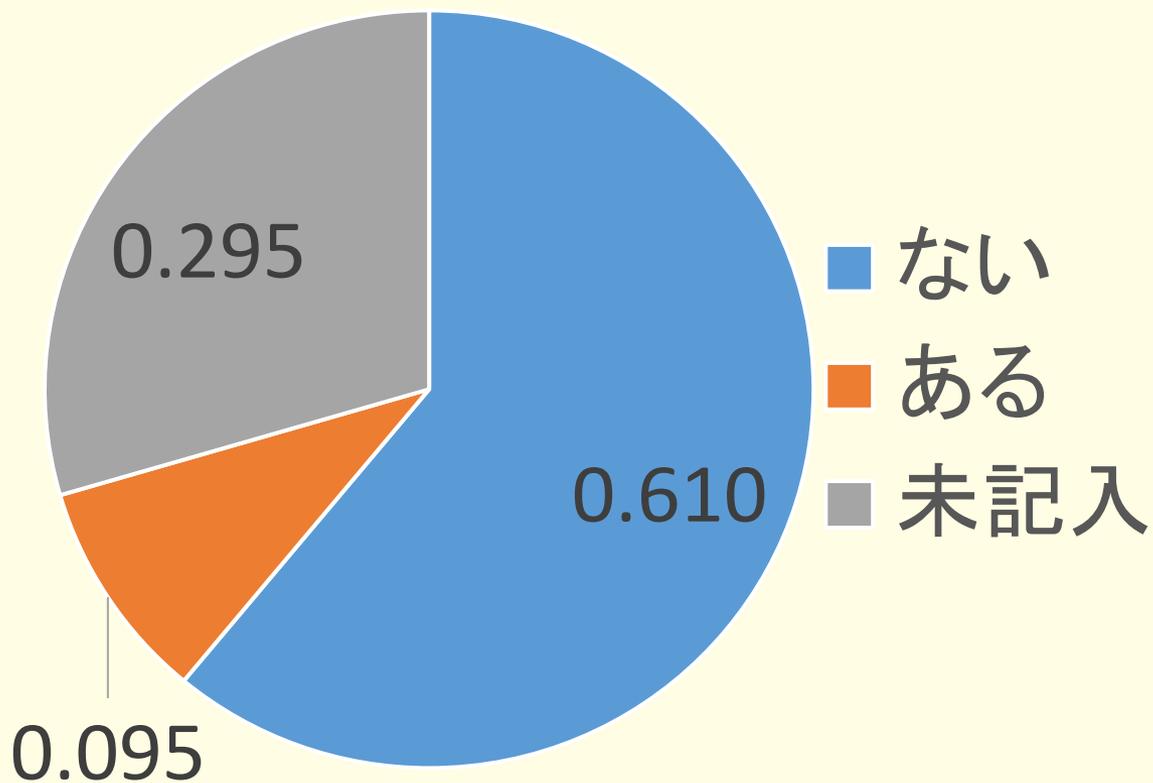
人的 · 生活被害



人的・生活被害(イノシシ)



イノシシ



1割弱で人的もしくは生活被害が回答されていた。

人的・生活被害(イノシシ)

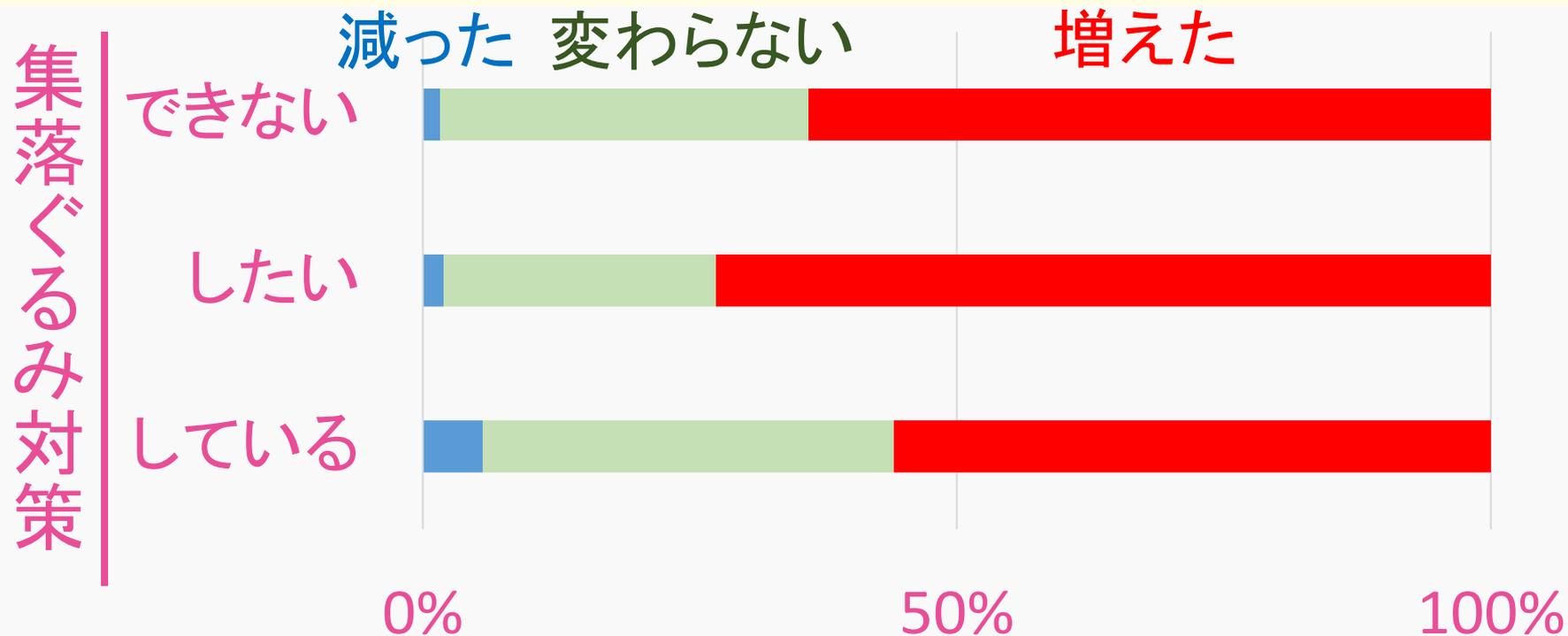


備前市	人家の近くに出没、石垣を崩す、法面を掘る
赤磐市	山林の我採我根で増加、人を威嚇、堤防を掘る、庭を荒らす、田畑、墓地等荒らす、道・法面・路肩を掘る(3件)
津山市	車に衝突、庭の土を掘る
鏡野町	空家にはいる、夜家の周りにいる
美咲町	意欲減退、夜間通行恐怖
久米南町	岸など荒らされる
真庭市	家の下に大きな穴、家の壁に石をおとす、山野のほりあげ、道路の破損、山、墓掘る
岡山市	ダニ、暗くなってからの散歩、家の周りに出てくる(2件)、昼間でも見かける、道・法面・路肩を掘る(3件)、墓地を荒らす
瀬戸内市	家の近くまで出る、車に衝突(3件)、水路崩壊、庭木・花の被害
吉備中央町	土手に穴
倉敷市	ため池法面崩壊、車に衝突、庭を荒らす、道路の破損(2件)
総社市	家の周囲を荒らす、水路に被害、神社にでた
井原市	威嚇してくる、車に衝突、地面掘る、朝夕外出できない、道路の破損
浅口市	人家近くの畑に来る
里庄町	畑に穴をあける
高梁市	溝、石垣を壊す、車に衝突(9件)、土手を掘る(2件)、道・法面・路肩を掘る(3件)
新見市	庭に入ってくる、土手の掘る、道・法面・路肩を掘る(3件)、林道が走れない

集落ぐるみの対策

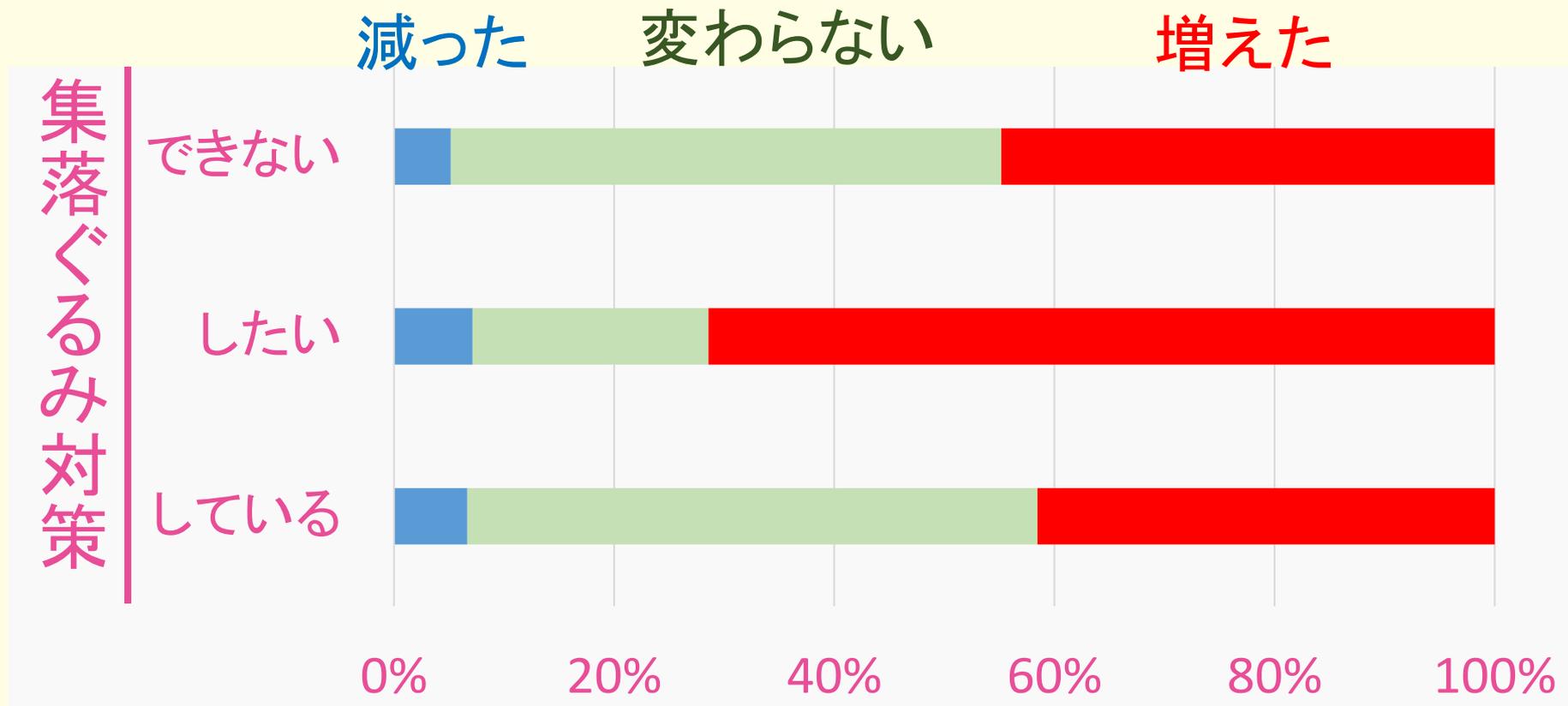


集落ぐるみ対策とイノシシ被害動向



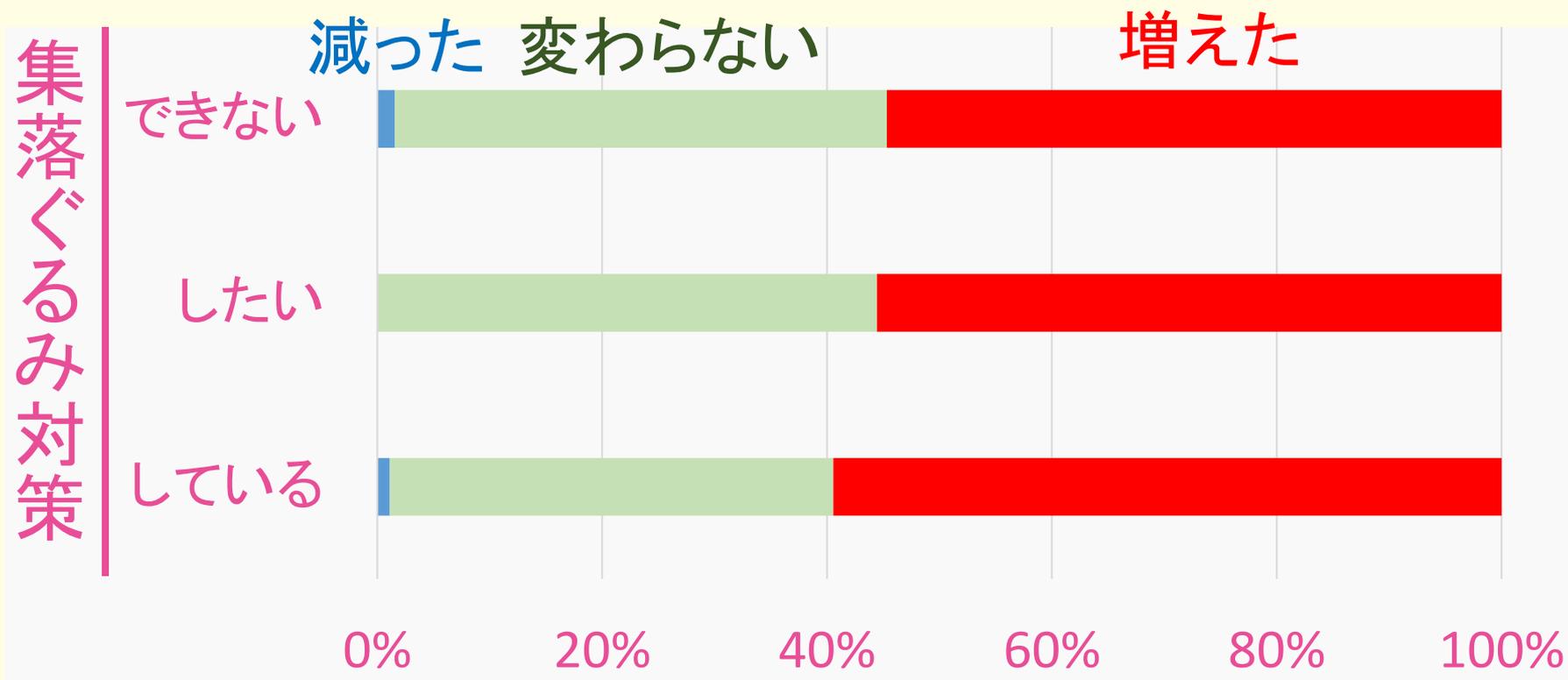
イノシシの被害動向について、集落ぐるみの対策を実施している集落では、実施していない集落（「したい」と「できない」）よりも被害増加数が少なく、減少集落が多く、集落ぐるみの取組が効果的であることがわかった。

集落ぐるみ対策とシカ被害動向



シカの被害動向について、イノシシの被害動向と同様に、集落ぐるみの対策を実施している集落では、実施していない集落（「したい」と「できない」）よりも被害増加数が少なく、減少集落が多い傾向にある。

集落ぐるみ対策とサル被害動向

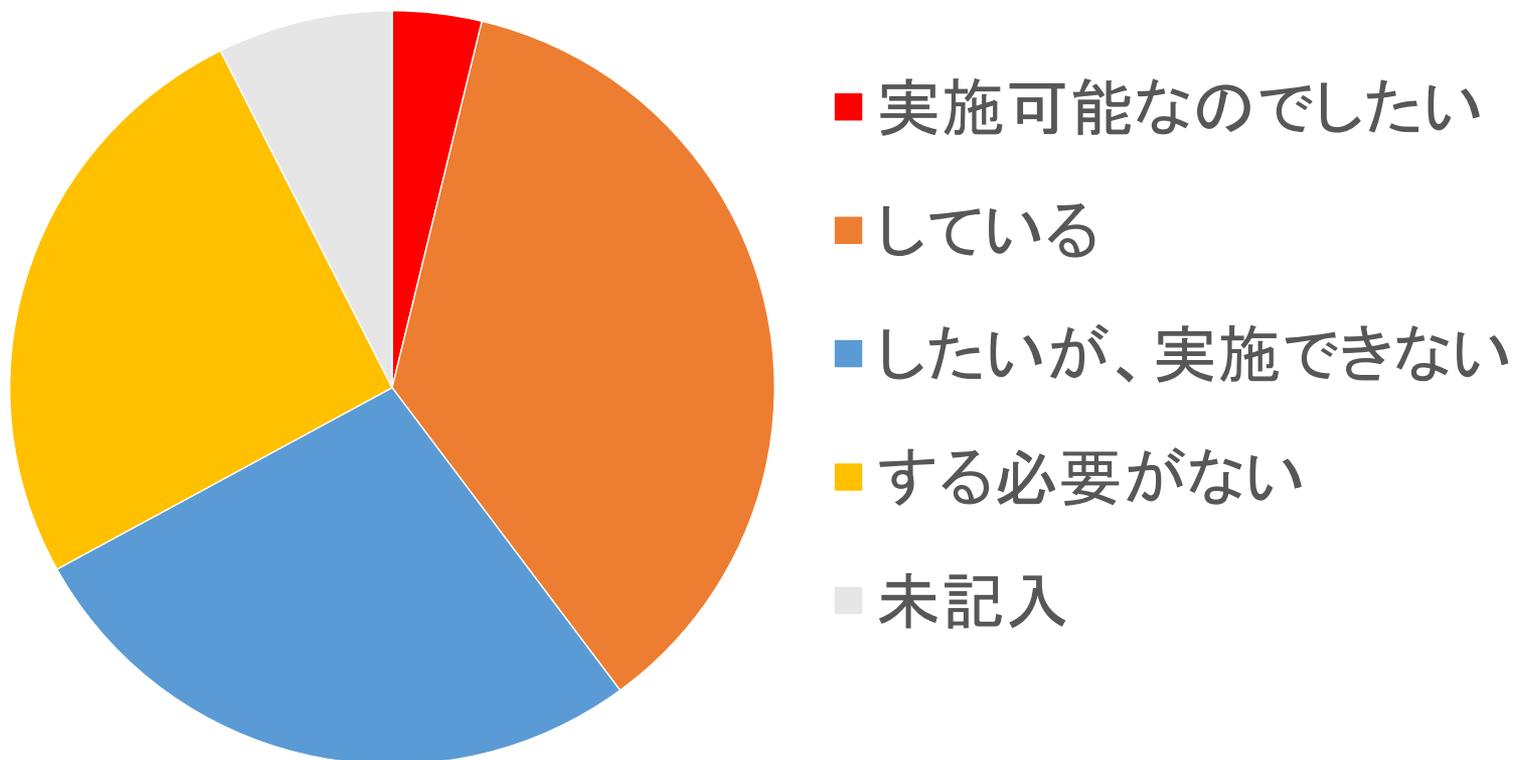


サルの被害動向については、イノシシやシカと同様の傾向は読み取れなかった。サル対策について、現在の集落ぐるみでの対策の手法や進め方などについて再検討が必要かもしれない。

集落ぐるみでの対策



集落ぐるみでの対策



全体の約3割が実施

3割弱が「したいが、実施できない」と回答

実施を希望している回答は2,809件中106件(3.8%)

集落ぐるみでの対策できない理由

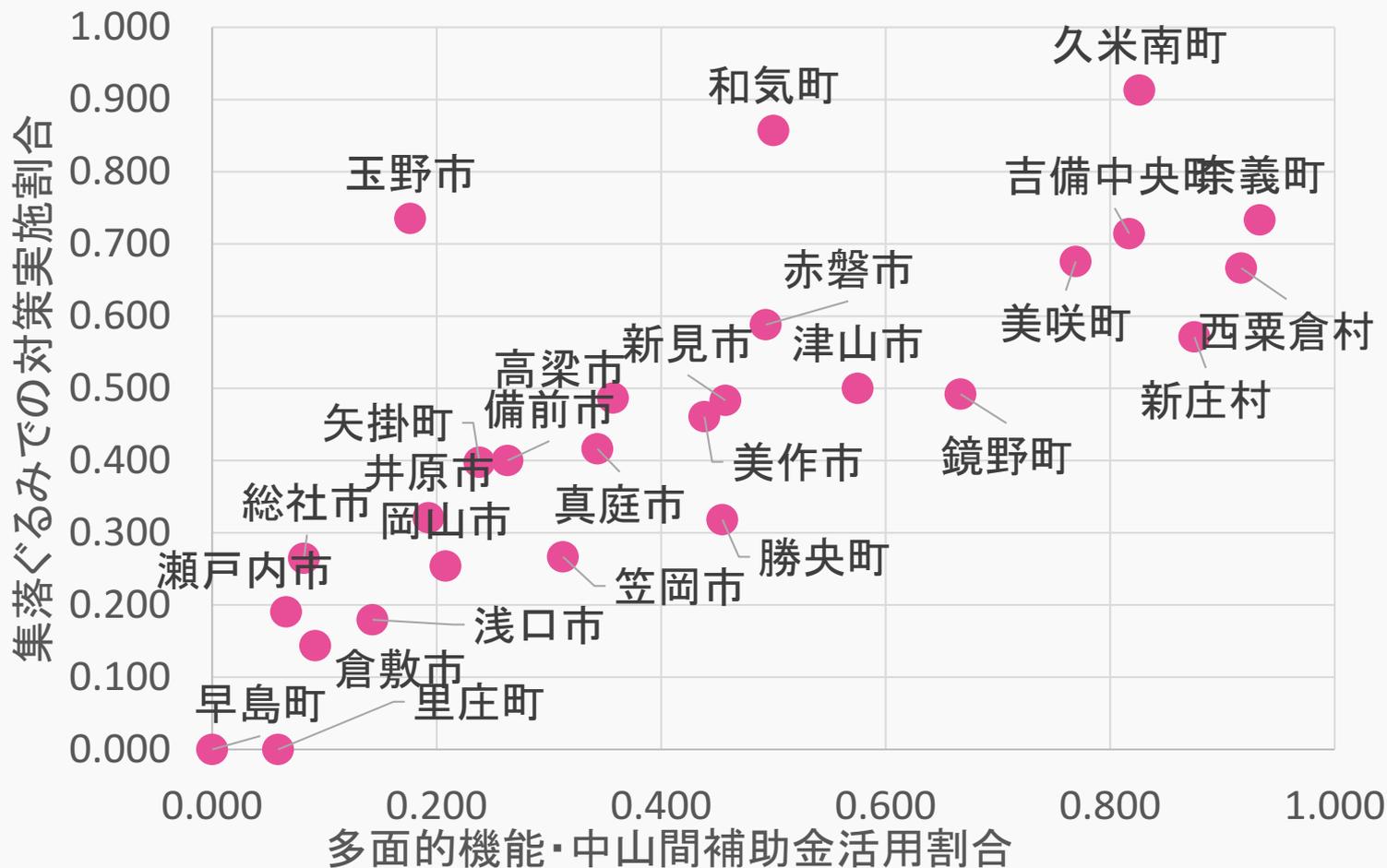


「したいが、実施できない」集落のできない理由(551件):
複数回答

高齢化	378
狩猟者不在	230
人手不足	208
費用面	11
範囲が広域	5

この他、個人で行っているから、まとまらない、理解者が少ない、共助の考え方が少ない、合意が得られない、発起人がいないなど

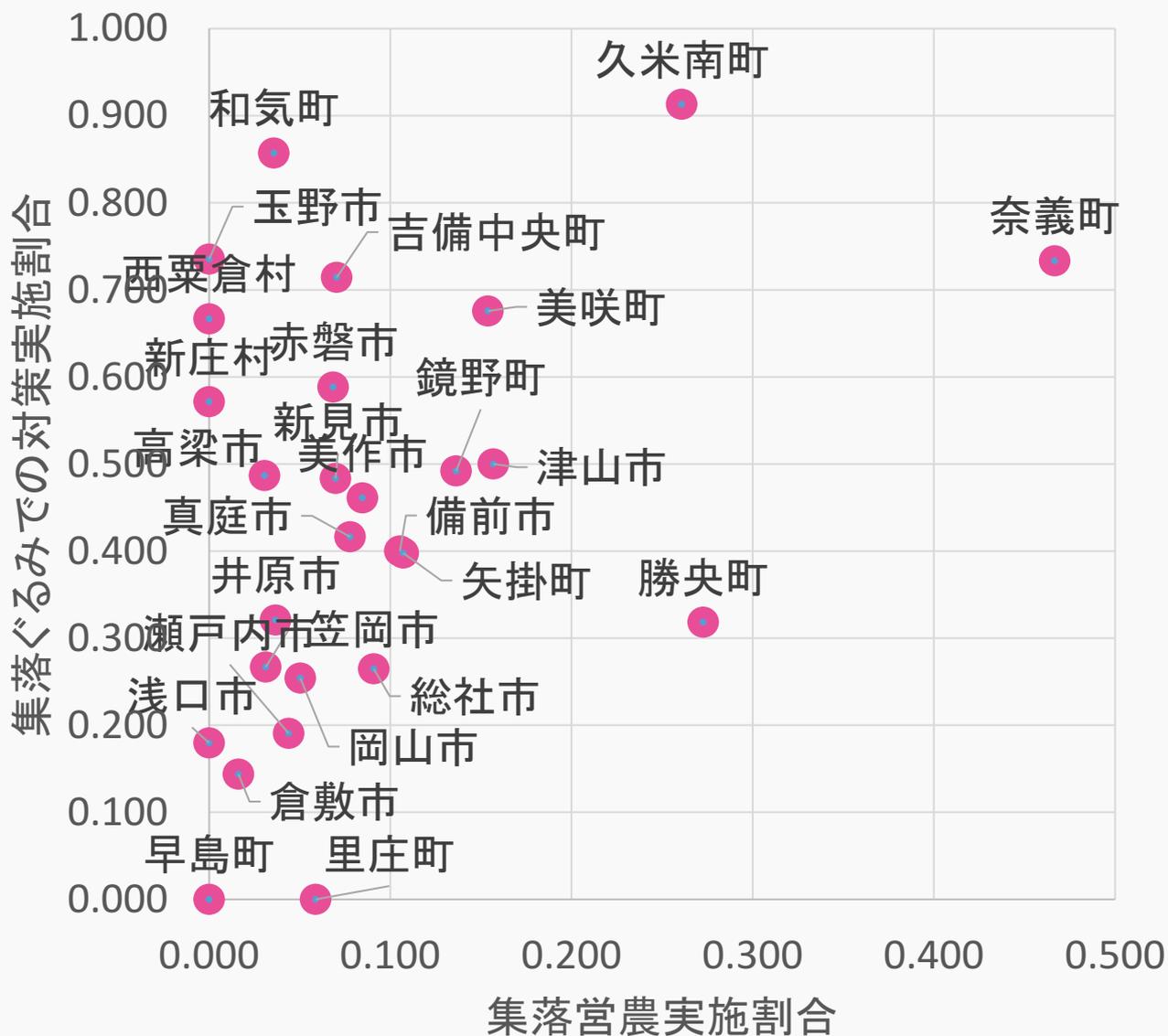
集落ぐるみ対策と集落活動



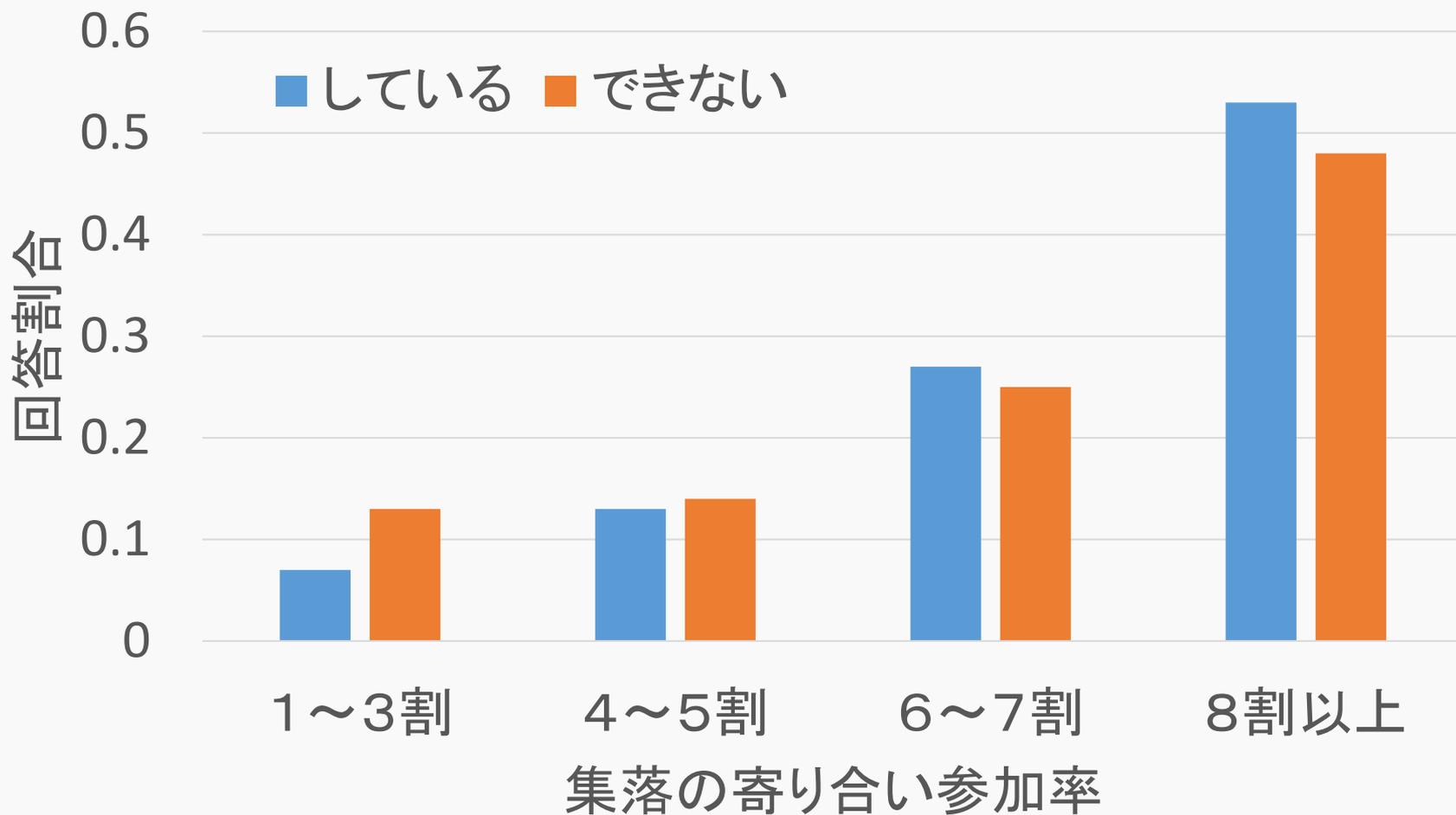
集落ぐるみ対策の実施集落割合と多面的機能・中山間補助金の活用集落割合は、強い相関関係にある。

玉野市、和気町、久米南町では、集落対策事業の促進が示唆

集落ぐるみ対策と集落活動



寄合参加率



集落の寄り合い参加率が高い集落ほど
獣害の集落対策の実施がされている傾向あり

集落ぐるみの対策促進のために



市町村ごとに、特に対策を希望する集落を中心に、次の手がかりを参考に捕獲体制整備を含むモデル集落づくりの支援事業を行うべきと考えられた。

モデル集落の選定の手がかり

- (1) 定着繁殖しているにもかかわらず、無対策集落
- (2) 多面的機能や中山間補助金の活用集落
- (3) 集落の寄り合い参加率の高い集落